

ハ唯公教會ニノミアリトスルモ彼等ハ始メ教會ガ迷道ニ陥ラザリシ當初五百年間ノ繼續ハ今ノ公教會ニ屬セズシテ眞誠ナル基督教會即チ紀元五百年代ヨリリニテールノ代迄世ニ公然現出セザリシ今ノプロテスタン教會ニ屬スルモノナリト明言セハ足下ハ如何ニ答ヘラル、ヤ

答 「プロテスタン」ノ教皇アリシヲ聞キタルモノアラザルベシ教會ハ五百年間連綿トシテ教皇ノ統轄ヲ受ケシモノニシテ聖オグスチノハ此繼續セル教皇ノ順序ヲ明示セリ又其教旨ハ「プロテスタン」ノ教旨ニアラズ其信ゼシ所ハ目下我等ガ信ズル所ニ異ナラズ「プロテスタン」徒モ自カラ之ヲイハザリシヤ有學ノ教士等ガ共同和合シテ一心ニ信奉セシ事項ヲ以テ眞誠トセハ教皇黨ノ説ハ正實ナリト又他ノ「プロテスタン」徒中イフモノアリ往昔教會ニ於テハ今ノ教皇黨ノ

外他ノ教ハアラザリシト

問 然ラザバ「プロテスタン」徒ハ千二百年代世ニ「ユシト」「ウオド」其他ノ邪教ガ現出セシ以來明見セル繼續ヲ有ストイフヲ得ルヤ

答 明見セル繼續ヲ有スル能ハザル「ハ明カ」ニシテ已ニ余ガ本書第二章ニ於テ論述シタルガ如シ假令繼續セシモノトスルモ如何ニシテ宗徒等トノ連絡ヲ結ブヲ得ルヤ之ヲ連絡センニハ邪教ノ現出前尙千二百年ノ遠隔アリ此年間公教ノ「ミアリシ」ハ何ツヤ故ニ彼徒ハ強テ其會ガ繼續スルモノト明言スルモ此年間其教會ハ果シテ明見セシモノトノ明証ヲ掲ゲズシテ徒ニ此會ヲ以テ耶穌基督ノ教會トナスハ眞ニ痴漢ノ演戯ニ等シカルベシ

問 公教會ハリユテールノ現出以前ハ眞誠ナルモノナリシモ其後迷道ニ陥リシヲ以テ之ヲ改革スル「必用」ナリシトイハ、如何

答 公教會ニシテ迷道ニ陥リシト假定スルキハ耶穌基督ハ其約ニ背
 キ地獄ノ門ハ之ニ勝チ基督ノ言ヲシテ功ナカラシメタリトイハザ
 ルヲ得ズ若シ教會中迷道アリシトスルモ此ハ是レ二三人ノ迷誤ニ
 シテ教示スル教會ノ迷誤ニアラズ果シテ二三人ノ迷誤トセバ僅カ
 ニ之ヲ戒メテ可ナリ何ゾ真理ノ柱石タル教會ニ背キ聖保録ガ嚴誠
 スル所ノ離教ノ大罪ヲ犯スニ至ランヤ

問 「プロテスタント」徒中イフモノアラン公教會ト分離セシハ我徒ニア
 ラズ即チ公教徒ガ我等ヨリ分離セシナリト

答 此言ヤ固ヨリ聽クベキモノニアラズ兩會ヲ比較スルニ甲ハ舊來
 ノ教ニシテ乙ハ新設ノ教ナリ甲ハ數百年間同一ナル教ヲ布キ乙ハ
 新設ノ教ヲ布クヲ以テ考フレバ分離チ企テ實行シタル會ハ舊來繼
 續シテ古今異ラザル教ヲ布ク會ニアラズシテ乃チ新設ノ會コソ分

離ノ責アリ恰モ一山ヨリ顔レ墜チタル一團ノ土塊ヲ以テ山ト名ヅ
 クルヲ得ザルガ如シ

第四項

教會ノ唯一ナルヲ論ズ

問 眞誠ナル教會ノ徵號ハ幾箇アリヤ

答 四アリ曰ク唯一、聖、公、及ビ宗徒ヨリ傳來等是ナリ

問 耶穌基督ハ其教會ノ唯一ナルヲ望ミ給フヤ

答 然リ其言ニ群羊ハ一、牧師ハ一ト(約翰傳十章十六節)聖保録モ亦曰
 ク我等ハ耶穌基督ニ於テ一身タリト(羅馬人ニ達スル書十二章五節)
 又曰ク身ハ一、靈ハ一、主ハ一、洗禮ハ一ト(エフェシヤンニ達スル書
 四章四節)知ルベシ教會ハ一牧師ノ指導ヲ受ケ一信ヲ有シタル一身
 一群羊タルヲチ

問 足下ハ是ヲ如何ニ論決スルヤ

答 此唯一ヲ有セザル教會ハ眞誠ナル耶穌基督ノ教會ニアラズト論決ス

問 「プロテスタン」教會ハ唯一ナルヤ

答 唯一ナルヲ得ズ各自私擅ニ解釋ヲ許スノ教旨ハ常ニ分離ノ念ヲ叢出シ且叢出スルノ原因ナリ何トナレバ各自有學不學ヲ論ゼズ其管見ヲ以テ私擅ニ聖書ヲ解釋スレハナリ

問 「プロテスタン」徒ヲ統轄スル者ハ唯ダ一人ナルヤ

答 否一人ニアラズ普國ニ於テハ國王之ヲ統御シ英國ニ於テハ女皇之ヲ統御ス其他ノ諸國ニ於テモ皆之ニ類セリ

問 公教會ヲ統轄スル者ハ唯ダ一人ナルヤ

答 然リ信徒ハ教師ニ從ヒ教師ハ司教ニ從ヒ司教ハ聖「ペトロ」ノ後ヲ

繼ギ羅馬ノ座ニアル眞誠ナル相續者タル教皇ニ從順シテ以テ其使命ヲ受クルナリ

問 「プロテスタン」教會ハ其信ニ於テ單一ヲ有スルヤ

答 余ハ其單一ヲ有セザルヲ証セシニ英國ニ於テ信ズル事項ハ米國ニ於テ異ナル瑞西國ニ於テ信ズル處ハ普國ニ於テ同シカラズ司教ハ緊要ノ職ニシテ司教ヨリ受クル授階式モ必要ト見認ムル派アリ又之ヲ放棄スル派アリ聖體ノ現存セルヲ信ズルモアリ又之ヲ簡單ナル紀念トナスモノアリ此ノ如ク「プロテスタン」ノ數派ハ救靈上最モ必用ナル事項ニ付テ各其信ヲ異ニス是レ信ノ單一ヲ有セザル証ナリ

問 公教會ハ其信ニ於テ單一ヲ有スルヤ

答 然公教人ハ英國教會佛國教會トイフガ如キ宗派ナク一統同一ヲ

ル真理ヲ信シ真理中一モ之ヲ放棄スルキハ乃チ聖會ノ連絡ヲ斷ズ
ルモノトス蓋公教會ハ一國ノ教會ニアラズ天下萬國ノ教會ナリ

問 「プロテスタン」教會ハ其道德ノ教ニ於テ唯一ヲ有スルヤ

答 「プロテスタン」ノ一派(カルワイン派ヲ指ス)ハ唯信ヲ以テ救靈ヲ得
ルモノトシ豫定命運ノ說ヲ唱フルモ 譯者曰ク是ニ豫定命運トアル語ハ
即チ天主ハ善人ト惡人トノ命運ヲ
豫定シ善人ノ部ニ豫定サレタル者ハ假令如何他ノ派ハ善行ノ必用ナル
ナル大逆罪ヲ犯スモ救靈ヲ得ルトノイヒナリ 他ノ派ハ善行ノ必用ナル
一ヲ唱ヘテ云ヘラクカルワイン派ノ教旨ハ人ヲ指導シテ死後永苦
ニ陥ラシムト

問 公教會ハ其道德ノ教ニ於テ單一ヲ有スルヤ

答 然公教ヲ信奉スル者ハ同一ノ道德ヲ守リ道德ニ背キタル言語行
爲ハ各自其意ヲ異ニセズ同一ニ之ヲ放棄ス

問 「プロテスタン」徒ノ規課ハ何レノ地ヲ論ゼズ皆同一ナルヤ

答 否其地ト其宗派トニ由テ異ルアリ

問 公教會ノ規課モ亦然ルヤ

答 否牧師ニ關スル規課又信徒ニ關スル規課ニ論ナク此ノ如キ緊要
ナル事項ニ於テ異ナルコトナク皆完全ナル單一ヲ有シ何地ヲ問ハズ
祝日ハ同一ニ之ヲ祝シ戒食ハ同一ニ之ヲ行フ

問 「プロテスタン」教會ハ何レノ地ニ於テモ單一ノ敬拜式ヲ施行スルヤ

答 否試ニ見ヨ蘇國ニ於テ天主ヲ敬拜スルノ法英國ト異ナリ瑞西國
ニ於テ天主ヲ敬拜スルノ法ハ普國ト異ナリ何レノ地ヲ論ゼズ二三
ノ「プロテスタン」徒ガ集合スルアラバ乃各其意見ニ依テ敬拜式ヲ制
定スルコトナリ

問 公教會ノ敬拜式モ亦然ルヤ

答 否公教會ハ何レノ地ヲ論ゼズ同一ノ言行ヲ以テ同一ノ彌撒聖祭

ヲ執行シ同一ノ法方ヲ以テ七箇ノ秘跡ヲ授與シ外部ノ敬拜ニ於テモ亦同一ニシテ纖毫モ異ナルコトナシ

問 足下ハ此條件ヲ如何ニ論定セラル、ヤ

答 「プロテスタント」教會ハ自カラ分離スル邸宅ニシテ單一ナラズ徒ラニ其數ヲ増加スルガユヘニ耶穌基督ノ教會トナスヲ得ズ獨リ地上ニ於テ公教會ノ如キ單一完全ナル教會ハ他ニアラザルヲ以テ眞誠ナル耶穌基督ノ教會ハ乃チ公教會ナリ

問 「プロテスタント」徒ハ皆聖書ノミニ依ルヲ以テ單一ヲ有スルモノニアラズヤ

答 否聖書ノミニ依テ以テ各自私擅ノ解釋ヲ付スルガ故ニ其迷誤叢生シ邪教離教ヲ現出スルナリ試ニ見ヨ彼ノミニユツケール(獨逸國一宗派ノ創設者)ガ邪醜ノ教モ聖書ノ私擅解釋ヨリ現出シ彼ノ米國モ

ルモン徒ノ夢幻ノ如キ説モ亦聖書自解ノ法ヨリ現出セシニアラズヤ之ヲ略言スルニ此ノ如キ宗派創立者ハ天主ノ言ヲ變用シテ邪説ヲ立ツルノ原因トナシ恰モ天主ハ白ヲ黒トナシ又黒白同時ニ並行スルヲ教ユルモノ、如クス豈之ヲ信ズルノ理アラソヤ

第五項

教會ノ聖ナルコトヲ論ズ

問 眞誠ナル教會ノ第二ノ徵號ハ如何

答 第二ノ徵號ハ乃チ聖ナルコト是ナリ

問 聖書中ニ耶穌基督ノ教會ハ聖ナラザルベカラズトノ文言アリヤ

答 イザヤノ書(三十五章八節)ニ會ハ聖途ト名ヅクベキ大道ニシテ不潔ノ者ハ此道ヲ過クルコト能ハズトイヒ聖保錄ノ言ニ(エフエシイヤ)ノニ達スル書(五章二十五節)基督ハ教會ヲ愛シ水ヲ以テ之ヲ洗ヒ道

ヲ以テ之ヲ潔クシ之ヲ聖ニスルヲメ其身ヲ供セリ蓋瑕ナク皺ナク
悉ク此ニ類スルコトナキ聖ニシテ玷ナキ光榮ナル會トナスガ爲メナ
リトアリ

問 「プロテスタン」教會ニ於テ其牧師ハ聖ナルヤ

答 聖トイフベカラズ其牧師ト稱スル者ハ宗徒ヨリ傳來ノ貧ヲ守ラ
ズ不犯ヲ守ラズ責身ノ行ヲモナサザル普通ノ凡人ナリ其規課タル
禮第一日ニ一二回ノ説教ヲ爲スニ過ザルモノ、如シ其他ノ日ハ
宗徒ヨリ傳來ノ行爲ヲ執ラズ唯其財産妻子ニ意ヲ注クノミ

問 公教會ニ於ケル牧師ハ聖ナルヤ

答 然リ公教會ノ牧師ハ世事ヲ去リ喜樂ヲ棄テ單ニ天主ノ光榮ト救
靈トニ其神身ヲ供シ世ノ財産ヲ顧ミズ其妻トスル所ハ教會ニシテ
其子トスル所ハ信徒ナリ其務ノ主眼トスル所ハ群羊即チ信徒ヲシ

テ救靈ノ道ニ進歩セシメ其托セラル、所ノ信徒ノ生死ニ至ル迄厚
ク意ヲ注キ妻子眷族ヲ有セズ一心不亂其務ニ心身ヲ抛テ其有スル
所ノ財物ハ些少ト雖モ總テ天主ノ光榮ヲ示ス爲メニ之ヲ使用スル
ナリ

問 「プロテスタン」教會ニ於テ聖寵ヲ蒙ルニ特別ナル道アリヤ

答 否彼徒ハ聖寵流出ノ源タル彌撒聖祭及七秘跡中五秘跡ヲ廢シテ
以テ宗教ノ大旨要點ハ悉ク之ヲ放棄セリ特ニ其守ル所ノ二秘跡ニ
於テ洗禮ハ單ニ名ヲ假ルノ狡手段ニシテ聖體ノ秘跡ハ亦單ニ餅餅
ト葡萄酒ノ配與ニ過ギザルノミ

問 然ラハ公教會ニ於テ聖寵ヲ蒙ルニ特別ナル道アリヤ

答 然リ彌撒聖祭及七秘跡ニ於テ其功最大ナリ蓋シ是ハ我主ノ傷ヨ
リ流出スル所ハ聖寵ヲ公教人ニ生ヨリ死ニ至ル迄ノ間配與スル所

ノ運河ナリ

問 「プロテスタント」徒ノ教旨ハ聖ナルヤ

答 否「プロテスタント」ノ各派ガ教ユル所ノ論主タル道德ノ教旨ハ是破滅シタル聖ナリ就中其最モ道德ニ背キタル教旨ハ豫定命運ノ説及信ノミヲ以テ義者トナシ善行ハ無益ナリトスルノ説ニ在リ此ノ如キ愚説ヲ信シテ道德ヲ修メ道德ニ背キタル行爲ヲ避ケント欲スルモ豈得ベケンヤ知ルベシ聖ナル者ハ此ノ如キ教旨ト並行スルモノアラザルコトナ

問 公教會ノ教旨ハ聖ナルヤ

答 然リ公教會ハ其信徒ニ天主ガ默示シ給ヒシ事項ヲ悉ク信ゼシメ其命シ給ヒシ事項ヲ悉ク執行セシム又公教人中單ニ誠ヲ守ルノミヲ以テ満足セズシテ福音ノ告諭ヲ行フモノ多シ戒食責身ノ苦行祈

禱秘跡ノ拜受其他聖書中ニ告諭スル一切ノ事項ハ上教皇ヨリ下徹々タル小民信徒ニ至ル迄悉ク之ヲ行フ故ニ之ヲ聖トイフナリ

問 公教會ハ此ノ如キ荷寵ノ道此ノ如キ至聖ノ教ヲ有スルモノナレ

バ聖人ヲ以テ稱セラルモノ數多アラザルヲ得ザルノ理由ナリ如何

答 然リ上ハ國王王族ヨリ下ハ細民乞丐ニ至ル迄各社會ニ數多ノ聖

人ヲ有セリ

問 「プロテスタント」徒ハ之ヲ是認スルヤ

答 然リオクスブル教旨ノ辨明書リユテール徒著述ニ係ル第十三條ニ聖ベルナ

ルド聖フランセスコ聖ボナウエンチコラハ誠ニ聖人ナリト公言セリ英國派ノ教會ハ年曆上ニ於テ公教會ノ聖人ヲ歴記ス「プロテスタント」徒ノ一派ピユゼイストハ公教ノ聖人ヲ悉ク是認セリ

問 此等ノ聖人ハ何レノ教會中ニ生存シテ何レノ教會中ニ死没セシ

答 公ニシテ宗徒ヨリ傳來スル羅馬教會ニ於テ生死セリ

問 足下ハ如何ニ之ヲ論決スルヤ

答 公教會ニ於テ聖人トナルヲ得ルガ故ニ救靈ヲ得ルハ固ヨリ疑ヲ容レザル所ナリ此ノ如ク聖人トナリ又救靈ヲ得ルガユヘニ公教會ハ即チ眞誠ナル教會ニシテ他ニ又眞誠ナル教會ハアラザルナリ從來耶穌基督ハ二種ノ教會ヲ創建シ給ハズ故ニ洗禮モ一ナリ群羊モ一ナリ牧師モ一ナリ眞誠ナル唯一教旨ヲ含有スル默示モ亦一ナルノミ

問 天主ハ公教人ノ聖ヲ表スル爲メ奇跡ヲ現示セラレタルヲアリシ

ヤ

答 之アリプロテスタント徒ハ之ヲ信憑セリ彼ノ偏頗ニ熱心ナルリユ

テールノ徒及カルワイソノ徒ノ言ニ天主ハ聖フランシスコ、ザウエリリヨチ以テ奇跡ヲ顯示セラレタリト夫レ聖フランシスコ、ザウエリヨハ公教ノ一神父ナラズヤ公教ノ一神父ナレバ天主ノ功力ニ依リ播布シタル其宗教ハ即チ眞誠ナル公教ナリ若シ眞誠ナル公教ニアラザレバ天主ハ此公教ヲ以テ其全能全智公善ヲ顯示シ給ハサルベシ

第六項

教會ノ公ナルヲ論ズ

問 眞誠ナル教會ノ第三ノ徵號ハ如何

答 公ナルト是ナリ

問 此徵號ハ聖書中ニ記載アリヤ

答 然リ聖書ニ依レバ教會ハ時ト地ト教旨トニ於テ公ナラザルベカ

ラズ

問 時ニ於テ公ナラザルベカラズトノ証據ハ聖書中何レニアルヤ

答 イザヤ書中ニアリ曰クゼリニザレム汝ガ城垣ニ晝夜休息セザル哨兵ヲ置キ以テ之ヲ察セシメントス(六十二章六節)又曰ク其國ノ平康昌大限リナク今ヨリ永クダウイドノ位ニ座スベシト(九章七節) 聖約翰ノ福音書ニ我主ノ言アリ曰ク我將ニ父ニ求ムベシ彼レ他ノ垂慰ノ聖神ヲ爾ニ賜ヒ永ク爾ト偕ニ居ラシムト(約翰傳十四章十六節)

問 地ニ依リテ公ナラザルベカラズトノ証據ハ聖書中何レニアルヤ

答 マラキ書一章十一節ニ曰ク日出ヅルノ所ヨリ日没スルノ所ニ至ル迄我名ハ列邦ノ尊ブ所タリト又詩二十一篇ノ二十八章ニ曰ク地ノ四極咸ク天主ヲ旨トシテ之ニ歸スト又詩二篇八章ニ曰ク爾ヲ

唯我ニ求メヨ我レ異邦ニ以テ爾ニ賜ヒ地ノ四極ヲ以テ爾ガ得ル所トナサント又路加傳二十四章四十七節ニ曰ク其名ニ託シテ悔改赦罪ノ道ヲ萬國ニ傳ヘラルト又宗徒行傳一章八節ニ爾等將ニ我ガ爲メニゼリニザレムニ於テ証トナリシユデヤサマリヤニ遍クシテ以テ地ノ極ニ至レトアルナリ

問 聖書中前記ノ時ト地ト教旨トニ於テ公ナルコトハ眞誠ナル教會ニ必用ナル徵號ノ如ク記載アリヤ

答 然リ耶穌基督ガ其宗徒ニ使命ヲ賜フキノ言ニ爾等往キ萬民ヲ招キテ徒トナシ我爾ニ命ズル所ノ事ヲ教ヘヨ視ヨヤ我ハ常ニ爾ガ曹ト偕ニアリテ世ノ末ニ至ルト(馬太傳二十八章十九節及二十節)此文意ニ於テ耶穌基督ハ其教會ハ時ト地ト教旨トニ於テ公ナルベキヲ公言シ給ヘリ

問 「プロテスタント」教會モ時ト地ト教旨トニ於テ公ナルヤ

答 「プロテスタント」教會ハ此三項ヲ有セズ其時ニ於テ公ナラザルハ創設以來僅カニ三百余年ナレハナリ夫レ教會ナルモノハ教ヲナス牧師ト教旨ヲ信奉スル信徒トヲ以テ組織セシモノナリ特ニ怪ム耶穌基督ノ世ヨリリユテールノ世ニ至ル凡ソ千五百年間世ニ「プロテスタント」徒ノ教旨ヲ信奉セシ社會ナキヲ又「プロテスタント」教會ハ地ニ於テモ人口ニ於テモ公ナルヲ得ズ地學者ノ説ニ據ルニ「プロテスタント」徒ノ人口ハ一億一千六百萬人公教信徒ハ二億萬人ナリ然ルニ「プロテスタント」教徒ノ數ヲ以テ公教信者ノ數ニ比スルキハ其數過半ナルニ似タルモ其教徒ハ今歐巴羅中ニ於テ益減シテ信要スルモノハ公教ニ入り之レヲ要セザルモノハ無神論者トナリ且公教信者ノ一致ナルト大ニ異ニシテ日ニ數多ノ別派ヲ加ヘ到底一致ナルヲ我ガ公教

信者ノ如クナルヲ得ザレバ之ヲ目シテ公トナスガ如キハ當ニ適當セザルノミナラズ實ニ笑止ノ至ナリ且「プロテスタント」各派ノ在ル地ヲ以テ公教ノ在ル地ニ比スレバ其區域ハ實ニ狭少ナルモノナリ又教旨ニ於テモ公ナラザルノ點ニハ豈理ナカラシヤ彼ノ豫定命運ノ說善行ヲ無益トシ守誠ヲ奉シ難シトスル等ノ說ノ如キ真理ヲ有セザル迷誤ヲ教ヘ且其教法タル各所ニ依リテ異ナリ各派其說ヲ異ニシ一派中同一ノ教旨ヲ信ズルモノ僅カニ一二人ニ過キズ又一旦明瞭ナラズトシテ拋棄シタル聖書ヲ再用シ朝ニ是トシテ夕ニ非トスルニ至ル其道德規課教育ハ單ニ痴愚瞑頑ノ一塊團ニシテ公ナラザルヤ明カナリ

問 公教會ハ此三項ヲ有スルヤ

答 然リ第一誰人モ公教會ハ創立以來中絶セシトノ確証ヲ引テ之ヲ

明言シタルモノナク年代ヲ逐フテ耶穌基督ノ世ニ至ルノ教會ハ公
 教會ヨリ他ニアラズ第二ニ公教會ハ已ニ前述セシ信徒人口ノ統計
 比較ニ依テ之ヲ見ルモ地上萬民ノ教會ナルヲ明瞭ナリ視ヨ今異教
 ナ奉ズル國ニ於テ尙ホ公教古蹟ノ存スルアリテ以テ往昔公教ヲ奉
 シタル時代ノ光榮ヲ示スヲ又視ヨ蘇國現今ノ法律ノ如キ其過半
 ハ公教會ノ規課ヲ依然保續セルコトヲ又英國ハ往昔天主ニ奉供セ
 シ聖堂學校等ノ尙ホ存スルヲ以テ國ノ光榮ノ如ク誇ルニアラズヤ
 且英國ニ於テハ野蠻改教徒ノ暴動ヲ免レシ美麗ナル寺院修道院ノ
 存シテ以テ公教ノ盛大ナリシヲ証スルニアラズヤ加之異教人ニシ
 テ嘗テ舉國「プロテスタント」宗ニ從フモノナシ之ニ反シテ異教ノ國民
 ガ眞誠ナル天主ニ歸伏セシハ公教ニ依ラザルモノナシ何レノ國ヲ
 論ゼズ公教ノナル所ニ於テハ同一ノ秘蹟ヲ授ケ同一ノ彌撒聖祭ヲ

施行スイザヤノ書ニ我爾ニ列邦ヲ賜ヒ地ノ四極ヲ以テ爾ガ領國ノ
 境界トナストイヒシハ即チ公教會ヲ謂ヒタルモノナリ第三ニ其教
 旨ハ何レノ地何レノ時ヲ論ゼズ一般同一ニシテ千八百年間幾回ノ
 審査ヲ經ルモ毫モ其意ヲ變ゼザルハ恰モ純精ナル黄金ノ如シ然ル
 ニ邪教背教ヲ以テ此ノ如ク堂々タル公教ニ敵シ之ヲ殲滅セント計
 ルモ其功ナカルベシ蓋公教ハ能ク其信徒ヲシテ天主ガ命セシ事項
 ナ行ハシメ默示ノ事項ヲ信セシムレバナリ此教旨ハ恰モ其創建者
 ナル我主ノ如ク昨日ハ今日ニ異ナラズ今日ハ世ノ末ト異ナラザル
 モノナリ

問 聖オグスチノハ公ノ語ニ付テ如何ナル言ヲ發セシヤ

答 聖人ノ言ニ我ヲシテ教會内ニアラシムルハ唯彼ノ公ノ一語ニ因
 ルナリ邪教黨ハ徒ラニ此語ヲ用井ントシテ種々ノ苦心ヲナスモ絶

テ其効ヲ見ズ若シ旅人アリ一都府ニ入り公教會ハ何レニアリヤト
問ハ、邪教黨ハ抗顔ナリト雖モ恐クハ其僅々タル小數ノ會ヲ指シ
テ以テ公教會ナリト答フルヲ得ザルベシト

問 聖エロモニヤハ公ノ語ニ付アイフ所アリシヤ

答 是アリ其言ニ足下等一個人ヨリ名ヲ引ク所ノ教會即チマルシイ
オンヨリ其名ヲ得タル「マルシイ」ニ「ト」徒ワラエンタインヨリ其
名ヲ引ク所ノ「ワラエン」チ「ニヤン」徒往昔ノ邪教黨ノ如キヲ視バ耶
穌基督ノ公會ナラズシテアンテキリスト(基督ヘ敵スル偽基督)ノ學
舎ト見做シテ可ナリトイヘリ余ハリユテールヨリ其名ヲ引ク所ノ
「リユテールヤン」徒カルウインヨリ其名ヲ引ク所ノ「カルウイ」ニスト徒
モ亦此ノ如キ偽基督ノ一校舎ニ過キザルノ評語ヲ下シテ可ナリト
思考スルナリ

問 請フ我等ガ有スル所ノ公ノ一語ニ依テ眞誠ナル教會内ニアラシ
ムルヲ証明セラレヨ

答 リユテールノ時ニ當リ古來ノ會ト連絡セル者ハ公ノ語ヲ保有ス
ルヲ得タリシモ新教黨ハ其新設ノ會ニ名ヅクルニ創設者若クハ
創設シタル國名又ハ其新説ノ教旨ヨリ引ク所ノ名ヲ以テセリ視ヨ
彼ノリユテール徒カルハイン徒英國宗派「メトヂスト」派クアケール
派モ「ライ」ウ教兄弟派等ノ如キ現ニ其名ヲ見ルルハ其宗教ノ人造ニ
係ルヲ知ルベシ

問 足下ハ以上ニ論述セラレタル公ノ三項ニ付テ如何ニ論定セラル
ハヤ

答 聖書ハ特ニ眞誠ナル教會ガ時ト地ト教旨トニ於テ公ナラザルベ
カラザルヲ明示セリ然ルニ「プロテスタント」教會ハ此三項ノ一ヲモ

有セズ唯世ニ之ヲ有スル會ハ公教會ナリ故ニ余ハ公教會ヲ以テ眞誠ナル耶穌基督ノ教會ナリト論決ス

第七項

教會ハ宗徒ヨリ傳來スルヲ論ズ

問 眞誠ナル教會ノ第四ノ徵號ハ如何

答 宗徒ヨリ傳來スルモノ是ナリ

問 宗徒ヨリ傳來スルトハ何ノ謂ゾ

答 耶穌基督ノ教會タラントセバ其教旨祭司ノ職權及其使命等悉ク

耶穌基督ノ時代ノ宗徒ヨリ傳來セザルベカラズト云フ意ナリ

問 何ヲ以テ之ヲ必要トスルヤ

答 教會創立以來服役ノ事ヲ行ヒ基督ノ體ヲ建ツル爲メ眞誠ナル牧

師アラザルベカラズ(聖保錄エフエシイヤンニ達スルノ書四章十二

節)イザヤノ書ニゼリユザレームヨ我レ爾ガ城垣ニ哨兵ヲ置キ晝夜息マザラシム(六十二章六節)トアリ又聖保錄ガヘブレヤ人ニ達スル書中ニ(五章四節)人自カラ祭司ノ尊キニ任スル者ナシ惟アトロンノ如ク天主ヨリ名ヲ蒙ルモノノミトアルヲ見レバ牧師ハ眞誠ニ天主ヨリ遣サレタルモノトナサズルヲ得ズ夫レ耶穌基督ハ其宗徒ヲ遣シ宗徒ハ保錄バルナベノ二宗徒ヲ遣シ保錄ハチモテ及チトトヲ遣ス等各順次ヲ逐ヒ先進ハ後進ヲ遣シ以テ耶穌基督ヨリ連綿傳續シテ今日ニ至ラシム蓋其使命ヲ命ズルハ耶穌基督ガ其宗徒ニ父我ヲ遣ス我レ爾ヲ遣ストノ聖言ニ基ヒテ施行スルモノナリ又代々ノ牧師ハ聖保錄ガチートニ贈リシ書ニ基ヒテ祭司ノ職ヲ受ク其書ニ曰ク我レ爾ヲクレトニ留ムル所以ハ蓋我爾ニ命ゼシ如ク缺ク所ヲ改メ且各邑ニ祭司ヲ立テシムルガ爲メナリト

問 「プロテスタン」徒ハ聖書ヲ以テ信ノ規範トナスガ故宗徒ヨリ傳來
スル教會トナスモ不可ナカルベキヤ

答 此言ノ如クナラシメバ彼ノ徒ハ舉テ同一ノ真理ヲ教ユベキニ然
ラズシテ抱腹ニ堪ヘザル異說迷誤ヲ以テ猥リニ其徒ニ教ユルハ是
乃チ宗徒ヨリ傳來セザルノ明証ニシテ有識ノ人ニアラザルモ豈此
ノ如キ說ヲ信ズルモノアラシヤ加之宗徒等ガ世ヲ辭シテヨリ以來
リニテールノ世ニ至ル迄年ヲ經ルヲ千四百年ナリ此千四百年間彼
レガ教旨ハ世ニ知レザリシヲ以テ之ヲ見ルモ其宗徒ヨリ傳來セザ
ルヤ明カナリ

問 公教會ハ其教旨ニ於テ宗徒ヨリ傳來スルモノナルヤ

答 然リ我が公教ニ敵スル輩ハ本志ナラザルモ止テ得ズ其真誠ナル
ヲ信シテ教皇黨ノ教旨ハ變動セズトイヘリ我公教會ハ其教旨

ニ於テ耶穌基督ヨリ今日ニ至ルモ毫モ變スルヲナク何レノ地ヲ論
セズ皆同一ナリ其創立ハ宗徒ヨリ以降ナル他ノ一個人ヨリ來ルニ
アラズ又一國ヨリ來ルニアラズ余ハ切ニ望ム「プロテスタン」徒ガ公
教會ハ其源ヲ宗徒ノ正統ヨリ引カズ他ノ派流ヨリ引クナリトノ說
ヲ唱ヘンヲ

問 「プロテスタン」教會ノ使命ハ宗徒ヨリ傳來スルヤ

答 否「プロテスタン」徒ハリユテールヲ以テ祖トス彼ノリユテールハ
誰ヨリ遣サレタル者ゾ果シテ其使命ヲ天主ヨリ受ケタルモノナリ
トセバ之ヲ証スル爲メ奇跡ヲ顯示セザルベカラズ然ルニ彼レガ一生
ノ行爲中一ノ奇跡ヲ顯示シタルコトナキヲ視レハ決シテ天主ヨリ
遣サレタルモノニアラズ又宗徒ヨリ遣サレタルモノニモアラズ特
ニ天主ニ背反スル魔鬼ヨリ遣サレタルヲ知ル惜ムベシ宗徒等ハ千

五百年前世ヲ去リリユテールト相見ルノ期ナカリシヲ又「プロテスタン」徒ハ公教會ヨリ遣サレタルモノニアラズ何ントナレバ公教會ハ其宗教ニ離レ連絡行通チ絶チシ者ニ其使命ヲ命スルノ理ナケレバナリ况ンヤ彼レガ布キタル教旨ハ直接ニ公教會ノ教ニ背反セルニ於テオヤ且リユテールノ以前ニ「プロテスタン」會ナキヲ以テ使命ヲ受ケタリトイフヲ得ズ故ニ余ハ斷然リニテールハ使命ヲ受ケタル者ニアラザルヲ知ル其徒ノ如キハ聖保録ガ若シ使命ヲ受ケテ遣サレザレバ如何ンゾ其教ヲ布クヲ得ンヤトイヒシ確言ヲ願ミザル闖入者ナリ彼ノゼレミイヤノ書中(二十三章二十一節)天主ノ言ニ我レ此等預言者ヲ遣サレルモ彼レ自カラ奔走ス我レ彼等ニ命セザルモ彼等自カラ預言ストアルハ正ニ「プロテスタン」徒ヲ指シタルノ言ナラン彼ノ徒ハ聖約翰傳ニ記載アル彼ノ盜賊ニアラザルナキヲ証

明スルヲ得ルヤ否

問 公教會ハ其使命ニテ宗徒ヨリ傳來スルモノナルヤ

答 然リ宗徒ヨリ傳來スル教會ハ唯公教會アルノミ其牧師ハ神父ヨリ司教ニ至リ司教ヨリ教皇ニ至ル迄其使命ノ順序ヲ逐フテ之ヲ數フルキハ數百年ヲ溯リテ以テ耶穌基督ノ使命ヲ受ケタル宗徒ニ達ス又公教會ハ常ニ教皇アリ現今ノ教皇十三世レオン聖父ヨリ起算シテ前代ノ順序ヲ逐フキハ則チ聖「ペトロ」ニ達ス此等累代ノ教皇及司教ハ公教會ノ名簿ニ依テ徵スベシ然ラバ公教會ハ何レノ地ヲ論セズ何レノ時ヲ論セズ常ニ羅馬ニ在ル宗徒ノ座即チ教皇ノ座ト連絡通行シテ以テ信教ヲ教ユルノ司教ヲ有スルモノナリ

問 「プロテスタン」教會ハ神父ノ授階ニ於テ宗徒ヨリ傳來スルモノナルヤ

答 否、プロテスタント徒ハ授階ノ權ヲ有セズ之ヲ有スト自稱スル派モ亦多カラズカルワイン徒リユテール徒其他ノ「プロテスタント」徒ハ何レモ普通ノ人ナリリユテール派ハ固ヨリ之ヲ有セズ何ントナレバ神父ノ授階ヲ司ル眞誠ノ司教ナルモノ連續シテ其會ヲ指揮スルヲナケレバナリ彼ノ英國派ノ「プロテスタント」會ニ於テハ司教ト名稱スルモノアリト雖モ實ニ奇怪ニ堪ヘザル事項ニシテ其初代ノ司教ナル者ハ眞誠有功ナル授階ニ與カリシ者ニアラザルナリ況ンヤ百二十年以來眞誠ナル授階ノ法式其教會ニ存セザルニ於テオヤ暫ク階ヲ受ケタルモノト見做スモ其使命ヲ受ケザルヲ以テ依然從來ノ邪教黨離教會ノ列ニ加フベキモノナリ且「プロテスタント」教會ハ創立以來僅カニ三百余年ニ過キズ故ニ其授階ハ宗徒ヨリ連續トシテ傳來スルノ理ナキヤ明カナリ

問 公教會ハ其授階ニ於テ宗教ヨリ傳來スルモノナルヤ
 答 然リ公教會ハ上教皇ヨリ下神父ニ至ル迄其授階ノ順序ヲ逐ヒ數百年ヲ通算スルトハ連續宗徒ニ至ル其牧師ハ初代ノ宗徒ヨリ累代中絶セズシテ今日ニ繼續ス故ニ英國宗派ノ如キ「プロテスタント」徒中授階アリトセバ彼等ハ其本心ニアラザルモノ之ヲ公教會ヨリ傳受セザルヲ得ズ果シテ傳受セバ「プロテスタント」徒モ亦公教ノ授階ハ宗徒ヨリ傳來スルモノト確認セザルベカラザルナリ

問 足下ハ如何ニ之ヲ論定セラル、ヤ
 答 余ハ「プロテスタント」教會ハ眞誠ナル耶穌基督ノ教會ニアラズ眞誠ナルモノハ單ニ公教會ノミナリトス

問 何ヲ以テ此ノ如キ論定ヲ下スヤ
 答 聖書ニ依レバ眞誠ナル教會ノ教旨使命及授階ノ權ハ間斷ナク連

續シ初代ノ宗徒ヨリ今ノ牧師迄傳來セザルベカラズ然ルニプロテ
スタン教會ハ此三條項ノ一ヲモ有セザルヲ以テ眞誠ナル教會トナ
スベカラズ之ニ反シ公教會ハ其教師其使命其授階ノ權ニ於テハ皆
宗徒ヨリ傳來スルヲ以テ眞誠ナル耶穌基督ノ公教會ナリト論定ス
ルナリ

問 教會ノ徵號ニ付テ足下ガ論述セラレタル事項ヲ今如何ニ論定セ
ラル、ヤ

答 「プロテスタン教會ハ聖書ニ明示セル教會徵號ノ一ヲモ有セザル
ヲ以テ耶穌基督ノ教會ナリト自誇スルハ尤モ愚ノ極點トイフベシ
公教會ハ然ラズ已ニ前ニ論述セル唯一聖公及宗徒ヨリ傳來スルヲ
以テ眞誠ナル耶穌基督ノ教會ナリトイフナリ

問 公教會ハ眞誠ナル耶穌基督ノ會ナルヲノ証明ハ尙他ニアリヤ

答 此アリト雖モ余ハ一々之ヲ辨論セズ唯一言以テ足下ノ問ニ答ヘ
ントス夫變動迷誤セザル教會ハ乃チ眞誠ナル耶穌基督ノ教會ナリ
何ントナレバ耶穌基督ノ教會ニシテ果然變動迷誤セザルモノトセ
バ變動迷誤スル教會ハ此眞誠ナル基督ノ教會ニアラザルヤ辨ヲ要
セズ依テ其變動迷誤セザルヲ確認シ之ヲ信ジ之ヲ教ヘテ以テ地
上ニ唯一ナル公教會コソ眞誠ナル耶穌基督ノ教會トイフベシ

問 足下ハ前述ノ事項ニ於テ尙如何ニ論決セラレ、ヤ

答 之ヲ論決スルニ教會ハ唯一ニシテ聖公ニシテ宗徒ヨリ傳來スル
モノナリ「プロテスタン」宗教ハ四徵號ノ一ヲモ有セザルヲ以テ變動
迷誤セザル眞誠ノ基督教會トナスベカラズ之ニ反シテ公教會ハ其
信其統轄其教務ニ於テハ唯一ナリ其棟梁其教旨其信徒ニ於テハ聖
ナリ時ト地ト教旨トニ於テハ公ナリ其使命其授階ノ權ニ於テハ宗

徒ヨリ傳來スルモノナリ此四徴號ニ依テ之ヲ變動迷誤セザル眞誠ナル耶穌基督ノ教會トス若シ然ラズトセバ則チ天主ハ欺罔者ナリ聖書ハ無益ノモノニシテ正理ハ痴漢ノ說宗徒ハ憎ムベキ一演劇ニ過キザルベシ

因ニ曰ク瑞西國ゼテールウ府プロテスタンノ教士エルテストナウイールノ言ニ能ク公教ヲ審査スルルハ其教ノ益ス正實ニシテ美麗ナルヲ知ル公教會ヲ除クキハ耶穌基督ノ創立ニ係ル教會ハ之レテシトイヘリ

第八章 教會棟梁ノヲ論ズ

第一項

聖ペトロノ事

問 教會ノ棟梁ハ誰人ヲ指スヤ

答 眞誠ナル教會ノ棟梁ハ耶穌基督ナリ吾主ハ人ノ肉眼ニ觸レザルモ天ニ座シマシテ以テ其教會ヲ統治シ給フナリ

問 耶穌基督ハ其身ニ代リ地上ニ在リテ其教會ヲ統治セシムルタメ

肉眼ニ觸ル所ノ代理者ヲ置キ給ハザリシヤ

答 我主ハ其代理者トシテ聖ペトロヲ撰定シ給ヘリ

問 然ラバ聖ペトロハ他ノ宗徒ニ勝レルノ權力ヲ我主ヨリ受領ヒシヤ

答 然リ聖書ニ就テ之ヲ証明センニ馬太傳十六章十八節ニ爾ハ盤石ナリ我ハ此盤石ニ我會ヲ建ツ地獄ノ門ハ之ニ勝ツ能ハズトアリ

問 盤石トアルハ誰ヲ指スノ語ナルヤ

答 聖ペトロヲ指スノ語ニシテペトロノ初名ハシイモンナリシモ耶穌基督ハ之ニペトロノ新名ヲ給ヘリペトロハ磐石トイフ意ナリ我

主ノ言ニ爾ハシヨナノ子シイモンナリ以來名ヲセフアースト改ム
ベシセフアースハ磐石ノ意ナリト夫我主ガセフアーストイヒ給ヒ
シハシイリヤノ語ニシテ希臘語ニ於テハ之ヲペトロストイヒ磐石
ノ意ナリ前ニ掲ケシ我主ノ言ヲ直譯スルニ爾ハ磐石ナリ我レ此磐
石ニ我ガ會ヲ建ツトノ意ニシテ「ペトロ」一人ノ外此ノ如キ聖詞ヲ受
ケタルノ宗徒ナシ我主又曰ク視ヨ我レ爾ニ天國ノ鍵ヲ授ク爾ガ地
ニ繫ク所ハ亦天ニ繫ガレ爾地ニ釋ク所ハ亦天ニ釋カルト(馬太傳十
六章十九節)

問 耶穌基督ハ同一ノ言テ他ノ宗徒等ニモ曰マハザリシヤ

答 此語ハ單ニ「ペトロ」ノミニ對シテ謂給ヒシ言ニシテ特別ナル權利
ヲ授ケ給ヒシナリ他ノ宗徒等ニハ一齊ニ對シタル語ヲ以テ言ヒ給
ヘリ

問 「ペトロ」ニ係ル聖約翰傳二十一章ニ掲グル耶穌ノ言ハ如何

答 我ガ小羊ヲ牧セヨ我母羊ヲ牧セヨトアリ古ノ聖教父ハ皆小羊ヲ
信徒トシ母羊ヲ牧師トスル意ニ解ス可シトイヘリ故ニ母羊ガ小羊
ヲ養育スル如ク牧師ハ救靈ノ道ニ就テ其信徒ヲ養育スルナリ

問 聖「ペトロ」ノミニ授ケラレタル使命ニ付テ足下ハ如何ニ論定セラ
ル、ヤ

答 耶穌基督ハ聖「ペトロ」ニノミ其教會其牧師其信徒ニ意ヲ注グヲ
命シ給ヒシト論定ス

問 耶穌基督ハ宗徒中「ペトロ」ノ信ヲ鞏固ナラシムルタメ特ニ彼ガ爲
メ祈禱ヲナシ給ハザリシヤ

答 然リ我主ハ聖「ペトロ」ニ向ヒ我爾ノ爲メ祈禱セリ蓋爾ガ信ノ撓マ
ザル爲メナリ爾ヲ歸服ノ後爾ガ兄弟ヲ鞏固ナラシメヨト曰マヘリ

(路加傳二十二章三十二節)故ニ「ペトロ」ガ他ノ宗徒ニ勝ルノ權力ヲ我主ヨリ受領セシヤ明カナリ若シ其權利同等ナルモノトセバ豈「ペトロ」ハ他ノ宗徒鞏固ナラシムル命ヲ受タルノ理アラシヤ

問 耶穌基督ハ其小羊其母羊ノ撫育ヲ「ペトロ」ニ托スルノ以前ニ於テ何テ以テ他ノ宗徒ニ勝リテ主ヲ愛スルヤト「ペトロ」ニ問ヒ給ヒシヤ (約翰傳二十一章十五節)

答 耶穌基督ハ「ペトロ」ガ他ノ宗徒ニ勝リテ聖身ヲ愛スルヤ否ヤヲ問ヒ給ヒシハ「ペトロ」ニ基督教會及牧師信徒ヲ指導スルノ重任ヲ負ハシムルガ爲メナリ

問 聖書中「ペトロ」ガ衆宗徒ノ上ニ位スルヲ証スルノ明文アリヤ

答 然リ視ヨ聖書中各宗徒ノ姓名ヲ記スル所ハ常ニ「ペトロ」ノ名ヲ初頭ニ記載スルヲテ(馬太傳十章ニアリ)蓋「ペトロ」ハ長老ナリシ故ヲ以

テ上位ニアリトイフベカラス何ントナレバ「アンドレヤ」ハ「ペトロ」ヨリ年長ニシテ耶穌基督ニ服從ヒシ當初ノ門弟ナレバナリ聖「アンボロシイオ」ノ言ニ宗徒ノ棟梁ハ「アンドレヤ」ニアラズ「ペトロ」ナリト聖「オグスチノ」ノ言ニ視ヨ「ペトロ」ハ此ノ如キ光耀ヲ以テ第一位ヲ占ムルヲト聖「オグスト」ノ言ニ「ペトロ」ハ宗徒ノ棟梁ニ撰定サレタリ蓋シ教會ニ唯一ヲ有セシムルガ爲メナリト

問 「ペトロ」ハ教會ノ棟梁トシテ如何ナル所爲アリシヤ

答 吾主昇天ノ後直チニ諸宗徒ヲ參集セシメ身議長トナリ一人ノ宗徒ヲ撰定シテ「ユダ」イスカリヨトノ代トセリ又「ペトロ」ハ他ノ宗徒ニ先シテ十字架上ニ於テ身ヲ犠牲トナシタル耶穌基督ノ功德ヲ衆民ニ開カシメ當初ノ布教ニ於テ三千人ノ信教ヲ得始メテ基督教會ノ形狀ヲ組織シ以テ耶穌基督ガ爾ハ教會ヲ建ツル基礎ノ盤石ト

リト曰ヒシ聖詞ニ對ヘタリ(宗徒行傳二章十四節)異教人ニ洗禮ヲ授
與スルヲ教ヘシハ「ペトロ」ナリ蓋默示ニ依テ此教ヲ受ケタリ(宗徒行
傳十章)エテ及ク「ピロ」ニ對シ當初ノ奇跡ヲ現示シ跛者ヲ歩マシメ
タル者ハ「ペトロ」ナリ又一言テ以テ「アナニ」及「サフヒール」ヲ死ニ至
ラシメタルノ奇跡ヲ現示セシモ亦「ペトロ」ナリ(宗徒行傳三章五章九
章等ニアリ)

問 「ペトロ」ハ宗徒中ノ訓蒙者トナリテ如何ナル行爲アリシヤ

答 アンチイヨシユニ於テ割禮ノ項ニ依テ異論ヲ生シ宗徒等ゼリ
ユザレームニ參集シテ會議ヲ開キシ際「ペトロ」ハ基督信徒ニハ猶太
人ガ守リシ割禮ヲ施行セズト決斷セリ而シテ聖保祿ハ同一ノ宗徒
ナルモ之ヲ決斷スルノ權ヲ有セザリシ「ペトロ」ガ諸宗徒ニ告ゲタル
言ニ兄弟ヨ爾等方ニ知ルナルベシ天主ガ我ヲ諸兄弟ノ中ヨリ撰定

シ我ガ口ヲ以テ福音ノ聖言ヲ異教人ノ耳朶ニ達セシメノヲテト此
言ヲ聞キ一人ノ之ニ敵抗セシ者ナシ聖「ヤコブ」ハ當時宗徒等ガ集
合セシゼリユザレームノ司教タリシガ此時座ヲ起テ「ペトロ」ノ言ヲ
賛成シ以テ之ニ服スルノ意ヲ表セリ(行傳十五章七節十二節)

問 足下ハ如何ニ之ヲ論決スルヤ

答 余ハ斷シテ「イフ」「ペトロ」ガ宗徒中ノ第一位ヲ占メ諸牧師ノ棟梁タ
ルハ聖書中明文アリテ抗スベカラザルノ確理ナリ然ルニ是ガ攻撃
ヲ試ムル「プロテスタント」徒ハ糺稜ナル其異論其離教ヲ貫カン爲メ聖
書ノ文意ヲ揣摩解釋シ其眞理ヲ滅没シ聖書ヲ以テ一個ノ玩弄品ト
ナスハ尤モ奇怪ニ堪ヘザルナリト

第二項

羅馬教皇ハ棟梁ナルヲ論ズ

問 足下ハ已ニ聖「ペトロ」ノ棟梁權ヲ有スルヲ論了セラレタリ乞フ
是ヨリ傳來スル事項ヲ聞カン

答 聖「ペトロ」ノ相續者ハ皆聖「ペトロ」ニ等シキ位階ト權力トヲ有ス夫
耶穌基督ガ一度確定シ給ヒシ教會ノ統治ハ僅々百年乃至二百年間
繼續スルモノニアラズ即チ教會ト共ニ世ノ末ニ至ル迄繼續スルモ
ノナリ

問 誰チガ聖「ペトロ」ノ相續者トナスヤ

答 羅馬教府ノ司教ヲ以テ其相續者トナス何ントナレバ聖「ペトロ」ガ
其座ヲ定メ其死ヲ遂ケタルハ當時世界ノ首都タリシ羅馬府ニアレ
バナリ

問 聖「ペトロ」ハ一度モ羅馬府ニアリタルヲナシト難ズル者アラバ如
何

答 余ハ難者ニ問ハントス果シテ聖「ペトロ」ハ羅馬府ニ於テチーロン
皇帝ノ世ニ致命セズトセバ何レノ地何レノ年ニ於テ其苦難ヲ受ケ
シヤ又果シテ聖「ペトロ」ハ羅馬府ニ於テ死没セザリシトセバ現ニ羅
馬府ニ存スル遺物ハ何レノ頃何レノ地ヨリ該府ニ傳ヘシモノトス
ルカ恐ラクハ之ニ答ルノ辭ナカルベシ且誰人ガ羅馬當初ノ司教ヲ
リシヤノ點ニ至テハ聖「ペトロ」ノ世ニ存セシ教父ノ遺傳アリ此遺傳
千五百有餘年ノ後ニ突出セル「プロテスタン」徒ノ説ニ比スレバ豈確
實ナラズヤ

問 然ラバ往昔ノ教父等ハ聖「ペトロ」ヲ以テ羅馬府當初ノ司教トナス
ヤ

答 然聖オグスチノハ羅馬府ニ在リテ公教會ヲ統轄セシ司教ノ系譜
ヲ案シテ曰ク「ペトロ」ハ當初ノ司教ナリリンハ「ペトロ」ニ繼ギクンマ

ンハリソニ續ク云々ト聖オプタートノ言ニ聖「ペトロ」ハ初番ニ羅馬
司教ノ座ヲ占メタルモノニシテリンハ之ニ繼ギクレマン又之ニ繼
グト聖イレテ聖エピイフア子其他羅馬司教ノ繼續ヲ示シタル教父
ノ言ニ當初羅馬ノ座ヲ占メタルモノハ聖「ペトロ」ナリト聖レオンノ
言ニ聖「ペトロ」羅馬ニ於テ一たび其座ヲ建テシヨリ羅馬ハ世界基督
公會ノ教府トナレリト彼ノ有名ナルシヤルセドアンノ會議議決書
ノ序及エフエーズ會議議決書ニ曰ク聖「ペトロ」ハ其相續者ヲ以テ之
ヲ展讀シ之ヲ審査シ之ヲ裁定スト彼ノテルチコリヤンハ羅馬教會
ヲ指シテ曰ク福ナルカナ羅馬教會蓋至尊ナル宗徒ガ血ヲ以テ爾ガ
基礎ヲ建立シタレハナリト

問 諸信徒ハ羅馬ノ司教ニ從順セザルヲ得ザルヤ

答 然リ諸信徒ハ羅馬ノ司教ヲ以テ基督ノ代理者トナシテ之ニ從順

スルナリ

問 然ラバ教皇ニ背反スルハ重大ナル罪ニアラズヤ

答 然リ大罪ニアラズシテ何ゾ聖保錄言ハズヤ誰人モ良誠ナル有權
者ニ背クハ即チ其罪天主ノ命ニ背反スルナリ而シテ此有權者ニ敵抗
スル者ハ自カラ禍ヲ招クモノナリト(羅馬人ニ達スル書十三章二節)

問 耶穌基督ハ常ニ基督教會ガ學ヲ羅馬ノ教座ト彫絡貫通スルヲチ

欲シ給ヒシヤ

答 然リ古ヨリ教父ハ皆之ヲ教ユ彼ノ聖イレテノ言ニ羅馬ノ教會ハ
重ナル教會ニシテ他ノ教會ハ皆ナ是ト一心ナラザルベカラズ聖シ
イプリヤンノ言ニ天主ハ一、基督ハ一、教會ハ一、基督ノ聖言ヲ以テ建
テラレタル磐石ノ座ハ一ト聖エロモニヤノ言ニ余ハ聖「ペトロ」ノ座
ナル爾ガ座ニ心ヲ繫ク余知ル教會ハ此磐石ニ建在シアルヲチト又

曰ク此家ニ在リテ小羊ヲ食セザル者ハ其罪至聖ヲ蔑視スルニアリ
此船ニ其身ヲ載セザル者ハ洪水ニ死ナン誰ニテモ爾ト偕ニ在ラザ
ル者ハ基督ニ敵スルモノ爾ト偕ニ集ラザルモノハ散ジテ其身ヲ失
フト

問 何ヲ以テ教會ヲ羅馬教會ト名ヅクルヤ

答 之ヲ羅馬教會ト名ヅクルモノハ何レノ地何レノ時ヲ論ゼズ各地
ニ散居セル教會ガ之ヲ敬シ其第一位ヲ占ムルヲ是認シ之ト同心ス
ルヲ光榮トシ中央ノ會至聖ナル同信財庫ノ監守者トナスヲ以テナ
リ

第九章 會議及其權力ヲ論ズ

問 會議ノ種類ハ幾個アリヤ

答 二アリ一ヲ總會トイヒ一ヲ小會トイフ

問 何ヲ總會トイフヤ

答 各地教會ノ司教參集シ教皇若クハ其全權代理ヲ以テ組織スル所
ノ司教ノ會議ヲイフ

問 小會ト名ヅクルモノハ如何

答 一國若クハ一郡ノ司教參集シテ開ク所ノ司教會議ヲイフ

問 會議ハ信ノ條項ニ於テ迷誤スルコトアリヤ

答 總會ハ信ノ條項ニ於テ迷誤スルコトナシ小會ハ然リトセズ

問 何ヲ以テ總會ハ信ノ條項ニ於テ迷誤セザルトスルカ

答 若シ總會ガ信ノ條項ニ於テ迷誤スルコトアラバ教會ハ總テ迷誤ニ
陷レバナリ然ルニ地獄ノ教會ニ勝ツ能ハザルヲ以テ迷誤アルコト
ナシ

問 何ヲ以テ總會ガ迷誤スルキハ總テ教會ハ迷道ニ陥ルトイフヤ

答 總會ニ參集シ教皇ト心ナ一ニスル司教ハ即チ信徒等ガ尊敬シテ
聽クベキ教會ナルガユヘ若シ總會ガ迷誤ニ陥リ信徒ヲ欺罔スル
アラバ教會ヲシテ迷道ニ陥ラシムルヤ明カナレバナリ

問 總會ガ決議ノ條項ヲ我等ハ如何ニ見做シテ然ルベキヤ

答 聖神ノ裁定ト確認スベシ是ハ則チ聖^{ベトロ}ガゼリユザレームノ
會議ニ於テ聖神ト我儕ト意ヲ決ストアル決議ノ條項ニ基キタルナ
リ(行傳十五章二十八節)

問 總會ノ議決ニ從ハザルハ大罪ナルヤ

答 最モ罪アル我慢ノ所爲ニシテ之ヲ邪教黨若クハ離教黨チイフモ
可ナリ總會ノ議決ニ從ハザルハ正理ニ戻レル有罪ノ所爲ナリ何
トナレバ眞誠ナル使命ヲ帶ビ智能ヲ具備セル審判者ノ會議決定ノ
條項ニ對シ之ヲ左右シ之ヲ審查スルノ智能ナクシテ猥リニ偏見ニ

依リ背反スルヲ以テナリ

問 我等ハ總會ガ議決スル所ノ條項ハ正ニ天主ノ聖言ニ適應スルヤ
之ヲ辯知スルニ由ナシトイフモ可ナルヤ

答 此說ヲ立ツルハ恰モ教會ハ天主ノ聖言ニ背反セル條項ヲ教ユト
云フガ如シ此說ヲシテ眞ナラシメバ天主ハ其約ニ違ヒ聖神ハ其約
ニ背キ常ニ其教會ニ諸ノ眞理ヲ教ヘズ地獄ノ門ハ之ニ勝ツトイハ
ザルヲ得ズ視ヨ天主ハ聖書ニ基ヅキ各自ノ見解ヲ以テ其神心ヲ指
導セヨト曰ヒ給ハズ唯萬民ヲ教ユル爲メ特ニ其宗徒ヲ遣ハシ之ヲ
信ゼザルモノハ罰ヲ受クト曰給ヒシヲナ

問 總會ハ幾回開會セシヤ

答 ゼリユザレームニ於ケル宗徒ノ會議及當時ノ牧師會議ヲ除キ十
八回開會セリ

問 當初ノ四會議ハ何レノ年何レノ地ニ於テ開會セシヤ

答 當初ノ會議ハ紀元三百二十五年ニシテ於テシ第二回ハ三百八十一年
コノスタンチノールニ於テシ第三回ハ四百三十一年エフ
エーズニ於テシ第四回ハ四百五十一年シヤルセドアンニ於テセリ
問 其他ノ總會ハ何レノ地何レノ年ニ於テ開會セシヤ

答 コノスタンチノールニ於ル三回ハ紀元五百五十三年ニ一回六
百八十年ニ一回八百六十九年ニ一回ニシテ羅馬府ニ於ル四回ハ千
百二十三年ニ一回千三百三十九年ニ一回千七百七十九年ニ一回千二百
十五年ニ一回ナリニヒトニ於テハ七百八十七年一回リオン府ニ於
テハ千二百四十五ニ一回千二百七十四年ニ一回ウイエナ府ニ於テ
ハ千三百十一年ニ一回フロラエンスニ於テハ千四百三十九年ニ一
回コノスタンチノールニ於テハ千四百十四年ニ一回トス

問 最終ノ總會ハ何レノ地ニ於テ開會セシヤ

答 トラエントノ總會是ナリ

問 何ヲ以テトラエントノ會議ノ總會ノ内ニ列スルヤ

答 基督敎信奉國ノ各司教悉ク參集シ教皇ハ全權代理者ヲ以テ之ニ
與カラシメ決議ノ條項ヲ確認シタレバナリ

問 此會ニ於テ幾人ノ司教參集セシヤ

答 「カルヂナル」大司教六人長老三人「アルシユウエー」大司教三十
二人司教二百二十八人參集セリ

問 リユテール徒カルワイン徒ノ教士等モ亦此會議ニ參集セシヤ

答 否特ニ參集セシムル爲メ其通路ニ自由ヲ付與シタルモ我慢ヲ以
テ終ニ參集セザリシ

問 「プロテスタン」徒ハトラエント會議ノ議決條項ニ從フベキ義務ア

リシヤ

答 固ヨリ之アリ何ントナレバ其議決ノ條項タルヤ眞誠ナル耶穌基督ノ教ニ於テ裁定テ下ステ得ル眞誠ナル審判者ノ決議ニ係ルヲ以テナリ

問 基督教旨ニ係ル眞誠ナル審判者ハ誰ナルヤ

答 耶穌基督ガ特ニ命令テ下シ給ヒシ眞誠ナル教會ノ司教是ナリ

問 聖保錄ハゼリユザレームノ長老即チ司教等ニ何ヲ命ゼシヤ

答 聖人ハ此司教等ニ爾等其身及群羊ニ注意セヨ蓋聖神ハ爾等ヲ群羊ノ司教トナシ天主ソ教會ヲ支配セシムト(行傳二十章二十八節)此言ニ依レバ司教ハ聖神ノ功德ヲ以テ教會ノ支配スルモノニシテ若シ教旨ノ眞偽ヲ確然分別スル能ハザルモノナレバ如何テ教會ヲ支配スル能カアラソヤ

問 總會ニ於テハ新タニ信ノ條項ヲ創設スルヲ得ルヤ

答 總會ハ信ノ條項ニ於テ變動迷誤セザル審判者ナリ故ニ聖書若クバ遺傳ノ眞理ニシテ從來採用セザル條項ヲ決定採用スルヲ得而シテ此裁定テ天主默示ノ眞理ナリトシ基利斯督信徒ニ信奉ゼシメ服從セザルモノハ之ヲ邪教離教徒トナスナリ

第十章 邪教及其性質ヲ論ズ

問 何ヲ邪教トイフカ

答 邪教トハ公教會ノ信ノ條項ニ背反セル偏頗執拗ノ自說ヲ主張スルモノナイフナリ公教會ノ教旨ニ背反セル自說ヲ偏信シ聖書ノ文意ニ對シ公教會ニ於テ下シタル眞誠ナル解釋ヲ棄テ自己ノ見解ニ甘ズル者ハ罪アルナリ

問 邪教徒ハ其教旨ハ咸ク聖書ニ基ヅクモノナリト自稱スルニアラ

ズヤ

答 然リ皆此説ヲ唱フアリヤン徒ハ約翰傳ニ(十四章二十八節)父ハ我ヨリ大ナリトアル言ニ基ヅヒテ以テ耶穌基督ハ神聖ナラズト暴言シマセドニヤン徒ハ聖保録ガ羅馬人ニ達スル書中(八章二十六節)ニ聖神ハ言フ可カラザル慨歎ヲ以テ我儕ノ爲メニ求ムトアルニ基ヅキ聖神ハ神聖ナラズトイヒ彼ノマニセヤン徒ハ保録ガ其フヒリピイヤン人ニ達スル書中(二章七節)ニ人ノ狀ニ形トリ下僕ノ貌ニ任ズトアルニ依リテ基督ハ狀貌ニ於テ人ナリトノ説ヲ唱ヘリ又子ストリヤン徒ハ保録ガコロシイヤンニ達スル書中(二章九節)天主ノ盛徳ハ悉ク基督ノ軀ニアリトアルヲ以テ耶穌基督ニ二位アリトセリユチイシイヤン徒ハ約翰ニ道ハ肉身ト成ルトアルノ言ニ基ヅキ基督ハ唯一位アルノミトイヒベラジイヤン徒ハエゼシイニールノ書ニ

(十八章二十節)子ハ其父ノ罪ヲ負ハズトアルニ基ヅヒテ原罪ノ教旨ヲ放棄セリ

問 此ノ如キ數多ノ迷誤ノ源ハ何レニアリヤ

答 公教會ガ下ス所ノ聖書ノ解釋ヲ棄テ自己ノ見解ヲ專川スル我慢心利己心ハ乃チ其源ナリ

問 リユテール及カルワインモ亦此ノ如キ我慢利己心ヲ以テ罪ヲ得タリシヤ

答 二人者ハ從來ノ邪教黨ノ覆轍ヲ踏ミ迷海ノ暗礁ニ衝突セリ而シテカルワインハ聖書中此ハ我が身ナリトアルハ譬喩ナリトイヒ千五百年間傳來ノ眞誠ナル眞理ヲ棄ツリユテールハ聖書中人ハ法度ト行ニ依ラズ信ニ因リテ義者トナルノ言ヲ誤解シ善行ヲ無益トナシ天主ノ誠ハ之ヲ守ルヲ要セズトナヒリ然ルニ公教會ノ解釋ニ

人ハ天然ノ法度行爲ニ依ラズ又猶太法度ノ行ニモ據ラズ唯耶穌基督ヲ信シ此信ノ生ゼシムル行爲ニ據リテ義ト稱ストアリ

問 リユテール及カルワインノ二人ハ此偏見ヲ以テ其誤解ノ教旨ノ基礎トナセシヤ

答 然リ此偏見ハ則チ其新設教旨ノ基礎ナリ

問 リユテール若シバ其徒ガ聖書ノ解釋ニ於テ私擅ノ見解ヲ用ヒ教會一般ノ解釋ニ從ハザルモ天主ノ前ニ於テ更ニ有罪者トナラザルヤ

答 有罪者タルハ疑ハザル所ニシテ余ハ此二人者ニ向ヒ汝等聖書ノ解釋ニ於テ自カラ誤解スルコトアリトスルカ又ハ誤解スルコトナシト信ズルカ果シテ誤解スルコトナシト信ゼバ乃ハ自己ノ偏見ヲ以テ確變動セザルモノト自認スルナルベシ若シ其心中ニ於テ或

ハ誤解スルコトアリヤ否ノ疑念ヲ抱カバコレ汝等ハ信ヲ有セザルモノトイハザルヲ得ズ若シ汝等偏見ノ解釋ヲ以テ正實ニシテ變動セザルモノトセバ是レ教會ハ聖書ノ解釋ニ於テ迷誤スルモノニシテ一個ノ凡人タル汝等ノ解釋ニ誤ナシトイフガ如シ豈愚ノ極點トイハザルベケンヤトイハン

問 異教ガ世ニ現出スル毎ニ必ズ種々ノ託言事跡多シ足下ハ眼ヲ此點ニ注ガザルヤ

答 眼ヲ注グベキ事跡五アリ一ニ教會ハ迷道ニ陥リシトイヒ二ニ彼徒ハ直チニ教會ニ分離シ三ニ新奇ナル教旨ヲ傳播シ四ニ其教ニ創立者ノ名若クバ創立セシ國ノ名若クバ其教旨ノ名ヲ以テ冠ラシム五ハ數多ノ邪教徒中奇蹟ヲ現示シタルヲナキ(近例トシテリユテールカルワイン等ヲ視ヨ一ノ奇蹟ヲ現示セズ)等ニ於テ尤モ余ノ注目

スル所ナリ

問 足下ハリユテイルガ新奇ナル教旨ヲ布キタルコト如何ニ証セラ
ル、ヤ

答 余ハリユテイルガ新奇ナル教旨ヲ布キタルコトヲ証スルニ何レノ
國何レノ都府何レノ郡邑ニ於ケルモリユテイルガ現世以前ニ在テ
彼レガ如ク彌撒祭ハ嫌惡スベキモノナリ諸聖人ノ名ヲ呼ビ傳達テ
請フハ異端ナリ煉獄ノ説ハ迷道ナリ教皇ハ基督ノ大敵ナリ等ノ主
旨ヲ唱説シテ以テ教ユル者アルヲ見ズ是レ其新奇ナルコトヲ証スル
ニ足ルナリ

問 教會中ニ新奇ナル教旨ノ現出スル毎ニ是ヨリ醸生スル他ノ事跡
アリヤ

答 アリ其新奇ナル教旨ノ世ニ現出スルヤ其創立者ノ名其創立ノ時

代地名其教旨ノ邪ナルヲ駁セシ人ノ姓名及之ヲ否認スル會議等ヲ
明示スルコト是ナリ其一例ヲ掲クルニ彼ノアリウースガ紀元三百十
五年ニシプトノ都府アレキサンドリーニ於テ始メテ耶穌基督ハ父
ノ如ク神聖ナラズトノ説ヲ唱ヘシキ長老アレキサンドル聖アタナ
シスノ兩人ハ深ク其説ノ邪曲ナルヲ駁セリ加之ニセーノ總會議ニ
於テモ此邪説ヲ擯斥セシコアリ

問 リユテイルノ異教モ之ト同一ノ論ナルヤ

答 然リ其宗教ハ紀元千五百十七年サキス國ノウイクエンブール府
ニ於テ始メテ現出セリ其創立者ハリユテイルニシテ其教旨ノ審判
ヲ各所ノ大學ニ請ヒシモ悉ク排斥セラレ遂ニトラエントノ總會議
ニ於テ其教旨ハ邪曲ナリト決定セラレタリ

問 足下ハリユテイルノ教旨ニ於テ尙他ニ新奇ノ托言事跡ヲ發見セ

答 尙三ノ事跡アリ第一當初其徒ノ僅少ナルヲ第二此教旨ニ服セシ輩ハ其始メ皆ナ全ク異ナレル教ヲ守リシヲ第三其教旨ハ大亂大謀反ヲ醸生セシヲ等ナリ

問 リユテールハ決シテ新奇ノ教旨ヲ唱説セズ單ニ初代ノ宗徒等ガ教示シタル事項ノ亂レタルヲ再興セシノミトイハゞ如何

答 是レ其邪曲ヲ免レントノ遁辭ニシテ往昔ヨリ之ニ現出セシ諸邪教黨ガ唱フル所ナリ

問 然ラバ如何ナル法ヲ以テ此説ヲ駁セラル、ヤ

答 余ハ一二言ヲ以テ其説ノ非ナルヲ証セン夫レ宗徒ノ教旨ハ斷絶セシヲナシ耶穌基督ハ常モ其宗徒ト世ノ末迄偕ニアリテ教ユベシト公言シ給ヒシニアラズヤ之ニ反シテリユテールノ教旨ハ宗徒等

ガ最モ邪視セシノミナラズ彼ガ現世迄未ダ嘗テ人ニ知覺セラレザリシモノナレバ其教旨ハ決シテ宗徒ノ教エシ所ニアラザルナリ

問 リユテール及カルワインガ其使命ノ眞誠ナルヲ証センダメ施シタル手段ハ往昔ノ邪教黨ニ勝リシヤ

否 同一ノ困難ニ煩悶セリ

問 公教人ハ改教者ニ如何ナル法ヲ以テ其使命ノ眞誠ナラザルヲ証セシヤ

答 公教人ハ之ヲ証スル爲メ改教者ニ教會ノ上位者足下等ヲシテ教ヲ布キ洗禮ヲ授クルノ使命ヲ帶バシメザルヲ以テ足下等ハ普通ノ使命ヲ受ケズ又足下等ハ天主ヨリ特別ノ使命ヲモ蒙ラズ果シテ足下等ガ天主ヨリ特別ノ使命ヲ受ケタルモノトセバ之ヲ証スルタメ我主若クハモイゼスノ如ク奇蹟ヲ顯ハササルベカラズトノ言ヲ以テ其

使命ノ眞正ナラザルコトヲ証明セリ

問 リユテールハ誰人モ天主ヨリ召テ蒙ムルカ將ク教會ノ上位者ヨリ使命ヲ受ケタルニアラザレバ布教スル能ハズトイヒシニアラズヤ

答 然リ此言ヲナセリリユテールハアナバチスト派ノ布教者ニ足下等人ヨリ遣ハサレタルモノナレバ其權力ノアル所ヲ明示セヨ若シ天主ヨリ召テ蒙リシモノナレバ奇蹟ヲ顯シテ以テ之ヲ証セヨト詰問セシモ公教人ヨリ同一ノ詰問ヲ受ケシキリユテールハ恰モ其前言ヲ忘却セシモノ、如ク毫モ意ニ介マザリシナリ

問 リユテールハ公教會ノ一神父ナラザリシヤ公教會ノ一神父ナレバ教會ハ之ニ聖書中ノ眞誠ナル教旨ヲ教ユベキノ命ヲ授ケタリトイフモ敢テ不可ナカルベシ如何

答 否假令當時教會ハ眞誠ナラザルモノトスルモ又眞誠ナルモノトスルモ此言ヲナスベカラズ果シテ眞誠ナルモノトセバリユテールガ之ト連絡ヲ斷チシハ理ノ許ス所ニアラズ况ヤ眞誠ナル教會ハ豈其教ユル所ニ背反セル教旨ノ傳播ナリユテールニ命ズルノ理アラシヤ若シ眞誠ナラザル教會ナリトセバ又豈人ニ使命ヲ授クルノ權利ヲ有センヤ

問 リユテールカルワインノ二人ハ普通ノ使命モ特別ノ召テモ蒙ラザルモノナレバ之ヲ如何ニ評シテ可ナリヤ

答 恰カモ牧場ノ正門ヨリ來ラズ柵ヲ超ヘテ闖入スル所ノ狼ト評シテ可ナリ耶穌基督ノ聖言ニ其身ヲ犠牲ニ供セズシテ却テ群羊ヲ貪食スル爲メニ來ルトアルノ牧者ハ正ニ此等チイフカ

第十一章 教會ニ從順スベキヲ論ズ

第一項 教會ノ法度

問 基督教徒ハ其教會ニ從フベキ義務アリヤ

答 然リ從フベキノ義務アリ我主ノ言ニ教會ニ聽カザル者之ヲ視ル
異邦人ト稅吏ノ如クセヨトアリ(マテヤ傳十八章十七節)

問 耶穌基督ハ教會ノ牧師ニ對シ如何ナル言ヲナシ給ヒシヤ

答 我主ノ言ニ爾等ニ聽ク者ハ則チ我レニ聽キ爾等ヲ拒ム者ハ即チ
我ヲ拒ム我ヲ拒ム者ハ即チ我ヲ遣セシ者ヲ拒ムナリト(リユカ傳十
章十六節)アリ

問 聖パウロハエブレヤ人ニ達スル書中ニ如何ナル言ヲナセシヤ

答 其言ニ曰ク爾等ノ牧師ニ從順シ之ニ服セヨ蓋牧師ハ爾等ノ救靈
ノ爲メ正ニ陳訴セントスルモノ、如ク儆醒スレバナリト(エブレヤ
人ニ達スル書十三章十七節)

問 我等ハ良心ヲ以テ教會ノ司權者ニ從フコト恰モ教外ノ司權者ニ從
フガ如クセザルベカラザルヤ

答 然リ聖パウロガローマ人ニ達スル書ニ(十三章一節二節)各人宜シ
ク上位者ノ權ニ服スベシ天主ニ由ラザレバ則チ位ニ居ルモノナシ
凡ソ位ニ居ル者ハ皆天主ノ命ズル所タリ苟モ位ニ居ル者ニ敵スル
者ハ天主ノ命ニ逆フ天主ノ命ニ逆フモノハ自カラ其罪ヲ招クモノ
ナリ故ニ我等ハ必ズ之ニ服スルコト要ス是ハ神ノ懲罰ヲ受クルガ
爲メノミニアラズ尙吾人良心ノ務ナリトアルヲ見レバ教會ノ司權
者ニ從フハ當然ノ理ナリ

問 足下ハ此言ヲ如何ニ解釋セラル、ヤ

答 我等ハ教外ノ司權者ニ從ヒ且天主ノ命ヲ遵守スルノ義務アル者
ト解釋スルナリ

問 教會ノ命ハ乃チ人造ニ係ルノ命ニアラズヤ

答 然リ人造ノ命ナリトイヘキ教會ガ天主ノ命ヲ奉シテ以テ定ムル所ノ命ナレバ必ズ之ヲ遵守セザルベカラズ視ヨ父ノ命若クバ官ノ命ハ所謂人造ノ命令ナリ然レドモ之ヲ遵守セザルベカラザル所以ノモノハ天主ノ命ヲ給フ所ナレバナリ是ト同一ノ理ニシテ教會ノ命ハ則チ天主ノ命ナルヲ以テ我等必ズ之ニ從順セザルベカラザルノ義務アルモノナリ

問 耶穌基督ガ彼等ハ人ノ設クル所ヲ以テ教トナシテ而シテ之ヲ人ニ教ヘ徒ラニ我ヲ敬スルナリト(マテヤ傳十五章九節)曰ヒシ言ハ如何

答 其言ニ人ノ設クル所ノ教トアルハ即チ我主ノ法度ニ背反セル無益ナル人造ノ教チイフ意ナリ

問 教會ノ命スル所ノ主旨ハ如何

答 其主旨トスル所ハ天主ノ命ヲ丹心唯一ニ奉守セシムルニアリ乃チ戒食告解聖跡受領等ノ如キハ如何ナル法式ヲ以テ此等ノ善行ヲナスベキヤ天主ノ命令中特ニ指示シタマヒシ遺傳明文ナシ故ニ教會ハ天主ノ命ヲ奉シテ以テ此等善行ノ法式ヲ確定スルナリ

問 教會ハ祝日祭日等ヲ制定スルノ權アリヤ

答 「シユデヤ」教會ニ於テモ尙コノ權ヲ施行セシテ見レバ(エスタールノ書九章十七節二十二節)「ユヂット」ノ書十六章三十一節ヲ視ヨ(公教ニ於テ之ヲ制定スルハ固ヨリ其當ナリ且今ノ日曜日ヲ以テ彼ノ瞻禮第七ノ祝日ニ代フルガ如キハ皆人ノ知ル所ニシテ此改正ハ聖書ニ記セザル事項ナレバ即チ教會ノ權利ノ致ス所ナリ

問 教會ハ大齋ノ日ヲ制定スルノ權アリヤ

答 聖オグスチーハフロタスタン徒ノ公教會ガ潔白ナリシトキトイ
 ヘル紀元五百年代ノ人ニシテ當時アリウースガ公教會ハ大齋ノ日
 ナ制定スルノ權ナシト主唱セシキ彼テ目シテ邪教者トナシタルヲ
 見テモ教會ハ此權ヲ有スルモノトナサザル可カラズ

問 教會ハ或日ニ於テ肉食ヲ禁制スルノ權アリヤ

答 然リ教會ハ已ニ宗徒ノ初代ニ之ヲ禁制セリゼリユザレームノ會
 議ニ曰ルヲアリ宜シク偶像ニ供スル物及血及勒死ノ牲ヲ食スルヲ
 ナ戒ムベシト(宗徒行傳十五章二十九節)

問 若シ其頃ノ信徒ニシテ其禁制ヲ犯セハ乃チ有罪者ナリシヤ

答 然リ若シ信徒ニシテ其禁ヲ守ラザリシキハ即チ教會ノ命ニ背キ
 タルモノナリ

問 「プロテスタン徒ハ口ヨリ入ル所ノモノハ其人ヲ汚サズト唱フル

ニアラズヤ

答 然リ然レドモ余ハ單ニ其食物ノ人ヲ汚ストイフニアラズ即チ禁
 制ヲ犯スヲ以テ汚トナスナリ視ヨアダンエトウガ其罪ヲ世ニ傳ヘ
 タルノ原因ハ果シテ禁菓ヲ口ニ入レタルニアルヤ余ハ決シテ其然
 ラザルヲ知ルナリ此ノ如キ説ハ實ニ聖書ノ真理ヲ辨知セザルモノ
 放言トイフベシ

第二項 肉食ヲ戒ムルヲ論ズ

問 教會ハ何ヲ以テ日ヲ定メテ肉食ヲ禁シタルヤ

答 教會ガ肉食ヲ禁ゼシハ其食ノ不潔ナルニ由ルニアラズ乃チ我ガ
 身ヲ責メ我身ヲ苦ムルガ爲ナリ

問 此禁制ハ恰モ初代ノ異教徒ノ謬説ニ類似セル迷誤ニアラズヤ

答 初代ノ異教徒(マルシイニト徒マニセニイヤン徒チイフカ)或

ル肉食ヲ禁ゼシハ蓋シ其肉ガ魔鬼ノ造作ナリトナシタルニ原因スルナリ聖パウロガ忍ビザル教旨ト名ツケシハ乃チ此等ノ教旨チイヒタルナルベシ

問 基督教會ニ於テ一週日間ニ二回肉食ヲ禁ズルハ古代ヨリ傳來スル制ナリヤ

答 然リ近代ニ始マリシモノニアラズ基督教ト同時ニ始リシモノナリ聖エピイフアンハ其書ニ宗徒ノ法度ハ一週日間ニ二回肉食ヲ禁ズルヲ命ゼリトアリ

問 教會ニ於テ金土ノ兩曜日ハ肉食ヲ禁ズルノ例日ナリヤ

答 否水金ノ兩曜日ヲ以テ例日トナス教會アリ此點ニ於テハ聖エロモニヤノ言ノ如ク信徒ハ其所屬教會ノ慣例ニ從フベキモノナリ

問 希臘教ハ何故ニ水金ノ兩曜日ヲ以テ其肉食ヲ戒ムルノ日ト定メ

シヤ

答 我主基督ガ水曜日ニ於テ敵手ニ賣ラレ金曜日ニ於テ死刑ニ處セラレタルヲ以テナリ

問 西部教會ローマ公教ヲ云フハ何故ニ金土ノ兩曜日ヲ以テ其肉食ヲ戒ムルノ日ト定メシヤ

答 耶穌基督ノ死刑及埋葬ノ日ヲ敬スルガ爲メナリ

問 聖パウロハコロシイヤン人ニ爾等觸ル勿レ味フ勿レ手ニ取ル勿レトイフヲ答メ且飲食ニ就テハ人ニ擬議セラレシトイヒシハ如何

答 聖パウロノ此言ヤシユデヤ人等ガ或ル肉ヲ潔トナシ或肉ヲ不潔トナスノ區別ニ就テ口ヲ開キタルモノニシテ即チ此妄說異端ノ區別ヲ斥クルノ言ナリ又其言ニ接續シ爾等祝日朔日或ハ安息日ニ就

キ人ニ擬議セラレズトアルヲ見テモ亦明カナリ

問 聖パウロガ主ノ靈アル處必ズ自由アリト言ヒシハ如何

答 天主ノ靈アル處必ズ自由アリトノ言ニ於テハ天主ノ法度ヲ悉ク脱スルヲ得ルニ似タリト雖此自由ナル者ハ道理ニ基ヅキ至聖ナル自由ニシテ耶穌基督ノ法度ヲ遵守ズルノ義務ヲ破ラザル自由ナリ聖ペトロノ言ニ爾デ自由ヲ得ルト雖此爾ノ自由ヲ以テ惡行ヲ隠ス勿レ乃チ天主ノ僕ノ如クセヨトアルヲ見ルベシ(ペトロ前書二章十六節)

第三項

大齋ヲ論ズ

問 悲哀節ヲ創設セシ者ハ誰ナルヤ

答 之ヲ創設セシ者ハ宗徒等ナリ

問 何ニ由テ之ヲ証スルヤ

答 聖教會中各教父ノ証言及聖オグスチーノ起創ニ係ル規則ニ由テ之ヲ証スルナリ聖人ノ言ニ總テノ教會ニ於テ之ヲ受理シ之ヲ施行スル所ノ事項ニシテ其原因司教若クバ教皇若クバ會議ニ依ラザルモノハ之ヲ宗徒ノ創設ニ係ルモノト見做サザルヲ得ズトアリ抑モ悲哀節ハ萬民ガ遵守セシモノニテ其根原タルヤ宗徒以降ノ時代ニ創設サレタルモノトナス能ハズ必ズ當初ノ宗徒ガ創設シタル所ナリ

問 悲哀節ハニセーノ會議ニ於テ創設シタルモノナリトイフ者アル

答 テルチユリヤン及オリゼーヌハニセーノ會議ノ前已ニ出世ノ人ニシテ其書中悲哀節ニ就テ言フ所アリシヲ以テ余ハ斷然ニセーノ會議

ニ於テ之ヲ創設シタルモノニアラズト答フルナリ

問 悲哀節ハ宗徒ノ創設ニ係ルモノナリト明言セシ教父ヲ明示セラレヨ

答 聖エロモニヤノ言ニ我等公教人ハ宗徒ノ創設ニ基ヅキ四十日間大齋ヲ遵守ストアリ又聖レオンノ言ニ悲哀節ハ宗徒等ガ聖神ノ默示ヲ蒙リテ創設シタルモノナリトアリ

問 信徒ハ悲哀節中良心ヲ以テ大齋ヲ遵守スルノ義務アリヤ

答 然リ聖エロモニヤノ言ニモンクニスト徒ハ毎年三回ノ悲哀節ヲナス而シテ我等公教人ハ只一回之ヲ爲ス彼等ガ三回之ヲナスハ單ニ其私意ニ出ルモノニシテ彼等ガ一回之ヲ守ルハ即チ義務ナリト聖オグスチーノ言ニ我等他ノ日ニ於テ適宜ニ大齋ヲナスハ妨ゲナキモ悲哀節中之ヲ遵守セザレバ罪ヲ犯スモノナリトイヘリ

問 宗徒ハ何ヲ以テ悲哀節ノ大齋ヲ創設セシヤ

答 其創設ノ主旨三アリ一ハ我主ガ四十日間ノ大齋ヲ敬シ二ハ其苦

難ヲ敬シ三ハ責身ノ苦行ヲ以テ過越祝日ノ準備ヲナスガ爲メナリ

問 如何ナル誠ヲ以テ悲哀節ヲ遵守スベキヤ

答 此誠タルヤ我属從スル所ノ司教ノ命ニ從ヒ大齋ノ日ハ肉食ノ禁ヲ守リ且午後ニ一餐シ晩ニ些少ノ食物ヲ用ユルノミ其病ヲ患フル者ハ其病症ニ依リテ寛恕ヲ受ク而シテ病者ニアラザルモ亦勞働若クバ他ノ事項ニ依リテ朝飯ヲ喫スルノ特許ヲ受クルモノナリ

問 基督教信徒ハ悉ク大齋ヲ守ルノ義務アリヤ

答 例外トスル事項五アリ則チ其一ハ年齢滿二十一年ニ達セザルモノ其二ハ身軀衰弱ノ老者其三ハ懷胎ノ婦人及乳母其四ハ勞働ヲナス者其五ハ充分ナル食物ヲ得ル能ハザル貧困者等是ナリ

問 大齋ヲ守リ及肉食ヲ戒ムルヲ嘲笑スル者ニ對シ公教人ハ如何ナル答辨ヲナスヤ

答 耶穌基督ハ教會ニ聽カザルモノハ之ヲ異邦人ト稅吏トフニアリカンノ如シト公言シ給ヒシト聖オグスチガ教會ニ於テ實行スル所ノ事項ニ就キ嘲笑スルモノハ痴漢白痴ナリトアル言トヲ以テ之ニ答ヘンノミ

問 請フ公教人ガ肉食ノ禁ヲ守ルハ乃チ此レ理ナリトノヲ聖書ヨリ引証シテ以テ余ニ明示セヨ

答 余ハ足下ノ需ニ應ゼン彼ノ豫言者ゼレミイヤハレカピート人等ガ其祖ヨナダーブノ命ヲ守リ飲酒セザルヲ頌譽セシニアラズヤ然レバ公教人等ガ母タル教會ノ誠ムル所ノ肉食ヲナササルハ理ノ當然ナリ

問 大齋ヲ守リ及肉食ヲ戒ムルヲ攻撃スルプロテスタント徒ノ説ヲ

排斥スルノ証言ハ如何

答 彼等ノ攻撃ニ對シ汝等ガ安息日ニ代ユルニ今ノ日曜日ヲ以テシタルハ當初教會ガ之ヲ命ゼシニ依ルニアラズヤ然ルニ汝等々シク當初ノ教會ガ確定創設シタル大齋及戒肉ヲ遵守セザルハ何ゾヤトノ言ヲ以テ排斥センノミ

第十二章 教會禮式ノ一

第一項

禮式ノ総論

問 教會ハ何故ニ各種ノ禮式ヲ用ユルヤ

答 禮式ヲ用ユルノ原因三アリ一ハ心中抱ク所ノ尊敬信仰等ヲ外ニ發表スル爲メ二ハ信心ヲ増加獎勵スルノ意ヲ示ス爲メ三ハ不學若クハ不才不能者ニ宗教ノ奧妙ヲ知ラシムルガ爲メナリ

問 此禮式中異端ニ流ル、ノ事項ナキヤ

答 舊約ノ禮式中已ニ一ノ異端ニ渡リタルヲ見ズ况ンヤ新約ノ禮式ニ於テオヤ

問 禮式ヲ用ユルハ聖書ノ許ス所ナリヤ

答 然リ聖パウロハ信徒ノ集會ニ對シ言ヘルヲアリ凡ソ事當ニ宜ニ合フベシ且秩然トシテ行ヘヨトコラインチイヤン人ニ達スル前書十四章四十節教會ノ禮式ハ此主旨ヲ達スルニ大ナル功ヲ益スモノナリ

問 禮式ヲ排斥スルプロテスタン徒ニ對シ足下ハ如何ニ之ヲ論駁セラル、ヤ

答 余ハ彼徒ニ言ハントス汝等ハ帝王若クハ世ノ祭日式日ニ對シテハ禮式ヲ排斥セズ又舞踏若クハ夜會等ニ對シ人目ヲ眩暈スル禮式

ヲ用ヒ以テ其壯麗威儀ヲ誇示スルモ天主ヲ敬スルニ於テハ之ヲ廢止シテ顧ミザルハ豈天主ニ背戾セズトイフヲ得ンヤ

問 尙他ニ彼徒ニ對スルノ言アリヤ

答 之アリ余又彼徒ニ言ハントス汝等教會ノ禮式ヲ排斥シテ偏倚ナル自己ノ禮式ヲ用ヒ且天主ヲ拜センタメ會堂ヲ建築シテ會堂ニ參禮スルハ何ゾヤ汝等ハ自己ノ家屋ニ在リ偏眼ヲ以テ聖書ヲ研究シ教師ニ依ラズシテ聖書ヲ解釋シ得ルト誇稱スルニアラズヤ又汝等ハ何チ以テ小兒ニ洗禮ヲ授クルヤ汝ガ徒中洗禮ハ疎畧ナル一禮式ニシテ原罪ヲ消滅スルモノニアラズト主唱スルニアラズヤ又何故ニ會堂ニ於テ一麥餅一酒ニ過ザル聖躰ヲ授與スルヤ此ノ一麥餅一酒ハ家ニ在リテ之ヲ食スルヲ得ルニアラズヤ又何故ニ祈禱スルヤ
跪拜スルヤト

第二項 公教會ニ於ケル一二ノ禮式ヲ論ズ

問 ^{ビエリノイカシヨ} 除穢ノ祝日ニ當リ聖堂ニ於テ何故ニ蠟燭ヲ掩祝シテ之ヲ焚クヤ

答 此祝日ハ聖マリヤガ世ノ光ナル我生ヲ抱キゼリユザレームノ聖

堂ニ臨ミシ日ナルヲ以テ之ヲ追念スルガ爲メナリ

問 ^{カレーム} 悲哀節ノ初日何故ニ灰ヲ以テ信徒ノ額ニ架テ書スルヤ

答 我等ノ身軀ハ一灰燼ニ過ザルヲ思ハシメ且ツ吾ガ心ニ愧シ身

ヲ卑シテ以テ我主ガ人ノ爲メ侮辱ヲ受ケテ死シ給ヒシ所ノ悲哀節

ニ入ルガ爲メナリ

問 何故ニ過越^{パスカ}ニ先ツ前回ノ日曜日ニ於テ信徒ニ樹枝ヲ配與スル

ヤ

答 我主ガ世ニ勝チゼリユザレームニ入り給ヒシ日ヲ追念スルガ爲

ナリ

問 何故ニ聖殿ノ鐘ニ洗ヲ授クルヤ

答 決シテ洗ヲ授クルニアラズ聖殿ニ福ヲ降スト同一ノ法ヲ以テ之

ニ福ヲ降スノミ此禮式ヲ名ヅケテ洗ヲ授クト云ハ乃チ民間ノ俗言

ナルノミ

問 何故ニ麥、餅、酒、鶏卵其他ノ物ヲ掩祝スルヤ

答 之ヲ掩祝スルハ乃チ之ヲ使用スル者等ニ福ヲ下シ給ヘト天主ニ

祈ルガ爲メナリ

問 一タビ天主ニ供シタル諸ノ禮物ハ已ニ聖トナリテ未供ノ禮物ト

異ナルニアラズヤ

答 然リ耶穌基督ガ「フアリセオ」人等ヲ戒ムルノ言ニ曰ク爾愚且替カ

金ト金ヲ聖トナサシムル所ノ殿ト孰レチ大ナリトスルヤ爾愚且替

カ孰レチ大ナリトナス或ハ禮物カ抑モ禮物ヲシテ至聖トナラシム

ルノ壇カト依テ知ル殿ハ金ヲ至聖トナシ壇ハ禮物ヲ至聖ナラシムルヲマテヤ傳二十三章十七節十九節

問 天主ノ降福ヲ得ンタメ不活物ヲ使用スルハ是異端ノ所爲ナラズヤ

答 否余其然ラザルヲ証セン果シテ之ヲ異端トセバ即チ聖書ハ異端ヲ教ユルモノトイハザルヲ得ズ

問 然ラバ聖書中之ヲ証明スル條項アリヤ

答 然リ聖マルク六章十三節ニ多ク魔ヲ逐ヒ多ク膏ヲ以テ病者ニ膏シテ之ヲ醫セリトアリ又聖シヨアン五章四節ニ天使アリ或時池ニ下リテ水ヲ動カス水動クノ後先ニ池ニ下ル者ハ其患ノ何病ヲ論ゼズ遂ニ癒ルヲ得タリトアルヲ以テ知ベシ

問 列王紀畧ノ下ニ前ト等シキ事項アルニアラズヤ

答 然リ其第五章十節ニ之アリ先知エリゼハ使ヲ遣ハシナリマニニ告ゲシメテ曰ク當サニ「シユルダレ」河ノ名ニ往キ身ヲ濯フ「七次ナルベシ則チ爾ガ軀ハ瘡ヘ以テ潔トナルヲ得ン又同章十四節ニ「マニハエリゼ」ノ命ニ從ヒ七次身ヲ濯ヒシニ平癒セリトアリ

問 聖水ノ功德ハ何ニ起因スルヤ

答 教會ガ之ヲ掩祝スルノ祈禱及之ヲ使用スル者ノ祈禱及信心ニ起因スルナリ

問 其祈禱ハ如何

答 祭司ハ水ヲ掩祝スルニ當リ天主ニ對シ願クバ聖神此水ヲ使用スル者ヲ魔鬼ノ誘惑ヨリ脱セシメヨト祈禱ス而シテ信徒ハ之ヲ使用スルニ當リ主ヤ「ヒソツプ」(譯者曰ク「草ノ名」)ヲ我レニ注グ我レ潔ヲ得ン我ヲ濯ヘ我レ雪ヨリ白キヲ得ムト唱フ

問 教會ニ於テ聖水ヲ用ユルハ古代ヨリノ傳來ナルヤ

答 然リ民數紀第五章十七節ニ祭司ハ土器ニ聖水ヲ取ルトアリ其第八
章七節ニ彼等清潔ニナラシムル水ニ注ガレヨトアルナリ(出埃及
紀第二十九章第三十章ヲ參觀スベシ)

問 新約ニ從フモ亦聖水ヲ用ユルヲ得ルヤ

答 然リ天主ガ造リ給ヒシ所ノモノハ皆天主ノ言及祈禱ニ由ルヲ以
テ潔トナルヲ得レバナリ(保錄チイモニ達スル前書四章四節五節)

問 公教ヲ奉ズル者ハ何故ニ身ニ十字架ヲ手摸シ公教ニ係ル事物ハ
何ノ物件ニ論ナク亦常ニ十字架ノ徽章ヲ用ユルヤ

答 是レ基督教ヲ奉ズル信ヲ示スガ爲ニシテ乃チ宗徒ヨリ傳來スル
所ノ慣例ナリ

問 何ヲ以テ信ヲ示スガ爲トスルヤ

答 聖父、聖子、聖神ノ聖名ヲ唱ヘテ身ニ十字架ヲ手摸シ其十字架ニ依
リテ世ノ罪ノ贖ハレタルヲ三位一躰ヲ公然信仰スルヲ示ス
モノナリ

問 何ヲ以テ十字架ヲ手摸スルハ教會ト同時ニ創始シタルヲ知ル
ヤ

答 教會ハ古代ノ教父ノ言ヲ以テ之ヲ証明スルヲ得テルチユリヤン
ノ言ニ我等凡ソ行爲ノ初メ若クハ出入スルキ若クハ衣ヲ着シ若ク
ハ沐浴シ若クハ食棹ニ就キ寢ニ就キ座ニ就キ若クハ燈ヲ取ル時ニ
當リテハ必ズ先ヅ我ガ額ニ十字架ヲ手摸スベシ是ハ則チ聖書ノ命
ズル所アラザルモ遺傳ヲ以テ之ヲ教ヘ慣例ヲ以テ之ヲ確認シ信ヲ
以テ之ヲ保存スルトイヘリ又オリゼーヌモ之ト同一ノ言ヲナシ聖
シイリールハ信徒ニ固ク此規課ヲ守ルヲ命ズ而シテ聖バシール

ハ是ハ特ニ宗徒遺傳ナリトイヘリ

問 彌撒聖祭及諸秘跡ノ授與及掩祝其他外貌ノ禮ニ於テハ常ニ十字架ヲ手摸スルヤ

答 然リ此等ノ事項ニ於ル諸式ハ一ニ十字架上ノ耶穌基督ノ功德ヨリ其源ヲ引クモノニシテ天主ハ單ニ耶穌基督ノ苦難及血ニ對シテ以テ諸ノ聖寵ヲ下シ給フヲ以テナリ

第三項

彌撒聖祭及其粧飾

問 祭司ガ彌撒聖祭ニ於テ着スル所ノ衣服ノ粧飾ハ如何ナル意ヲ含有スルヤ

答 咸ク我主苦難ノ器物ヲ表スルモノニシテ其肩掛ハ我主ノ眼ヲ隠蔽シタルヲ表シ(マルク傳十四章六十五節其白衣ハヘロド玉ガ玩弄

スル爲メ我主ニ被ラシメタルノ白衣ヲ表シ(リユカ傳二十三章十一節其綬帶腕掛ハ我主ヲ縛シタル繩ヲ表シ)シヨアン傳十八章十二節十四節其上衣ハ兵卒等ガ我救世主ニ被ラシメタル紅色ノ上衣ヲ表スルモノナリ

問 上衣ノ上面ニ繡飾セル十字架ハ何ノ意ヲ表セルヤ

答 我主ガ負ハシメラレゼリユサレームノ市街ヲ通過シ給ヒシ十字架ヲ表スルナリ

問 壇ハ何ノ意ヲ表スルヤ

答 我主ガ十字架ニ磔セラレ給ヒシ刑場及受難ノ前夜宗徒等ト俱ニ倚リ給ヒシ棹ヲ表スルナリ

問 福音ヲ朗讀スル前ニ於テ何故經書ヲ右側ヨリ左側ニ移スヤ

答 福音カジユデア人ニ排斥セラレ外教人ニ受理サレタルヲ追念

スルガ爲メナリ

問 福音朗讀中信徒ハ何故起立スルヤ

答 天主聖子ノ命令ニ遲滯ナク從順スルヲ示スガ爲メナリ

問 何故祭司ハ金杯ニ酌タル酒ニ少量ノ水ヲ混合スルヤ

答 耶穌基督ハ天主ノ性ト人ノ性トヲ有シ給フヲ以テ之ガ合一ヲ表スルガ爲メナリ

問 祭司ハ何故降臨ノ詞終ルノ後聖體ヲ奉上スルヤ

答 我主ヲ釘セシ後十字架ヲ立テタルヲ表スルガ爲メナリ

問 祭司ハ何故聖體ヲ三分ニ擘キ其一分ヲ金杯ニ點入スルヤ

答 救世主ノ軀血、靈ノ分裂ヲ表シ且其靈ガ善人ノ靈ノ集合セル古聖所ニ降臨シタルヲ追念スルガ爲メナリ

問 祭司ハ何ヲ以テ或ハ高聲ニ祈リ或ハ低聲ニ祈ルヤ

答 耶穌基督ガ十字架上ニ磔セラレ給ヒシ形狀ヲ追念スルガ爲メナリ

問 祭司ハ何故彌撒聖祭ノ終リニ於テ信徒ヲ掩祝スルヤ

答 我主ガ昇天ノ時宗徒等ヲ掩祝シ給ヒシヲ表スルガ爲メナリ

第四項

羅旬語ヲ用ユルコトヲ論ズ

問 教會ハ彌撒聖祭ニ於テ何故羅旬語ノミヲ使用シテ通俗ノ語ヲ用ヒザルヤ

答 其理由三アリ一ハ何レノ地ヲ論ゼズ天主ヲ尊敬スル法ニ於テ同一ナルヲ欲スルガ爲メ二ハ何レノ地ニ於テモ同一ノ語同一ノ祈禱ヲナシ以テ方言ノ免レ難キ異變ヲ避クルガ爲メ三ハ何レノ教會ニ於テモ同一ノ語ヲ用ヒ各國ノ牧師ガ相互ニ言語心思ヲ交通シ且

信徒カ何ノノ國ニ至ルモ尊敬上ニ於テ同一ヲ要シ言語不通ノ困難
ヲ免レンガ爲メナリ

問 信徒ニ其了解スル能ハサル語ヲ以テ公ナル教務ヲ修行セシムル
ハ最モ非理ナラズヤ

答 決シテ非理トイフベカラズ夫レ天主ハ何ノノ國語ヲ論ゼズ悉ク
了解シ給フモノニシテ其祈禱ニ於テ假令如何ナル方言ヲ用ユルモ
悉ク其聖座ニ達スルモノナリ而シテ信徒ニ有セシムルニ各其國語
ニ反譯シタル彌撒聖祭祈禱ノ書ヲ以テスレバナリ

問 然ルニ聖パウロハ我ハ會中ニアリテ人ノ解セサル萬言ヲ以テス
ルヨリ寧ロ人ヲ教ユルニ了解セシムルノ五言ヲ以テスルニ如ズト
イヒシニアラズヤ(コラインチイヤンニ達スル前書十四章十九節)
答 足下ノ疑問近キニ似タリト雖モ聖パウロノ此言ヲ發スルヤ已ニ

自ラ明言スル如ク人ヲ教誨スル時ノ方便ヲ指シクル意ニシテ公教
會ハ說教ヲナシ若クハ私ノ祈禱ヲナシ若クハ其信徒ニ教ユルモ各
聽衆自ラ解シ得ル所ノ國語ヲ以テスルガ故ニ聖パウロノ言ニ反對
セザルナリ

問 「プロテスタン徒ハ聖パウロノ言ヲ以テ公教會ヲ痛ク攻撃スルニ
アラズヤ

答 「プロテスタン徒ハ其攻撃ヲナス以前ニ於テ能ク自ラ思考セバ聖
パウロノ此言ヤ一モ本項ニ關スルヲナキヲ辨知スルナラン聖パウ
ロハ新タニ歸依セシ者等ガ天主ヲ頌贊シ且信徒ノ心ヲ鞏固ナラシ
メントテ說教ヲナシ若クハ教ユルニ種々ノ國語ヲ用ヒタルガ故ニ
之ヲ擬議セシナリ

問 聖パウロノ言ヲ以テ「プロテスタン徒ニ對シ公教ノ爲メ其駁撃ヲ

防₁クヲ得ルヤ

答 然リ聖パウロコラインチイヤン人ニ達スレ前書十四章五節ニ方
 言ヲ用ユル者之ヲ譯シテ教會ニ德ヲ建シムルニアラザレバ則チ預
 言者ハ彼ヨリ大ナリトアリ乃チ公教會ノ祈禱ハ各人ノ爲メ之ヲ反
 譯ス又聖人ガ同章ノ第十三節ニ於テ是ヲ以テ方言ヲ用ユル者ハ宜
 ク能ク譯スルコトヲ祈ルベシト言シテ見レバ能ク方言ヲ反譯セバ假
 令各種ノ方言ヲ用ユルモ妨ケナキヲ示スナリ同章第二十七節ニ若
 シ方言ヲ用ユル者アラバ一人之ヲ譯セヨト又同三十九節ニ是ヲ以
 テ兄弟ヨ宜シク預言スベシ而シテ方言ヲ用ユル者ヲ禁ズル勿レト
 アルハ正ニ是₁プロテスタン徒ノ駁撃ヲ退クルノ言ナリ

問 羅甸語ハ公教中ニ行ハルト雖モ其實世ニ行ハレザル語ニアラズ
 ヤ

答 不學ノ徒ニアラザレバ此ノ如キ言ヲナサズ今各國ノ學士ハ此語
 ナ知ラザル者少シ蓋シ羅甸ノ語ハ其學科ニ依リ各國中尤モ一般ニ
 行ハルノ語ナリ

問 方言ヲ以テ祭典ノ祈禱ヲナササルハ單ニ公教會ノミナリヤ

答 希臘人エチイオピイヤン人及魯國人中ノ離教徒ハ彌撒聖祭ニ於
 テ皆古語ヲ用ヒテ近代ノ語ヲ用ヒズシイヤン人及エヲプト人ハ
 假令アラビヤ語ヲ用ユルモ彌撒聖祭ニ於テハシイリヤノ語ヲ用ユ
 メルニイト徒及ゼオルシイヤン徒モ亦アラビヤ語ヲ用ユルモ彌撒
 聖祭ニ於テハ希臘ノ語ヲ用ユ

問 信徒ハ彌撒聖祭ノ語ヲ悉ク解セザルベカラザルヤ

答 祭典ノ主旨ヲ了解シ祭司ノ意ニ融會スルノミヲ以テ足レリトス
 ルナリ

問 請フシユデヤ教會ヨリ例ヲ引テ公教會ノ祭典ニ於テ羅句語ヲ用ユルノ証ヲ示セ

答 シユデヤ人ハバビロンノ捕虜中エブレヤノ語ヲ忘却シタルヲ以テ子ヘシ及エスドラガ衆民ニ聖書ノ文ヲ以テ法度ヲ朗讀シテ之ヲ聽シメタルト其文ヲ譯セザルヲ得ザリシ其後シユデヤ人ハシイリヤノ語ヲ用ヒシモ耶穌基督ノ時ニ至ル迄聖書ヲシイリヤノ語ニ譯セシヲナク祭典ニ於テハ依然エブレヤノ語ヲ用ヒタリ
又レウイト(十六章)及聖リユカ傳(第一章)ニ依レバ祭司ガ其自己ノ爲メ及ビ公衆ノ爲メ聖所コアリテ祈禱ヲ行フニ當リ信徒ハ聖所ニ入ル能ハザリシモノナルガユヘ必シモ祭司ノ祈禱ヲ聽聞スル爲メ其側ニ切近スルヲ要セザリシヲ知ルベシ

第十三章 耶穌基督及聖人ヲ尊敬スルコトヲ論ズ

問 耶穌基督ニ幾多ノ性アリヤ

答 ニアリ天主ノ性及人ノ性はナリ蓋シ耶穌基督ハ眞誠ナル天主眞誠ナル人ナレバナリ

問 耶穌基督ニ幾多ノ「ペルソナ」アリヤ

答 唯一アリ然ル所以ノモノハ假令人ノ性ハ之レアリト雖モ人ノ「ペルソナ」ハ之ナク即チ天主ノ「ペルソナ」ナレバナリ

問 足下ハ如何ニ之ヲ論定スルヤ

答 余之ヲ論定ス耶穌基督ノ行爲ハ即チ天主ノ行爲ニシテ無限ノ功德ヲ有スルモノナリト夫レ人ハ善良ナルニ隨テ其行爲ニ功德ヲ増スモノナリ然ラバ耶穌基督ノ天主タル「ペルソナ」ノ行爲ガ限りナキ功德ヲ有スルハ固ヨリ言ヲ竣ザルナリ

問 耶穌基督ガ我等ノ爲メ受難セシハ其天主タルノ性ヲ以テセシヤ

將タ人タルノ性ヲ以テセシヤ

答 我等ノ爲メ大齋祈禱ヲナシ苦難ヲ受ケ給ヒシハ即チ人タルノ性ナリト雖モ其人タル性ノ苦難及行爲ハ其天主ノ「ペルソナ」ニ屬セシメザルヲ得ズ乃チ耶穌基督ノ「ペルソナ」ハ天主ナルヲ以テ即チ天主ガ苦難ヲ受ケタリト云モ不可ナルコトナシ

問 耶穌基督ハ何レニ在マヌヤ

答 天主ノ「ペルソナ」ヲ以テ論ズルキハ在マサザル所ナシ其人タルノ性ヲ以テ論ズルバ天及聖壇ノ聖體ニ在マスナリ

問 然ラバ耶穌基督ニ對スル我等ノ行爲ハ如何

答 一心ニ身ヲ委テ以テ聖身ヲ奉愛シ無上ノ尊敬ヲ盡サザルベカラズ

問 其尊敬ハ如何

答 其尊敬ハ天主ノミニ對スル敬拜是ナリ

問 公教信奉者ハ諸聖人ヲ敬拜スルヤ

答 敬拜ハ天主ノミニ對スルモノニシテ諸聖人ハ同一ニ敬拜スベキモノニアラズ蓋聖人ハ天主ノ聖寵ニ富メル重臣ナルヲ以テ單ニ之ヲ敬スルノミナリ

問 公教人ガ諸聖人ニ壇ヲ奉獻シテ彌撒聖祭ヲ執行スルハ何ゾヤ

答 壇ヲ奉獻シテ彌撒聖祭ヲ執行スルハ天主ノミノ爲メニシテ諸聖人ノ爲メニハ壇ヲ奉獻セズ唯聖人ノ傳達ヲ請ガユヘニ壇ヲ設ケ其紀念ノタメニ彌撒聖祭ヲ執行スルモノナリ

問 何故耶穌基督ニ對シ一心ニ身ヲ委ヌルヤ

答 天主ト人トノ間ニ於ル唯一ノ幫助者ナレバナリ

問 何ヲ以テ之ヲ唯一ナル幫助者トイフヤ

答 特ニ聖身ヲ以テ我等ノ罪料ヲ贖ヒ聖身ノ功德ニ依リテ現ニ我等ニ天主ノ恩賜ヲ惠降シ給フヲ以テナリ

問 聖人ニシテ罪ヲ贖フヲ得ルヤ

答 否天使聖人等ハ縱令一ノ重罪タルトモ之ヲ贖ヒ天主ノ心ヲ悦バシムル能ハズ抑モ罪科ナルモノハ限リナク天主ヲ辱カシムルモノナレバ其贖罪タルヤ亦限リアザルノ功力ヲ要スルナリ故ニ假令如何ナル聖ニ富メル數多ノ天使聖人ト雖モ猶ホ限リアル功力ヲ備ヘタル受造物ナレハ決シテ限リナキ贖罪ヲナシ得ル能ハザルヤ明カナリ獨耶穌基督ハ其身天主ト合一トナリテ限ナキ功力ヲ具ヘタル聖身ナレバ天主ニ充分ナル償罪ヲナシテ罪科ヲ以テ毀損シタル天主ノ光榮ヲ復シ給フナリ

問 耶穌基督ハ我等ニ諸ノ聖寵ヲ惠降セシムルノ功德アリヤ

答 アリ聖パウロノ言ニ(エフエシイヤン人ニ達スル書一章三節)我主耶穌基督ノ父ナル天主ニ祝謝ス彼レ基督ニ緣リ天ニ於テ我等ヲ祝スルニ諸ノ靈福ヲ以テストアリ

問 聖人モ亦我等ニ天主ノ聖寵ヲ惠降セシムルヲ得ルヤ

答 聖人等ハ其祈禱ニ依リテ聖寵ヲ惠降セシムルヲ得ルト雖モ自カラノ功力ニ依テ之ヲ降ス能ハズ唯耶穌基督ノミ其功力ヲ得自ラ血ヲ以テ諸聖人及我等ニ諸ノ聖寵ヲ惠降シ給フナリ

問 何故ニ我等ハ耶穌基督ヲ敬愛セザルベカラザルヤ

答 聖パウロノ言ニ父曾テ我等ヲ幽暗ノ下ニ拯ヒ而シテ我等ヲ其愛子ノ國ニ入ラシムト(コロシイヤン人ニ達スル書一章十三節)アルヲ以テナリ

問 公教人ガ基督及其功德ヲ頌譽スル法ニ於テハ「プロテスタン」徒ニ

優レルヤ

答 公教人ハ「プロテスタン」徒ニ優リテ耶穌基督ヲ尊敬ス即チ聖人ニ畫ニ像ニ對シテ之ヲ敬シ之ヲ尊ビ以テ之ヲ保存シ須臾モ忽ニヒザレバナリ

問 何ヲ以テ公教人ハ「プロテスタン」徒ニ優リテ耶穌基督ヲ尊敬スルトイフヤ

答 聖體ニ在シマス耶穌基督ヲ尊敬スルヲ見テモ已ニ其優レルヲ知ルニ足ルベシ蓋公教人ハ其信ニ基ヅキ現ニ聖體ニ在マス耶穌基督ニ對シ悉生ノ力ヲ盡シテ拜敬スルヲ以テナリ

問 何ヲ以テ公教人ハ「プロテスタン」徒ニ優リ諸聖人ニ畫ニ像ニ耶穌基督ヲ尊敬ストイフヤ

答 公教人ハ諸聖人ヲ敬シテ益々耶穌基督ヲ頌揚ス蓋耶穌基督ハ聖

人ニ付與スルニ愛憐聖寵ヲ以テシ我等ヲシテ聖人ヲ敬慕セシメ給ヘバナリ又公教人ガ耶穌基督ヲ表スル畫像等ニ對シテ之ヲ敬スルハ是其畫像ヲ敬スルニアラズ即チ畫像ニ寫セル耶穌基督ヲ敬スルモノナリ

問 何ヲ以テ公教人ハ「プロテスタン」徒ニ優リ耶穌基督ノ功德ヲ敬スルトイフヤ

答 公教人ハ「プロテスタン」徒ニ優リ耶穌基督ノ苦痛受難ヲ尊ビ其大齋及其苦辛ヲ追念シテ以テ悲哀節ノ大齋ヲ固守シ其死去ヲ貴ビテ以テ金曜日肉食ヲナサズ又常ニ十字架ヲ手摸スルハ是レ十字架ニ磔セラレ罪人ニ代リテ種々ノ苦難ヲ凌ギ給ヒシ耶穌基督ノ功德ニ因リテ天主ヨリ聖寵ヲ蒙ムルヲ切望シ且忘レザルガ爲メナリ又祈禱ヲナスニ當リテモ其終リニ必ズ我主耶穌基督ニ依リテノ語ヲ誦

へ死期ニ迫ルキモ亦耶穌ノ聖名ヲ唱フ依テ知ル公教人が單一ノ柱石ト仰ク所ハ耶穌基督ナルヲ之ガ反對ヲ唱フル者ハ欺罔者ナリ公教人が聖人ニ請フ所ハ則チ我等ノ爲メ救世主ニ祈禱ヲ請フモノナリ

問 公教人が聖人ノ名ヲ呼唱シテ請願スルハ則チ天主ヲ棄ツルニアラズヤ

答 否公教人が聖人等ニ請願スルハ其傳達ヲ請フガ爲メニシテ決シテ天主ヲ棄ツルニアラズ彼ノプロテスタン徒ヲ見ルベシ世ノ人ニ頼ミテ掛クルニアラズヤ

問 聖人ノ名ヲ呼唱シテ以テ請願スルハ即チ耶穌基督ノ功德ヲ蔑視スルニアラズヤ

答 然ラズ聖書中義人ノ祈禱ハ有益ナリトノ公言アリ

問 此點ニ於テプロテスタン徒ガ誤解スルノ件ハ如何

答 「プロテスタン徒ガ公教人ハ諸聖人ヲ耶穌基督ノ代ト見做シ聖人ニ其身ヲ放任スト思想スルハ乃チ誤謬ノ最モ大ナルモノナリ公教人ハ敢テ諸聖人ニ聖寵ヲ請フニ非ズ即チ耶穌基督ニ依リ其傳達ヲ以テ天主ニ聖寵ヲ請ナリ故ニ公教人が天主ニ祈禱スルハ我等ヲ憐ミ我等ノ罪科ヲ赦シ給ヘト唱へ聖母又ハ聖人ニ請フ所ハ我等ノ爲メニ祈リ給ヘト唱フルヲ見テモ其誤謬ヲ知ルニ足ル蓋公教人ハ聖人ノ功德ハ其源ヲ耶穌基督ニ發スルヲ辨知スレバナリ

問 諸聖人ノ功力ハ無益ノモノナルヤ

答 否無益ニアラズ諸聖人が深ク天主ノ聖寵ヲ受クルニ隨テ我等ノ爲メ其傳達ハ幾層ノ功力ヲ増加スルヲ以テ其祈禱ハ尤必用ナリ故ニ公教人ハ他ノ凡人ニ優リテ義人ヨリ善人タル諸聖人ノ祈禱ヲ願

フナリ抑モ公教人ハ「プロテスタント」徒ガ誤解スル如ク聖人ヲ耶穌基督ノ代理ト見做スモノニアラズ乃チ諸聖人ニ對シ我等ノ祈禱ヲ幫助遞傳シテ耶穌基督ニ達スルヲ請ヒ以テ我等ガ懇願スル所ノ聖寵ヲ得ント欲スルガ爲メナリ

第十四章 天主ノ聖マリヤヲ敬スルコト

第一項

聖書ニ就テ聖マリヤヲ論ズ

問 公教人ハ聖マリヤヲ天主ト同等ニ敬拜スルニアラズヤ

答 否天主ト同等ニ聖マリヤヲ敬拜スルハ異端ノ所爲ナリ公教人ガ聖マリヤヲ敬スルコトハ天使聖人等ニ優ルト雖モ決シテ天主ト同等ニハ尊敬セザルナリ

問 何故ニ聖マリヤヲ敬スルヤ

答 耶穌基督言ルコトアリ誰人モ我レニ仕フル者ハ我父之ヲ敬スベシト聖約翰傳十二章二十六節聖母マリヤノ如ク忠實ヲ盡シテ天主聖

子ニ仕ヘタル者ナキヲ以テ天主亦特ニ之ヲ敬シ給ヘリ况ヤ我等ニ於テ之ヲ敬セザルヲ得ンヤ「プロテスタント」ノ一教士「ピールソン」ナル者ハ我主ノ母ニ對スルノ尊敬ハ敢テ之ヲ不可トセズ主ニ對スルノ尊敬ニ等シカラザルヲ要スト言ヘリ

問 特別ナル尊敬ヲ要スル聖マリヤノ功德ハ如何

答 余之ヲ述ベンニ當初ノ受造者ガ罪ニ墮落セシキ天主ハ聖マリヤヲ以テ蛇ノ頭ヲ破碎スベキ子ノ母トナシ四千年ノ前早ク已ニ之ヲ示シ給ヘリ「イザヤ」モ數百年以前ニ於テ聖マリヤノ不犯ヲ守ルコトト其功德トテ預言セリ而シテ此功德ハ幾數ノ星霜ヲ經ルモ依然榮譽ノ尤モ大ナルモノト頌譽セラレ預言ノ期ノ到ルニ及デエウロノ

少女中ニ於テ聖マリヤヲ撰抜セラル此撰抜ハ聖三位ノナシ給フ所ナルヲ以テ大天使降臨シテ之ヲ聖マリヤニ告給ヘリ是其特別ノ尊敬ヲ要スル所以ノ功德アル一証ナリ

問

大天使ノ勅語ハ聖マリヤノ至尊ナルヲ証明スルニ足ルヤ

答

然リ其勅語ニ曰ク我誕デ汝ニ禮ス主ノ聖寵今汝ノ一身ニ充滿セリ主ハ汝ト偕ニ世ニ在マス汝ハ女中ニ在テ尤モ特異卓絶ノ清福ヲ荷フモノナリト是ハ乃チ至尊ナル明証ナリ

問

足下ハ「プロテスタン」徒ガ聖マリヤヲ以テ平凡ノ婦人ナリト評スル説ヲ如何ニ思考セラル、ヤ

答

余ハ彼等ガ此言ヲナスヲ見テ實ニ天主天使ヲ蔑視スルモノトシ彼徒ノ爲メニ怯畏セザルヲ得ザルナリ夫先知者ニ預言セラレ聖三位ト特別ナル統系ヲ繋ケル聖女ヲ以テ一凡婦トセバ豈大天使降臨

シテ口ニ前述ノ勅語ヲ傳フルノ理アラシクヤ若シ「プロテスタン」徒ノ説ヲ主唱セント欲セバ如何ゾ聖書ノ解釋ヲ曲ゲ大天使ヲシテ我爾ニ禮ス爾ハ一凡婦ナリ爾ハ聖寵ヲ有セズ爾ハ他ノ婦女ニ優ル特異ノ清福ヲ荷ハズ主爾ト偕ニ世ニ在マサバ潔白ナル改教徒ノ妻女ト偕ニ在マス「トイウ」シメザルヤ四ニイフ現今ノ「プロテスタン」徒ハ聖マリヤヲ凡婦トナスモ當初ノ「プロテスタン」徒ハ此ノ言ヲナサザリシメルミロドナル人ノ著述ニ係ル聖童貞ト題スル書中リユテールノ言ヲ捫グルアリ曰クマリヤガ罪科ノ汚レナク懐胎セシラ信ズルハ實ニ潔白ナル信ニシテマリヤハ「聖童貞」ト稱スル中ノ立トノ説ハ實ニ至當ナリ他ノ婦人中聖マリヤノ如ク罪ヲクシテ懐胎セシ者ナシト

問

請フ前答ノ後ヲ聞カン

答

聖リユカ傳ニ一章三十五節天使之ニ「マリヤ」ニ答ヘテ曰ク聖神ハ汝ニ降臨シ天主ノ威徳ヲ以テ汝ノ身ヲ庇蔭ス是故ニ汝ガ生ム所ノ至聖者ハ天主ノ子ト稱名スベシト

問 此文意ヲ以テ聖マリヤハ凡婦ナリトノコトヲ含蓄スルモノトナシテ可ナルヤ

答 聖書ノ眞意ヲ知ラザル改教徒ハ此ノ如キ言ヲナシ其心ニ愧ザルベカラズ豈聖三位ト直接ノ統系ヲ繫ケル天主聖子ノ母ニシテ王ノ王タル者ノ母ダウイドノ^{ソテチ}座ニ坐シ始終シヤコブノ家ヲ統理スル天主ノ聖子ト稱名セラル、者ノ母ヲ以テ凡婦トナスノ理アラシヤ

問 聖マリヤニ大天使ニ對シ我ハ未ダ男ヲ知ラズ何ニ由テ此事アルヲ得ンヤトノ言ヲ發シテ以テ大天主使ノ勅語ニ疑念ヲ抱キシニアラズヤ

答 否決シテ疑念ヲ抱キシニアラズ乃ハ子恠怩シタルナリ此恠怩シタルハ則チ益其潔白ヲ現示スル明証ナリ何ントナレバ聖神爾ニ降臨ス即チ是天主ノ聖意ナリトノ答ヲ聽キマリヤハ大天使ノ言ニ從

ヒ謙遜シテ視ヨ主ノ婢此ニアリ願クハ爾ガ言ノ如クナラント(聖リユカ傳一章三十八節)イヒタルヲ以テ其疑念ニアラザルヲ証スルニ足ル

問 聖リユカ傳一章四十一節ニ聖母ノ尊位アルヲ証スルノ事項アリヤ見ズヤ

答 アリマリヤガエリザベツトニ禮セシキエリザベツトノ胎兒腹内ニ在テ踊躍スエリザベツトノ身モ亦聖神ニ充滿セラレタリトノ文意アリ

問 然ラバエリザベツトハ聖神ニ充滿セラレ人中最モ優等ノ子タル洗者シヨアンテ其胎内ニ抱キ深ク天主ノ聖寵ヲ享有シタルヲ以テマリヤヲ視ルコト凡婦ノ如クセザリシヤ

答 此ノ如キ言ハエリザベツトヲ恐怖セシメシナランエリザベツト

ハ之ニ反シマリヤノ至聖ナルヲ公言シ其身賤シカラザルモノナル
モマリヤガ問安セシヲ悦ビ之ヲ光榮トナシ聲ヲ發シテ諸ノ女人中
汝ハ獨リ寵福ヲ荷ヘリ胎内ノ果實モ亦寵福ヲ荷ヘリ我主ノ母ガ我
レヲ問安スルノ幸ハ何ニ由リテ來リシヤトイヒシ(聖リユカ傳全章
四十二節四十三節)ヲ見レバマリヤヲ凡婦トセザリシヲ明カナリ

問 此文意中足下尙眼ヲ注グベキ點アリヤ

答 余ハ聖神ガエリザベツトナシテマリヤヲ主ノ母トイワシメタル
ノ項ニ眼ヲ注グナリ夫レ貧窮ナル一賤女ヲ以テ國王ノ母トナリ至
尊ナル位ニ昇ルガ如キハ豈人間無上ノ大幸福ニアラズヤ况ンヤ王
ノ王タル天主ノ母タルマリヤノ位ハ實ニ至尊ナルニ於テオヤ且耶
穌ハ不潔ノ所ニ住シ給ハザルモノナレバマリヤハ至聖潔白一點ノ
汚レナキコト明瞭ナリ

問 聖リユカ傳福音書ニ就テ見ル所ハ聖マリヤハ尙他ニ特別ノ至尊
ナル所アラザルヤ

答 之アリマリヤハ大天使ノ勅語ヲ蒙リ其殊遇ノ禮ニ驚愕セシモ大
天使ガ恐ル勿レ爾ハ天主ノ前ニ於テ聖寵ヲ蒙レリトノ言ヲ以テ其
恐怖ヲ鎮撫セシノ一事ナリ斯ク上帝ガマリヤニ注意シ給フヲ示
セルハ豈最大至尊ノ証ニアラズヤ且其尤モ尊ムベキハマリヤガ童
貞ニシテ母トナリシ一項ナリ然ルニ其子ヲ拜シテ其母ヲ敬セズ以
テ之ヲ一凡婦トナスガ如キ「プロテスタン」徒ハ眞ニ至聖ヲ蔑視スル
一怪物ニ過ギザルナリ

問 尙他ニマリヤヲ尊敬スベキ事跡アリヤ

答 之アリ乃チ後世マリヤヲ福者ト呼稱スルノ預言ナリ果シテ其預
言ノ如ク今日ニ至ルマデ基督信者ハマリヤヲ福者ト尊稱スルヲ以

ヲ知ルベシ然ルニ獨リ「プロテスタン」徒ハ之ヲ福者トナスヲ欲セズ
漫リニマリヤヲ蔑視シテ凡婦トナシ聖書ニ（リユカ傳一章四十八節）
萬世我レヲ福者ト呼ブベシトアル明文ヲモ顧ミザルハ亦戻ルノ
甚シキモノトイフベシ

問

足下ハ先キニマリヤガ童貞ニシテ母トナリシヲ公言セラレシ
モマリヤハ耶穌基督ヲ生ミタルノ後尙他ニ數多ノ小兒ヲ産セリ聖
書中ニモ屢耶穌基督ノ兄弟云々ノ文アルヲ以テ之ヲ見レバ已ニ耶
穌ノ母タリシ後ハ童貞ヲ廢止シタルナラント思考ス如何

答

足下ノ言ノ如ク聖書中耶穌兄弟云々ノ文數多アリ然ルニ書中ノ
所謂兄弟ハ血屬ヲ指シタルノ言ニシテ假令バ舊約書中ロツトハア
ブラハームノ甥ナルモアブラハームハ之ヲ兄弟ト呼ビ（創世紀十三
章十一節同十四章十四節）トビヤリスハラゲールノ從兄弟ナルモラ

ゲールハ之ヲ指シテ其兄弟ト呼ビシガ如ク聖書中耶穌ノ兄弟トア
ルハ乃チ單ニ其從兄弟ニシテ決シテ他ニ兄弟アルコトナシ乃チ聖マ
リヤハ依然タル童貞ナリシ

問

然ラバ尙他ニ聖マリヤガ童貞ヲ守リシコトヲ証スルノ項アリヤ

答

之アリ「プロテスタン」徒ガ耶穌ニ四人ノ兄弟アリシトイフ説ヲ駁
シテマリヤガ始終童貞ニ等シキコトヲ証センタメ聖書中ヨリ引証
シテ此四人者ノ父母ヲ明示セン

抑モ耶穌ガ四人ノ兄弟トアルハ（マテヤ傳十三章三節馬可傳六章五
十五節）「シヤコブ」シヨゼシイモン及「シユド」ナリ福音書ニ依レバ聖
「シヤコブ」ノ父ハアルフヘ或ハクレオフアース（リユカ傳六章十五節）
ト呼ビ母ヲマリヤト呼ビ聖母マリヤノ從姊妹ナリ（聖シヨアン傳十
九章二十五節）而シテシヨゼノ父母統系モ亦明文アリ則チシヨゼハ

シヤコブノ兄弟ニシ(マテヤ傳二十七章五十六節マルク傳十五章四十節)テ父ハクレンオフアース母ハマリヤナリシユドモ亦シヤコブノ兄弟ニシテ聖マリヤノ子ニアラズシユデヤ人ノ言ニ依レバシイモンハシヤコブシユドシヨゼノ兄弟ノ如ク指名セラル故ニ其父母ハ同一ノモノトイハザルヲ得ズ其聖マリヤガ其童貞タルヲ廢止セザリシノ証ハ耶穌基督ノ死期ニ當リ其聖母ヲ宗徒聖シヨアンニ托シ給フノナリ若シ他ニ兄弟アリシトセバ聖シヨアンニ托シ給ハズシテ兄弟ニ托シ給フヤ必セリ果シテ兄弟アルモ尙殊ニ聖シヨアンニ托シ給ヒントセバ耶穌基督ハ兄弟ガ其母タルマリヤヲ棄テ顧ミザルガエヘニ聖シヨアンニ委託シ給ヘリトイハザルヲ得ズ余故ニイマ聖マリヤハ他ニ子ヲ生マズ始終童貞ヲ守リシモノナリト

問 耶穌基督ハ聖マリヤニ女我爾ト與カラズトノ言ヲ發タルハ即チ

其母ヲ棄タルニアラズヤ(シヨアン傳福音二章四節)

答 執拗偏頗ナル眼ヲ以テ之ヲ見ルハ或ハ此誤解ナキヲ保セザルモ公平正明ナル解釋即チ「プロテスタン」徒タルグロチウスガ正確ナルモノトスル所「ウニルガト」ト言フ公教會ニ於テ羅旬語ニ譯シタル聖書ニ由レバ女此ハ爾ト余トニ與カルコナシトノ言ニシテ足下ガ擬問ノ如キ言ニアラザルナリ

問 然レバ「プロテスタン」徒ガ附會スル所ノ解釋ハ愚ニシテ笑フベキモノニアラズヤ

答 足下ノ言ノ如ク實ニ笑フニ堪ヘザルノ解釋ナリ彼徒ガ我等ノ鑑トシテ頼ムベキ救世主ハ其母ヲ蔑視セシトノ說ヲナスモ福音書ニ依リテ之ヲ証スルキハ其理ニ基カザルヲ知ルニ足ルベシ乃チ其書中ニカナノ婚筵ニ耶穌マリヤト偕ニ與カリ筵中酒罄キタルト

キマリヤ耶穌ヲ願ミテ奇靈ヲ顯示スルヲ請ヒシニ耶穌ハ之ヲ斥クルヲナク其請ニ應ジ直チニ一奇跡ヲ顯ゼリト以テ耶穌ガ尤モマリヤヲ敬ヒ給シヲ見ルベシ又十字架上ニアルモ之ヲ忘レズ其死期ニ至ルマデ之ヲ慕ヒ死後其愛スル所ノ門弟聖ヨアンニ委托セリト是其明証ナリ然ルニプロテスタン徒ハ尙耶穌ハカナノ婚筵ニ於テマリヤヲ蔑視放棄セリトイフカ

第二項

遺傳ニ就テ聖マリヤヲ論ズ

問 聖ヲグスチノハ聖マリヤニ就キ如何ナル言ヲナセシヤ

答 其言ニ曰ク噫至聖ナル童貞ヤ余ハ何ヲ以テ其高德ヲ頌譽シテ可ナルヲ知ラズ寶ニ童貞ハ天地間ニ包容スル能ハザル聖子ヲ其胎内ニ抱キ給ヒシヲチ

問 聖ニピイフアノハ如何ナル言ヲナセシヤ

答 眞誠ナル主ハ童貞マリヤヨリ世ニ現出セリエーワハ人ニ死ヲ現出セシモマリヤハ生ヲ現出セシトイヘリ

問 離教徒ナル希臘教會ハ此點ニ於テ公教會ト其心チ一ニスルヤ

答 然リ毫モ違フ所ナシ其當初ノ棟梁タリシフオシイウスノ言ニ噫主ノ母タル至聖ナル童貞ヤ我等ガ罪科ノ深ガ爲メニ心身ヲ苦シメ給ヒタル童貞ヤ童貞我等ノ隱遁スル所ノ城壁ナリ仰キ願クハ童貞ノ聖子タル主ニ我等ノ爲メ祈ラレノヲチ又ク我等チシテ童貞ノ徳ニ叶合スル頌譽ヲナサシメヨトイヘリ

問 然ラバ聖マリヤヲ教會ニ於テ敬慕スルハ近代ニ始マリシニアラザルベシ

答 聖マリヤヲ敬慕スルハ何人カ之ヲ始メ何レノ地何レノ會ニ於テ

之ヲ創メタルヤヲ明示スルヲ能フ者ナキガユヘ必ズ宗徒ヨリ傳來
シテ天主ノ權ニ基ヅクモノトイフベシ

問 前記數問答ノ事項ニ就テ足下ハ如何ナル論定ヲ下サルハヤ

答 余之ヲ論定スルニプロテスタン徒ハ聖マリヤヲ蔑視シテ以テ聖
書ニ明示スル事項ニ背反シ聖マリヤヲ凡婦トナスモ聖書ハ則チ天
主ヨリ出タル受造物中尤モ殊遇ヲ受ケタルモノナリトス豫言者イ
ザヤハ數百年以前ニ在リテマリヤヲ指シ後來救世主ノ童貞タル母
ナリト預言セリ夫レ全智ヲ有シ給フ天主ハ之レヲ撰拔シテ救世主
ノ母トナセシ聖三位ハ大天使ヲ遣ハシテ承服セシメ大天使ハマリ
ヤニ聖寵ニ充滿スル童貞主ハ汝ト偕ニ在リ汝ハ女人中尤モ特異ノ
清福ヲ荷フモノナリ聖神汝ニ降臨シ汝ノ子ヲ天主ノ子ト呼ビ童貞
ヲ守ルモ尙天主ノ子ヲ産シ全時ニ童貞タリ母タルヲ得ルトイヘリ

又マリヤカエリザベツトヲ問安スルヤエリザベツトガ胎内ノ嬰兒
ハ其聲ヲ聽テ喜躍シエリザベツトハ爲メニ聖神ノ充滿セラレ女人
中尤榮福ヲ荷フモノナリトイヒマリヤモ自カラ先知ノ靈ヲ蒙リ後
世代々其身ヲ福者ト呼ブベキヲ預言シ其預言ノ如ク千五百年ノ
間基督信者ハ悉クマリヤヲ福者ト呼ビ現今尙公教信奉者ハ悉ク之
ヲ稱唱スルナリ

問 余ハ特ニ怪ムプロアスタン徒ガ天主ニ聖トナサレ高等ノ位地ニ
昇ラシメラレタル聖マリヤヲ蔑視スルヲ請フ足下此徒ガ此ノ如
ク聖書ニ背反スルノ説ヲ唱フルヲ駁スルニ要用ナル証ヲ引テ余ニ
示セ

答 余足下ノ問ニ應ゼン抑モ聖マリヤガ九ヶ月間其潔白ナル胎内ニ
救世主ヲ抱キベテレームノ洞中廐内ニ於テ備サニ艱苦ヲ嘗メ其躰

質ノ微弱ナルヲ悲ミ涙ヲ拭ヒ聖殿ニ至リシキ流血ノ爲メニ苦痛シ
 嬰兒ヲ懷テエジプト國ニ遁レ其養育ニ思テ焦シ三十三年間棲息シ
 テ其悲哀苦痛受難ヲ倍ニシ且其靈魂ハ耶穌ガ身ニ受クル笞杖ニ感
 動セラレ耶穌ノ血ニ其涙ヲ混合セリ又衆人耶穌ヲ放棄セシキニ當
 リ悲哀號呼シ十字架ニ攀テ之ヲ慕ヒ耶穌モ亦其苦痛中敢テ聖マリ
 ヤヲ忘レ給ハズ絶命ニ及ビ最愛スル所ノ門弟ニ之ヲ委托シ給ヘリ
 耶穌已ニ瞑スルノ後聖マリヤハ鮮血淋漓タル我子ノ遺骸ヲ抱キ墳
 墓ニ埋ムル者ト偕ニ之ヲ送レリ耶穌基督已ニ復活シ其昇天其聖神
 降臨ノ際ニ當テ聖マリヤハ宗徒等ノ中ニ在リシ此等ノ事項ヲ見ル
 正直ナルプロテスタン徒ヲシテ聖母マリヤヲ尊敬スルニ至ラシム
 ルヲ得ザランヤ

問 足下、プロテスタン徒ヲシテ其眞誠ナル義務ニ反省セシムベキ考

案アリヤ

答 余ハ彼徒ニ言ハントス汝等ハ聖マリヤヲ蔑視シ其潔白ナル血ヲ
 以テ造ラレタル耶穌基督ノ人躰ヲ卑シムルモノナリ汝等知ラズヤ
 耶穌基督ノ骨ハ聖マリヤノ骨其肉ハ聖マリヤノ肉ニシテ十字架上
 ヨリ流下セル血ハ即チ聖マリヤノ血ナルヲ然ルニ尙聖マリヤヲ
 蔑視スルハ恰モ是汝等ガ罪科ヲ贖ヒ給ヒシ救世主ヲ罵詈侮辱スル
 ナリ汝等聖マリヤヲ罵詈侮辱スル毎ニ其子ヲ罵詈侮辱ス如何ゾ爲
 ニ膚粟ヲ生ゼザラン汝等若シ聖マリヤヲシテ致命者ノ靈カ謂フ所
 ノ如ク何ノ時ニ審判ヲ下シ給フヤ何ゾ我が爲メニ地上ニ住スル者
 ナ罰シ給ハザルヤトイハシメバ其レ能ク恐ル、勿ランヤ

問 然ラバ基督教ノ教師ト自稱シ日ニ天主ノ聖母ニ對シ侮辱罵詈ヲ
 ナス者等ガ住スル國ニ於テ公教人ハ如何シテ可ナランヤ

答 此ノ場合ニ於テハ則チ天使ノ勅語ニ基キ千四百年前聖アタナシヨーズガ組織シタル祈禱ヲナスベキナリ則チ其祈禱ハ童貞マリヤヨ我等ニ注目セヨ我聖母ニ禮ス聖母ハ聖寵ニ充滿ス主ハ聖母ト偕ニ在リ天地間仰テ聖母ヲ福者ト呼ブ聖母ハ世人中尤モ特異ノ榮福ヲ荷ヒ胎内ノ菓實ト與ニ尊トシ噫我女主我が貴女我等ノ爲メニ傳達セヨ天主ノ母ナル皇后我等ノ爲メニ祈リ給ヘトイフニアリ

第十五章 天使及聖人ニ傳達ヲ請フ

第一項

天使聖人等我が祈禱ヲ聽聞スルヲ論ズ

問 公教人天使ト聖人トヲ拜スルヤ

答 否公教人ハ單ニ天使聖人等ヲ敬シテ以テ其傳達ヲ請ノミ

問 天主ト受造者トニ對スル敬禮ハ外貌ノ禮ヲ以テ論評スベキヤ將

ク心ノ禮ヲ以テ論評スベキヤ

答 心禮ヲ以テ論評スベシ何トナレバ我等天主ヲ敬スルヲ聖人ヲ敬スルニ等シキ外貌ノ禮ヲ用ユ其敬禮ハ跪キテ帽ヲ脱シ頭ヲ垂ル、ヲ以テナリ

問 天使聖人等ハ常ニ地上ヲ照覽シ我等ガ言行ヲ一々默聽シ給フヲ得ルヤ否

答 是レ則チ疑フベキヲニ在ラズ彼ノエリセー先知者ノ如キハ聖寵ニ依リ遠隔ナルシイリヤ國ニ在リシ事項ヲ默知シテ之ヲ預言シ又聞見セズシテナイマンナル者トシイエシナル者トノ間ニ生ゼシ事項ヲ知リ聖ベトロハアナニトサフヒールトノ欺罔ヲ洞見セリ夫地上ニ在ル先知者ステ尙能ク未ダ嘗テ聞見セザル事物ヲ默知預言スルヲ斯ノ如シ豈ニ天上ニアル天使聖人等ガ之ヲ知ラザルノ理ア

ランヤ加之魔鬼亦我等ノ行爲ヲ悉ク知ルコトハプロテスタン徒モ之ヲ明言シ聖書モ之ヲ明記セリ其言ニ晝夜天主ノ前ニ在リテ我が兄弟等ヲ譴訴スル者ハ已ニ外ニ放逐セラレタリトアリ(聖シヨアン黙示錄十二章十節)魔鬼ガ我等ノ行爲ヲ知ル其レ斯ノ如シ况ンヤ天使聖人等ニシテ之ヲ知ルコト能ハズトイフヲ得ンヤ

問 天使ハ我等ヲ守護スルニアラズヤ

答 然リ我等ヲ守護スルヲ以テ我等ニ關スルコト一々黙知セラル、ナリ我主ノ言ニ爾デ慎ンデ此少者ノ一人ヲモ蔑視スル勿レ蓋シ彼等ヲ守護スル天使天ニ在リ始終我父ノ面前ニ於テ之ヲ見ルヲ以テナリ(マテヤ傳十八章十節)聖パウロノ言ニ天使ハ救靈ヲ受クベキ者ニ仕フル爲メ遣サレタル守護ノ靈ナリトアリ(エブレヤ人ニ達スル書第一章十四節)

問 聖人等ハ我等ヲ治ムルヤ我等ヲ指導スルヤ

答 然リ聖シヨアン黙示錄ニ勝ヲ得テ而シテ終リニ至ル迄我言ヲ守ル者ニ我レ諸邦ヲ治ムルノ權ヲ賜フト(二章二十六節)又我等ヲシテ我天主ノ爲ニ主トナリ祭司トナラシメ而シテ地上ニ王タリトアルヲ見テ知ルベシ(五章十節)

問 天使聖人等ハ我等ノ請願及我等ノ心思ヲ知ルヤ

答 固ヨリ然リ聖リユカ傳十五章十節ニ罪人ガ悔改スルトキハ天主ノ天使ハ爲ニ悦ブトアルヲ見レバ天使ハ罪人ノ心意ヲ知ルモノナリ若シ然ラストセバ如何ツ之ヲ悦ブトイフヲ得ンヤ夫悔改ハ心衷ノ良念ニシテ天使ハ之ヲ洞見スルヲ以テ固ヨリ我等ノ祈禱ハ之ヲ聽納セラル、ナリ聖人ニ於テモ亦然リ(聖マテヤ傳二十二章)諸聖人ハ天ニ於テハ猶天使ノ如シ諸聖人ハ天使ニ等シ(聖リユカ二十章三

十六節)又ドビヤ書十二章十二節ニ爾祈禱スル毎ニ我爾ノ祈禱ヲ主ニ奉ゲタリトアリ

第二項

天使及聖人ハ我等ノタメニ祈ル

問 天使諸聖人等ハ眞實我等ノ爲ニ祈ルヤ

答 然リ聖書中其明文アリザカリヤ書一章十二節ニ天主ノ天使答テ萬有ノ主ヨ爾チ七十年来セリユザレーム及シユダノ諸邑ニ怒リ毫モ矜憫ナキハ伊レ何レノキニ底マルヤトイヒシニ天主ハ我ト言フ所ノ天使ニ温言テ以テ答ヘ給ヘリザカリヤ書一章十二節抑モ此文ハ天使ゼリユザレーム及シメダノ都府ノ保護ヲ思ヒ天主ガ何レノ時ヨリ此都府ニ向ツテ義怒シ給ヒシヲナ知リ爲メニ傳達シテ天主ハ天使ノ傳達ヲ納レ給ヒシノ意ナリ

問 尙他ニ明証アリヤ

答 之アリシユダ、マカベハオヨイヤース及ゼレミヤノ二人ガ既ニ死シテ年ヲ經ルモ尙民ノ爲メ祈禱スルヲ見タリ
默示録第五章八節ニ二十四長老ハ琴ト香ノ滿タル鼎トヲ持チ小羊ノ前ニ平伏セリ蓋是聖人ノ祈禱ナリトアリ
聖人ハ其身已ニ幸福ヲ有スレハ敢テ其身ノ爲メニ祈ラズ又昇天シテ已ニ天主ノ側ニ在ルモノ等ノ爲メニモ祈ラザルナリ故ニ聖人ノ祈禱トアルハ則チ世ニ在ル罪人等ノ爲メニ祈禱スルヲイフナリ

第三項

天使及聖人ノ傳達ヲ請フヲ論ズ

問 天使及諸聖人ハ敬スベキ者ナルヤ

答 然リ我主ノ言ニ我レニ奉仕スル者ハ我父之ヲ敬スト曰ヘリ天使

聖人ハ尤モ完全ナル服事ヲナシタル者ナレバ天主ハ已ニ之ヲ敬シ我等亦之ヲ敬スベシ天使ガヨシユエニ爾ハ主ノ軍ノ棟梁タリトイヒタルキヨシユエハ跪キ頭ヲ地ニ頓セリ(ヨシユエ書五章十四節)ロツトハ天使ニ出會セシトキ頭ヲ地ニ頓シテ之ヲ拜セリ(創世紀十九章一節)聖ヨアンハ天使ノ足下ニ跪伏シテ之ヲ拜セリ(黙示錄二十二章八節)今此ニ拜ストアルハ天主ニ合掌禮拜スルノ拜ニアラズ天主ヨリ無上ノ高位ニ召サレタル受造者ニ對シテ尊敬ヲナスノ意ナリ足下之ヲ天主ニ合掌禮拜ト誤認スル勿レ

問

天使聖人等ノ傳達ヲ請フヲ得ルヤ

答

請フヲ得ルナリシヤコブハ其兒曹ニ福ヲ下ス爲ニ天使ニ祈リテ其傳達ヲ請ヘリ(創世紀四十八章十六節)先知者オゼーノ書ニシヤコブハ天使ニ對シ且泣キ且祈リテ云ハク彼等ヲシテ我名及我祖アブ

ラハームイザークノ名ヲ呼バシメソナチオゼー書十二章四節)ト聖ヨアンハ其默示錄ニ曰ク我願フ昔在リ今在リ後在ル所ノ者其位前ニ在ル七靈ニ由テ爾ヲ恩寵平康ヲ獲ソナト(默示錄一章四節)エリフアースハシヨーブニ對シ爾呼デ以テ誰人ガ爾ニ答フルヲ視ヨ而シテ聖人ヲ顧面セヨト云ヘリ(ヨシヨーブ書五章一節)ニ由テ之ヲ觀レバシヨーブハ常ニ聖人ノ援助ヲ請ヒシ者ナルヲ知ル

問

足下尙之ニ附帶スル明証ヲ提出スルヲ得ルヤ

答

地上ニ在ル信徒ハ天主ニ在ル天使聖人ト等シク是レ耶穌基督ニ一躰タリ故ニ相互ニ通功セザルテ得ズ聖パウロガ若シ一肢苦ヲ受クレバ諸肢同シク樂ムトイヒシハ正ニ之ヲ指シタルモノナリ(コラインチイヤン人ニ達スル前書十二章二十六節)

問

聖パウロガコロシイヤン人ニ誰人モ天使ノ崇拜ニ由テ爾ガ賞ヲ

奪バザレトイヒシハ是天使ヲ崇拜スルヲ擬議セシ書ニアラズヤ
(二章十八節)

答 聖パウロガ此言ヲナセシハ當時天使ヲ以テ基督ニ優ルノ神トナシ
シ天主ト人トノ幫助者ナリトシテ之ヲ拜セシヲ以テ其異教ニ流ル
ノ害ヲ擬議セシナリ是ヲ以テ足下知ルベシ公教會ガ天使聖人ニ就
テ教ユル所ハ聖パウロガ擬議セシ異教ノ教ト天地懸隔スルヲチ

問 「プロテスタン」徒中有識ノ者ハ足下ガ前ニ述ベラレタル公教會ノ
解釋ヲ眞誠ナル解釋ト信ズルヤ

答 オグスブールノ教旨第二十一條及ピスイツル國「プロテスタン」徒
ノ教旨第五條ニ天使聖人ニ對スルノ尊敬ハ天主ニ對スル尊敬ノ下
ニ位ストアリ又マクドブール歴史家ノ言ニ聖人ノ名ヲ呼稱シテ其
傳達ヲ請ヒシヨハ紀元三百年代ニ於テ已ニ之ヲ施行セリトアリ

問 此事項ニ對スルリユテールノ言ハ如何

答 リユテールノ言ニ我レハ公教會ト偕ニ成リ聖人ヲ敬シ且其名ヲ
呼唱シテ請願スト又誰モ聖マリヤ及聖人ニ請願スルヲ怠ラザレ
蓋聖マリヤ及聖人等ハ我等ノ爲メニ傳達スレバナリトイヘリ

第十六章 畫像遺物巡拜ノ

第一項

畫像ノ

問 畫像ハ何ノ用ニ供スルヤ

答 其用三アリ一ハ聖殿ヲ飾ルタメニハ不學ノ徒ニ示導スル爲メニ
ハ信徒ノ信心ヲ増加スル爲メナリ

問 公教人ハ畫像ヲ拜スルヤ

答 否公教人ハ決シテ畫像ヲ拜セズ唯ダ天主ノミヲ拜スルナリ

問 公教人ハ畫像ニ其請願ヲナスヤ

答 否公教人ハ一人トシテ斯ノ如キヲナサズ亦心頭ニ掛ケザルナリ公教人ハ畫像ヨリ聖寵ヲ蒙ルノ思念ナク又聖寵援助等ヲ畫像ニ請願セザルナリ

問 畫像ニ對スル公教會ノ教旨ハ如何

答 トラエントノ會議ニ於テ明言スルアリ曰ク我等畫像ヲ敬スル所以ノモノハ其畫像ニ功德アリトイフニアラズ其表スル所ノ者ヲ敬スルガ爲メナリト是レ則チ畫像ヲ敬セズ畫像ノ本源タル者ヲ敬スルノ言ナリ故ニ我等ガ耶穌基督ヲ表スル聖畫ノ前ニ於テ帽ヲ脱シ若クハ跪坐スルハ是畫ケル耶穌基督ヲ敬シ且拜スルモノニシテ其畫ヲ拜敬スルニアラザルナリ

問 天主ハ畫像ヲ造リ之ヲ用ユルヲ禁止シ給ハザリシヤ

答 單ニ眞神ノ如ク之ヲ拜スルヲ禁止シ給ヘリ其誠ニ爾デ俯伏シ

テ之ヲ拜スル勿レ亦之レニ仕フル勿レトアリ(出埃及紀二十章五節)

問 天主ハ奇靈ヲ顯示スル爲メ像ヲ用ヒ給ヒシニアラズヤ

答 然リ民數紀第二十一章八節ニ天主ハモイゼスニ向ヒ爾デ金蛇ヲ造リ高ク懸クルヲ旗ノ如クセヨ誰人モ蛇ニ嚙マシタル後之ヲ視ルモノハ生ントアリ又同章九節ニ此蛇ヲ以テ天主ガ奇靈ヲ顯示シタマヒシヲ記セリ

問 「プロテスタン」徒ハ何故ニ畫像等ヲ以テ聖殿ヲ粧飾セズ單ニ他ノ

邸宅若クハ堂宇等ヲ壯麗ニスルヤ

答 其宗教ハ肉躰ニ係ル此世ノ宗教ナルヲ以テナリ彼ノ徒ハ勉メテ之ヲ節減スルヲ以テ天國ノ榮果ヲ得ルモノナリト自認シ天主ニ對スベキ光榮ヲ捨テ專ラ其身若クハ世人ノ爲ニシ天主ノ聖殿ヲ粧飾

スルノ資財アルモ之ヲ換用シテ以テ其妻子等驕奢ノ爲メニ浪費スルモノナリ

第二項

遺物ノ一

問 公教人ハ聖人ノ遺物ヲ如何ニ敬スルヤ

答 公教人ハ聖人ノ傳達通功ヲ得ル爲メ且其功德ヲ忘レザルガ爲メニ其遺物ヲ保存シテ之ヲ敬スルナリ

問 當初ノ公教信徒ハ遺物ヲ敬セシヤ

答 固ヨリ之ヲ敬シタルヲ以テ今ニ至ル迄傳來スルナリ

問 此點ニ就テ聖オグスチノ言ハ如何

答 聖オグスチノガグインテウスニ贈リタル書ニ我レ足下ニ聖エチイエンヌノ遺物ヲ贈與ス足下之ニ對スルノ敬ヲナセトアリ又聖エ

ロモニヤハ一書冊ヲ著ハシ當初遺物ヲ敬スルヲ拒ミシウイジランスノ説ヲ駁セリ

問 遺物ハ何等ノ奇徳アリヤ

答 遺物ニ奇徳アルニアラズ只天主ガ屢々遺物ニ由リテ聖跡ヲ顯シ給ヒシノミ

問 公教人ハ遺物ヲ拜スルヤ

答 否之ヲ拜スレバ則チ異端ナリ公教人ハ之ヲ拜スルノミナラズ却テ畫像若クハ遺物ニ請願シ或ハ之ヲ神ノ如ク拜スル者ヲ呼デ詛ヲ受ケタルモノトナスナリ

問 天主ハ遺物ヲ敬シ遺物ニ由リテ驚愕スベキ奇跡ヲ顯ハシ給ヒシニアラズヤ

答 然リ遺物ニ由リテ奇跡ヲ顯シ給ヒシコトアリ彼ノシユルダン河ガ

頓ニ其流ヲ止メ徒歩シテ之ヲ渡リ其足ヲ濕ザリシハエリゼガエリ
一ノ上衣ヲ以テ其水ヲ打シニ依ルナリ(烈王紀第四書二章十四節)又
天主ハモイゼスノ杖ニ由テ偉大ナル奇靈ヲ顯シ給ヒ(出埃及紀七章
十節)又烈王紀第四書十三章二十一節ニエリゼノ骨ニ觸レテ以テ生
ヲ得タル死人アルヲ記セリ

問 新約書中全一ナル奇跡アラザリシヤ

答 數多アリ十二年來血漏ヲ患ヒタル一婦人救世主ノ衣裾ヲ捫リテ
以テ全愈セシヲアリ(聖マテヤ傳九章二十節)其他救世主ノ衣裾ヲ捫
スル者ハ悉ク其病平愈セシヲアルヲ記ス(聖マテヤ傳十四章三十六
節)又聖パウロノ躰ニ觸レタル巾若クハ襜衣ヲ取り之ヲ病者ニ加フ
レバ病ヲ愈ヤシ魔ヲ逐ヘリトアリ(宗徒行傳十九章十二節)殊ニ聖ペ
トロノ影病者或ハ魔ニ擊タレタル者等ヲ庇ヘハ皆愈ヘシヲ記セ

リ(宗徒行傳五章十五十六節)

問 足下ハ此等ノ事項ヲ如何ニ論決セラル、ヤ

答 「プロテスタン徒ハ諸聖ノ遺物ヲ敬セズ之ヲ蔑視シテ以テ自ラ其
聖書ノ真理ヲ辨知セザルヲ証表ス夫レ天主ガ之ヲ敬シ之ニ由テ
新舊約書中ニ記スルガ如ク奇靈ヲ顯シ給ヒシモノナレバ基督敎徒
タル者ハ必ズ之ヲ敬スベキモノナリ然ルニ之ヲ敬セズ却テ之ヲ蔑
視スル者ハ即チ天主ガ使用シ給ヒシ貴重ナル器具ヲ蔑視スル暴戻
ノ輩ナリ

第三項

巡拜ヲ論ズ

問 巡拜ハ救靈ニ益アリヤ

答 信心ヲ以テ巡拜ヲナスルハ諸ノ益アリ

問 天主ハ何レノ地何レノ所ニモ在サヅルナキニ特ニ其聖跡其他一方ノ場所ヲ指シテ巡拜スルノ理ハ如何

答 天主ハ在サヅル所ナシト雖モ特ニ信心ヲ増加鞏固ナラシムル所アリ譬ヘバ聖ペトロ聖パウロノ墳墓或ハベテレエームノ洞窟或ハ三度我主ノ掩祝ヲ受ケタルオリウ山及刑場等ノ如キハ即チ基督ガ世ニ勝チタル所ニシテ特ニ信心ヲ増加鞏固ナラシムル所ナリ

問 其古跡巡拜ヨリ生スル信心ハ如何

答 古跡ヲ巡拜スルモ罪人タル我等ヲシテ尤モ小心丹誠ヲ以テ祈禱ナサシム

問 基督教徒ヲシテ巡拜セシムルノ理由ハ尙他ニアリヤ

答 之アリ天主ハ特ニ其靈威ヲ示シ給フ所アリ乃チ聖人ノ墳墓聖母ノ聖像ヲ安置スル所ニ於テハ屢其愛憐ヲ垂レ給フ故ニ信徒ハ或ハ

天主ニ其厚恩ヲ謝シテ信心ヲ厚カラシメ或ハ身ニ必用ナル聖寵ヲ請フ爲メニ此ノ如キ聖所ニ巡拜スルナリ

問 天主ハ巡拜ヲナスベキヲ命ジ給ハズ其命ヲ給ハザルヲナシテ天主ヲ頌譽スルヲ得ルヤ

答 足下視ヨダウイドハ渴ニ堪ヘザリシモ人アリ冷水ヲ携ヘ來リシモダウイドハ飲マズ之ヲ天主ニ奉ケ以テ其身ヲ責メテ天主ヲ頌譽シ(烈王紀第二書二十三章十五節十七節)聖マリヤハ自ラ好シテ童貞トナリ以テ天主ヲ頌譽セリ是皆必シモ天主ノ命ズル所ニアラズ(ルカ傳一章三十四節)其レ此ノ如クナレバ基督信徒ガ巡拜ヲナシ天主ヲ頌譽スル固ヨリ天主ノ命ヲ給フ所ニアラザルモ天主ニ對スル其愛心ト信心ト益々厚カラシムルガ爲メナリ

第十七章 義人トナル

第一項

問 義者トナラシムルトハ如何ナルヲナイフヤ

答 我等チシテ天主ノ友トナラシムルノ聖寵ナリ

問 罪人ハ義人トナルノ聖寵ヲ蒙ムルヲ得ルヤ

答 罪人ハ其重罪ノ全ク消滅セザル間假令如何ナル善行アルモ其善

行ハ所謂死物トナリテ更ニ義人トナラシムルノ功ナキナリ

問 重罪ヲ犯シ其罪未ダ全ク消滅セザル間ハ義人トナルノ聖寵ヲ蒙

ムルヲ能ハザルノ理由ハ即チ公教會ノ教旨ナリヤ

答 然リトラエントノ會議ニ於テ義人トナル以前ノ善行及ビ信ハ假

令如何ナル善行如何ナル信ト雖モ義人トナルノ聖寵ヲ蒙ムル能ハ

ズト決定セリ

問 然ラハ罪人ハ如何ニシテ義人ト爲ルヲ得ルヤ

答 自己ノ功ニ因ラズ耶穌基督ガ世ノ罪ヲ贖ヒ其受難其死ヲ以テ我

等ト天主聖父トノ幫助者トナリ給ヒシ功德ニ因リテ天主ノ恩寵ヲ

受ケ始メテ義者トナルヲ得ルナリ

問 「プロテスタン」徒ガ公教人中罪人ト雖モ苟モ善行アルモ其罪ノ

赦免ヲ得ルトノ説ヲ唱フルモノアリトイフハ如何

答 此ノ如キ迷誤ノ説ヲナスハ單ニ公教ノ主旨ヲ明知スル能ハザル

ガ故ナリ

問 然レバ罪人ハ善行ヲナスモ義人トナルノ聖寵ヲ得ザルモノト確

定スルモ可ナリヤ

答 余足下ニ教エシ罪人が眞實ニ反省悔改シタル心ヨリ生ズル善行

ハ以テ義人トナラシムルヲ得ルト雖モ其善行タル單ニ自力ノミニ

依ルモ未ダ其聖寵ヲ蒙ムル能ハズト確定シテ可ナリ

問 信ハ罪人ヲ義者トナラシムルニ要川ナルヤ

答 信ハ其基礎ニシテ罪人ヲ義者トナラシムルニ尤モ必用ノモノナリ故ニ聖パウロハ信ナケレバ天主ノ悦ヲ受ケズトイヘリ(エブレヤ人ニ達スル書十一章六節)

問 然ラバ信ノミヲ以テ罪人ヲ義人トナラシムルニ足ルヤ

答 否足レリトセズ天主ハ義者トナラシムル聖寵ヲ下賜スルニ尙他ニ望ミ給フ所アリ乃チ罪人が天主ヲ恐ンテ之ヲ愛シ又之ニ倚頼シ其已ニ犯セル罪科ヲ悲ミ再ビ罪科ヲ犯サズト確心スルニ在ルナリ
問 此ノ如キハ義人トナラシムルニ欠クベカラザルノ要項ナルヤ將
タ義人ト爲ルノ功ヲ立シムルノ爲メ善行ナレト天主ガ命ヲ給フ所
ナルヤ

答 是ハ則チ最モ欠クベカラザルノ要項ニシテ此ノ如クナラザルヤ

ハ罪人ニ聖寵ヲ賜ヒ義人トナラシメ給ハザルナリ

問 此點ニ對スル聖書ノ格言ハ如何

答 復法テデカノローノノ四章二十九節ニ汝爾ガ天主ナル主ヲ探ムルキハ

之ヲ發見セシ益シ誠心ヨリ之ヲ探求シ信愛ヲ以テ之ヲ慕フキハ發見スルヲ得ベシトアリ又エゼシールノ書十八章二十一節ニ罪人ハ其犯シタル罪科ヲ悔改シ我が素行ヲ悛メ誠ヲ守リ禮義ヲ守リ孳々トシテ義ヲ爲スルハ則チ生テ得テ死セザルヘシトアリ又聖シヨアン傳(十五章十節十四節)ニ爾ガ我誠ヲ守ルキハ即チ我が愛ヲ失ハズ爾我が命ニ遵ガハ即チ我が友ナリトアリ

問 此聖書ノ格言ニ就テ如何ナル論決ヲ下スヤ

答 余之ヲ兩段ニ分ツ乃チ一ハ前ニ掲ゲシ必用ニシテ欠クベカラザルノ要項ヲ行ハザレバ罪人ニシテ義者トナルヲ得ズニハ信ノミ

ヲ以テ義者トナルニ足ラズト論決スルナリ

問 洗者聖シミアン云ハザリシヤ子(耶穌基督ヲ指ス)ヲ信ズル者ハ常
生ヲ得ルト

答 此言ハ單ニ信ノミトイヒタルニアラズ子ヲ信ズル者トアルハ則
チ子ガ救ユル事項命ズル事項ヲ悉ク信ズル者ハ常生ヲ得ルトノ意
ナリ

問 聖パウロ云ハザリシヤ人ハ法度ノ行爲ニ依ラズ信ニ依リテ義人
トナルナリト(ローマ)人ニ達スル書三章廿八節

答 法度トアルハ猶太教ノ法度ヲ指シタルモノニシテ基督教ノ法度
ヲ指シタル言ヒアラザルヲ証スル爲メ余ハ聖シヤコブノ言ヲ掲ゲ
ン其言ニ視ヨ信ハ其アブラハムノ行ト兼行ハレ其行ハ其信ヲ全
備セシム故ニ人ハ獨リ信ニ由ルノミヨアラズ乃チ行ニ由テ義ト稱ス

ルヲ得蓋身靈ナケレバ則チ死スルガ如ク信モ行ナケレバ亦死スト
アリ若シ足下ノ言ノ如クナラシメバ聖パウロハ聖シヤコブヲ駁ス
ルナリト言ハザルヲ得ズ豈ニ此ノ如キ理アラシヤ(シヤコブ書二章
二十二二十四二十六節)

問 聖パウロハ我等信ニ由リテ義者トナリ我主耶穌基督ニ頼リテ天
主ニ親ムトイヒシニアラズヤ(ローマ)人ニ達スル書五章一節

答 聖パウロハコラインチイヤン人ニ達スル書ニ(十三章一二節)我能
ク諸人ノ方言及天使ノ言ヲイフト雖モ若シ愛心ナケレバ銅ヲ鳴シ
鍍ヲ響カシムルガ如シ能ク山ヲ移スノ信アルモ愛心ナケレバ則チ
益ナシトイヒシヲ見レバ聖パウロガローマ)人ニ達スル書中信トア
ルハ單ニ信ノミヲ指スニアラズ即チ善行ヲ生セシムル愛心ノ信ヲ
指シタルヲ知ルベシ

問 「プロテスタン」徒ハ善行ハ信ヨリ生ゼザルヲ得ザルモノニシテ恰モ火ヨリ熱ヲ生シ日ヨリ光ヲ生ズルガ如シトノ説ヲ唱フルアリ此説ハ正當ナルヤ

答 否正當ナラズ聖シヨアンノ言ニ民ノ司ハ多ク彼ヲ信セシモフアリゼオ人ノ爲メニ之ヲ公言セザリシ蓋シ人ノ己レヲ榮スルヲ喜ブ「天主ノ己ヲ榮スルニ過レバナリト」(聖シヨアン傳十二章四十三節)アリ以テ「プロテスタン」徒ノ説ハ正當ナラザルヲ知ルベシ

第二項

功德ノ一

問 重罪ヲ犯シ其罪未ダ消滅セザル者ハ善行ヲ以テ天國ニ昇ルヲ得ルヤ

答 否義者トナル「ヲ」ヲ得ズ况ンヤ天國ニ入ル「ヲ」ヲ得ンヤ何ントナレ

バ重罪ノ未ダ消滅セザル以前ノ善行ハ死物ニシテ一ノ功德ヲ有セザレバナリ

問 聖寵ヲ享有スル者ハ天國ニ昇ルヲ得ルヤ

答 聖寵ヲ享有スル義人ハ善行ヲ以テ益其ノ光榮ノ増加ヲ得ト雖モ

其聖寵善行ノミニ依テ以テ無上ノ光榮ナル天國ニ入ルノ權利ヲ蒙

ル能ハザルナリ

問 然ラバ何ニ由テ天國ニ昇ル「ヲ」ヲ得ルヤ

答 天主ノ愛憐耶穌基督ノ功德ニ由リテ之ヲ得ルナリ蓋シ天主ハ其愛憐ニ依テ耶穌基督ヲ我が救世主我贖罪者トシテ下シ賜ヒ耶穌基督ノ苦痛及死ハ以テ我等ヲシテ天國ニ入ルヲ得ルノ身トナラシムルモノナレバナリ

問 何ヲ以テ義人ハ善行ニ由リテ天ニ於テ光榮ノ増加ヲ得ルトイフ

ヤ

答 聖書ニ載セタル如ク天國ハ我等ガ爲メナル褒賞ニシテ其褒賞ハ即チ功德ヨリ生ズレバナリ

問 聖書ノ言ハ如何

答 箴言ニ義者ノ播種ハ必ズ其褒賞ヲ得トアリ(十一章十八節)又我主ノ言ニ爾チ宜シク欣喜歡樂スベシ天ニ在リテ爾ガ得ル所ノ賞ハ大ナリト(マテヤ傳第五章十二節)聖ヨハコブノ言ニ試誘ノ艱チ忍ブ者ハ福アリ蓋試練ノ後チ必ズ生命ノ冕チ戴ク即チ主之チ愛スル者ニ許ス所ナリト(一章十二節)聖パウロノ言ニ我已ニ善キ戰ニ戰カヒ已ニ我ガ馳驟ノ程チ盡ス已ニ信チ守レリ今ニシテ後チ義ノ冕アリ我ガ爲メニ備藏ス主ハ即チ公義ノ審判者ナリ乃日ニ於テ必ズ之チ以テ我レニ賜フ(チモテニ達スル後書四章七八節)トアリ

問 「プロテスタン」徒ハ聖書中此等ノ格言チ非難スルニ何等ノ語チ以テスルヤ

答 聖書ノ理ニ基カズ又適切ナラザル言チ以テス然ルニ其徒中有識ノ者ハ公教人ト同一ノ教旨チ布ク即チオクスプールノ教旨ニ曰ク我宗ハ教ユルニ善行ハ今世ニ於テ靈肉上ノ褒賞ヲ受ケシメ來世ニ於テ靈上ノ賞ヲ受ケシムルヲ以テスト

問 然ラバ「プロテスタン」徒ハ何故功德善行上ニ就テ公教會チ攻撃スルヤ

答 是ハ乃チ單ニ公教ノ教旨チ知ラザルニ起因スルナリ

問 善行ハ其功德チ何レノ點ヨリ招クヤ

答 我等チシテ潔白トナラシムル聖寵ヨリ招クナリ

問 潔白トナラシムル聖寵ハ天主ノ賜モノナルヤ將タ我等固有ノモ

ノナルヤ

答 天主ノ賜モノナリ

問 此點ニ於ケル聖パウロノ言ハ如何

答 聖パウロノ言ニ天主ニ因ルノ愛ハ我等ニ賜フ所ノ聖神ニ由テ我等ノ心ニ灌溉ストアリ(ローマ人ニ達スル書五章五節)

問 潔白トナラシムル聖寵ノ功德ハ如何

答 天主ノ友天主ノ子トナラシムルノ功德ナリ

問 此聖寵ハ誰ノ功ニ依テ天主之ヲ賜フヤ

答 單ニ耶穌基督ノ功德ニ依リテ之ヲ賜フナリ

問 耶穌基督ノ功德ハ幾層ノカアリヤ

答 耶穌基督ノ功德ハ管ニ我等テ天國ニ達セシムルノミナラズ尙其聖寵ヲ以テ我等ヲシテ天國ノ最大ナル光榮ヲ得セシメ給ヘリ

問 我主ハ爾ヲ命ゼラル、所ヲ行フモ宜シク無益ノ僕ナリトイフベシト曰ハザリシヤ(リユカ傳十七章十節)

答 此言ハ我が公教ガ教ユル所ト毫モ違フコトナシ我等ハ如何ナル善行ヲナスモ其善行ハ天主固有ノ光榮ヲ増減スルコトナキヲ以テ則チ我等ハ天主ニ對シテハ無益ナル僕ナルモ我が身ニ對シテ論スルキハ其善行ハ天主ガ約シ給ヒシ賞ヲ蒙ラシムルヲ以テ必シモ無益ナル僕トナサバルナリ

問 天主ハ褒賞ヲ賜フコトヲ約セズシテ善行ヲ我等ニ命シ給フヲ得ルヤ

答 固ヨリ命シ給フコトヲ得ルナリ我等ハ天主ノ受造者ニシテ善行ヲナスノ起原タル聖寵ハ天主ノ掌中ニアリトラエントノ會議ニイヘラク人ニ對スル天主ノ恩寵ハ實ニ至大ニシテ天主ハ其賜モノヲシテ

我等ノ功德トナラシムルヲ欲シ給フナリト

問 我等自己ノ善行ヲ恃トスルモ可ナリヤ

答 トラエントノ會議ニイヘラク天主ハ基督教徒ガ自身ニ依頼シ若

クハ自ラ光榮ヲ得ルモノトシ天主ニ依頼セザルヲ禁ズト

問 然ラバプロテスタン^ト徒ガ公教人ヲ誅毀シテ公教人ハ自己ノ善行

ニ依頼スルナリトイヒシハ如何

答 彼徒ハ我公教人ノ言行ヲ知ラザルヲ以テ此言ヲナス故ニ我等ガ

彼徒ニ對スルノ答辨ハ耶穌基督ガ其身ヲ死刑ニ處シタルジユデア

人ノ爲メ天主ニ對シ父ヨ彼等ニ宥セ彼等其爲ス所ヲ知ラズト曰ヒ

シ例ニ倣ヒ亦彼徒ノ爲メ天主ニ祈ルノミ

第三項

償罪ノ

問 人ハ自力ヲ以テ其罪ヲ償フヲ得ルヤ

答 人モ天使モ重罪ニ至リテハ縱令ヒ一罪ナリ共自力ヲ以テ之ヲ償

フヲ得ズ

問 耶穌基督ノ成給ヒシ償ヲ我等ノ身ニ受ケシムルヲ得ルヤ

答 天主ノ恩寵ニ由テ我等ノ身ニ受ケシムルヲ得

問 如何ニシテ其恩寵ヲ受クルヤ

答 恩寵ヲ受クルノ道ニアリ其一ハ我等ガ荷ヘル有限罪若クハ無限

罰ノ全赦ヲ得タルキ其二ハ有限罰ノ全赦ヲ得終ラザルモ無限罰ノ

全赦ヲ得タルキトス

問 無限ノ罰有限ノ罰モ耶穌基督ノ償ヲ吾靈ニ受クルキハ全時ニ其

全赦ヲ得ルコアリヤ

答 然リ之ヲ得ルコアリ例ヘバ洗禮ヲ受領シ若クハ洗禮ヲ受領スル

覺悟アルトキハ総テノ罪科及罪科ヨリ生ズル諸ノ罰ヲモ赦サル、ナリ

問 縱然有限罰ノ赦ヲ得ザルモ罪科ヨリ生ズル無限ノ罰ハ赦サル、
トアリヤ

答 通例痛悔ノ秘跡ニ於テ赦サル、トアリ

問 罪科ト罰トハ同時ニ赦サル、コトアリヤ

答 通例アルトナシ蓋罪科及罪科ヨリ生ズル無限ノ罰ハ之ヲ赦スト
雖モ全赦ヲ與フニアラズシテ天主ハ有限罰ノ赦ヲ得ザラシメ給フ
トアレバナリ

問 請フ例ヲ掲ゲテ此點ヲ明示セヨ

答 ダウイドカ無限ノ罰ヲ受クベキ罪ヲ犯シタルキ先知者ナトタン
ハ其危険ノ境ニ在ルトナ知ラシメケルニダウイドハ大ニ其罪ヲ悔

ミ我ハ天主ニ向ツテ罪ヲ犯セリトイヒシカバナトタンハダウイト
ニ主ハ汝ガ罪ヲ消滅セリ汝死セシ然レモ汝ハ天主ノ敵ナシテ天主
ヲ罵詈侮辱セシムルノ道ヲ醸セシヲ以テ汝ニ生レタル嬰兒ハ死ス
ベシトイヘリ視ニ此言中無限ノ永罰ハ赦サレタルモ有限ノ罰ハ赦
サレズ遂ニダウイドハ其嬰兒ヲ失フニ至リシトテ是ハ乃チ罪科ト
罰ト全時ニ赦サレザルノ証ナリ(烈王記二書十二章)

問 聖書中他ノ格言ヲ余ニ示セ

答 烈王記第二書二十四章ニダウイドガ民數ノ調査ニ於テ我慢ノ罪
ヲ犯セシヤ天主ハ之ヲ赦スモ有限ノ罰トシテ或ハ七年間ノ饑饉或
ハ三月間敵前ニ逃走スト曰ヘリ加之先知者ガードハダウイドニ擅
チ設ケ主ニ祭品ヲ供スベキトテ命ゼリ

問 悔改者ハ天主ノ公義ヨリ來ル有限ノ罰ヲ赦サル、コトアリヤ

答 ダニエールノ書ニ之アリ其言ニ曰ク噫國王ヤ我忠告ヲ容レ施財
 ナ以テ王ノ罪ヲ贖ヒ貧者ヲ憐ムノ善行ヲ以テ不正ノ罪ヲ贖ヘヨト
 (ダニエール四章二十四節)我主ノ言ニモ施財セヨ以テ爾ニ不潔ナシ
 トアリ聖リユカ傳十一章四十一節此聖言ハ以テ有限ノ罪ヲ償フノ
 道アルヲ明証スルニ足ルナリ

第十八章

重罪及輕罪ノ一

問 重罪又ハ輕罪ナルモノハ如何

答 重罪ハ人ノ靈ニ常生ヲ失ヒ永苦ニ陥ラシムルナリ輕罪ハ靈ニ
 其救ヲ失ハシメザルモ義ト愛トヲ滅殺セシムルナリ

問 人ノ靈ニ常生ヲ失ハシムル罪ハ眞實コレアリヤ

答 之アリ其例ヲ聖書ヨリ引テ之ヲ示サンニマテヤ傳十九章十七節

ニ爾若シ聖ニ入ラント欲セバ則チ當ニ誠ヲ守ルベシトアリ又パウ
 ロウマ人ニ達スル書六章二十三節ニ罪ノ報酬ハ死ナリト又其コ
 ラインチヤン人ニ達スル前書六章九節十節ニ不義ノ人ハ神ノ國
 チ嗣クテ得ズ偶像ヲ拜スル者淫行スル者沉湎スル者等ハ神ノ國
 嗣クテ得ズトアリ

問 靈魂ニ全ク其救ヲ失ハシメザルノ罪科アリヤ

答 之アリ我主之ヲ明示シ給ヘリ其言ニ誰人モ故ナク其兄弟ニ怒ル
 者ハ必ズ審判ニ於テ罰ヲ受ク凡ソ其兄弟ヲ嘗リテ愚拙ト云フ者ハ
 必ズ公會ニ於テ其罰ヲ受ク凡ソ其兄弟ヲ嘗リテ狂妄ト云フ者ハ必
 ズ永苦ノ火ニ由テ罰セラルト(マテヤ傳五章二十二節)此ノ如ク耶穌
 基督ハ罪科ノ種類ヲ明示シ給フト雖モ其二種ヲ以テ靈魂ニ救ヲ失
 ハシメザルノ罪トシ一種ヲ永苦ニ陥ルノ罪トナシ給ヘリ

問 聖書中尙他ニ明証アリヤ

答 之アリ我主ノ言ニ替ニシテ相ル者ヨ爾ハ蝸ヲ吞ムヲ恐レ反テ
駝ヲ吞ムトアリマテヤ傳二十三二十四節此聖言ニ於テ耶穌基督ハ
罪科ノ輕重ヲ比較シ恰モ蝸ト駝トノ如ク區別アルヲ示シ給ヒシナ
リ

問 聖マテヤ傳十二章三十六節ニ凡ソ出ス所ノ空言ハ審判ノ日ニ於

テ必ズ之ヲ陳訴スヘシトアルハ何ゾヤ譯者曰ク此空言トハ十
誠中ノ虛言ニアラズ

答 空言トハ輕罪ニシテ重罪ニアラズ若シモ重罪ナリトセバ舌ナキ
ノ優ルニ如カズ若シモ空言ヲ以テ重罪トナシ永苦ニ陥ラシムル原
因ナリトセバ世ハ實ニ頼ムニ足ラザルナリ

問 箴言ニイハズヤ義人ハ日ニ七敗スト二十四章十六節

答 然リ此七敗ハ輕罪ヲ指シタルモノニシテ重罪ニアラス然ラザレ

バ何ゾ義人ト稱スルヨ得ン

問 足下ハエゼシイエールノ言ニ罪ヲ犯シタル靈ハ必ズ死ナント十
八章二十節アルヲ如何ニ思考セラルヤ

答 此言ハエゼシイエールガ先ニ陳述セル盜偷若クハ異端等ノ如キ
大罪ヲ指セシモノナリ

問 聖シヤコブハ其書第二章十節ニ人若シ全律法ヲ守テ其一ヲ犯セ
バ是レ全律法ヲ干スナリトイハザリシヤ

答 然リ此言ヤ同章十一節ニ於テ述ヘタル如ク人ヲ殺シ若クハ淫行
等ヲ指シタル犯罪ヲイフナリ

問 輕罪ニ對スル教父ノ言ハ如何

答 テルチユリヤンノ言ニ輕罪ハ日ニ干セル微罪ナリトイヒオリゼ
トスハ聖パウロガコラインチイヤン人ニ達スル前書第三章十二節

ニアル薪草ハ是レ輕小ノ罪ヲ指シタルモノニシテ瞬間ニ消滅スルモノニ比スルヲ得トイヒ而シテ聖エロモニヤハシヨウイニヤンガ罪科ニ輕重ナシト稱ニシ説ヲ擬議スル爲メマテヤ傳七章三節ニ我主ガ柱ト藁トノ譬喩ヲナシ給ヒシハ即チ自カラ柱ノ如キ重罪ヲ犯シテ他人ノ小罪ニ眼ヲ注ク所謂蝸ヲ吞ムヲ恐レテ駝ヲ吞ム者ヲ増シタルモノナリトノ言ヲ以テセリ

聖オグスナノ一ノ言ニ他人ニ對シ爲タル空言ニシテ些少ノ害トナラザルキハ是レ輕罪ナリ信徒ガ日ニ唱フル所ノ祈禱ハ日ニ干セル輕罪ヲ消滅ス蓋シ輕罪ハ義人ト雖モ尙之ヲ免ル、ヲ得ザルナリトアリ

第十九章

赦宥ノコ

問 何ヲ赦宥ト云フヤ

答 赦宥ハ啻ニ輕罪ヨリ生ズル有限ノ罰ヲ宥スノミナラズ尙重罪ヨリ生ズル無限罰ノ赦シテ得タル後ニ於テ尙償フベキ有限ノ罰ヲモ赦ス所ノモノヲ云フ

問 赦宥ニ依テ罪科ノ赦ヲ得ルヤ

答 罪科ハ單ニ洗禮及悔改ノ秘跡ニ依テ赦サル、コヲ得

問 教會ハ罪科ヨリ生ズル有限ノ罰ヲ赦スノ權アリヤ

答 罪科ヲ犯シタル人が眞實ニ改悟シタルト否トニヨリ教會ハ其罪人が天國ニ入ルノ妨ゲトナルベキ事項ヲ除クト除カザルトノ權アリ聖マテヤ傳ニ爾地ニ繫ク所ハ天ニ繫ギ爾地ニ釋ク所ハ天ニ釋カルトアル聖言ニ適應スルナリ(十八章十八節)此聖書ニ依テ罪科及ビ罪科ヨリ生ズル罰ニ付キ教會ハ罪人が善良ナル改悟ヲナスニ當テ

偏頗ナク公平ニ之ヲ釋スノ權利アルガユヘ即チ罪科ヨリ生スル有限ノ罰ヲ釋スヲ得ルヤ明カナリ

問 教會ニ於テ赦宥ヲナスハ古代ヨリノ傳來ナルヤ

答 教會創立ノ時ヨリ傳來スルモノナリ

問 請フ明瞭ナル証ヲ示セ

答 聖パウロハコライントノ背法者ニ其有限罰ノ赦ヲ與ヘタルキニ耶蘇基督ノ權力ニ依リ其前ニ於テ之ヲ赦スヲ公言セリ其言ニ我之ヲ赦ス者ハ實ニ爾曹ノ爲メ之ヲ基督ノ前ニ赦ストアリ(コラインチ一ヤンニ達スル後書二章十節)

問 有限ノ罰ハ常ニ今世ニ於テ受クルニ限ルモノナルヤ

答 今世又ハ煉獄ニ於テ之ヲ受ク若シ地上ニ在テ之カ赦ヲ得サレハ煉獄ニ於テ之ヲ償フ可キナリ

問 教會當初ノ教父等ハ赦宥若クハ有限ノ罰ニ就テ言フ所アリシヤ

答 之アリ聖シイフリヤンノ説ニ聖パウロノ如ク教會ノ司教ハ至聖ナル行者若クハ致命者ノ功德ニ依テ罪人ノ肉體ニ屬スルノ罰ヲ赦セリ蓋シ行者致命者ノ功德ハ至大ニシテ能ク他ノ人々ヲ佐理ス是ハ則チ聖パウロガコロシイヤン人ニ達スル書中我今爾カ爲メ苦ヲ受クルヲ樂ムト言ヒシニ因ルナリト云ヘリ

問 宗教會議ニ於テ此點ニ對シ決定シタルコトアリシヤ

答 紀元三百十四年アンシールニ開キタル會議ハ司教ニ罪人ノ所爲ヲ調査セシメタル後彼等ニ罰ノ酌量ヲ與ヘ若クハ償罪ノ期限ヲ延ブルコトヲ命ジタリ

問 足下ハ此決定ノ主旨ヲ如何ニ論定セラル、ヤ

答 我之ヲ論定ス教會ハ責身ニ屬スルノ罰ヲ赦スニ於テ有限ノ罰ヲ

モ赦スト

問 責身ニ属スル罰ト有限ノ罰トノ關係ハ如何

答 責身ニ属スル罰ハ罪科ヨリ生ズル有限ノ罰トシテ天主ノ教會ガ命ズル所ノモノナリ其罰ハ教會ガ之ヲ命ズルモ教會ハ天主ニ建ラレタル眞誠ノ教會ナルヲ以テ即チ天主ノ批准ニ係ルモノナリ之ヲ証スルニ我主ガ我ヲ遣スガ如ク我又爾ヲ遣ス爾地ニ繫ク所ハ天主ニ於テ繫ガル爾ニ聽ク者ハ則チ我ニ聽トノマヒシ言ヲ以テスルナリ

問 地上ニ於テ恣ニ罪ヲ犯スヲ許シ而シテ赦宥ヲ與フルノ權力ヲ有スル者アリヤ

答 罪ハ乃チ惡ナリ假令天主ト雖モ之ヲ許シ給フヲ得ンヤ

問 教皇ハ公教ニ對シテ有益ト認ムルトハ或ハ虚言ヲナシ或ハ偽摺ヲナシ或ハ残酷ヲ極メ或ハプロテスタント徒ヲ虐待スルヲ許スニ

アラズヤ

答 此ノ言ノ如キハ悉クプロテスタント徒ノ造言ニ係ル譏謗ナリ

第二十章 煉獄及祈禱ノ

第一項

舊約書ニ就テ煉獄ヲ論ズ

問 永苦ノ外尙ホ煉獄アルヲ如何ニ証スルヤ

答 之ヲ証スルニ一ハ舊約書ニ依リ二ハ新約書ニ依リ三ハ遺傳ニ依ルナリ

問 舊約書ヨリ如何ナル証ヲ引クヤ

答 マカベノ第二書十二章ニ死者ノ罪愆ノ祭ヲナサシムル爲メ武勇ナル將軍シユダガゼリユザレームニ銀壹万二千枚ヲ贈與セシメテ掲ケタル文ニ死者ノ爲メ祈ルハ潔ニシテ赦ヲ得セシムル道ナリ

トアリ

問 足下ハ此言ヲ如何ニ論定セラレ、ヤ

答 天堂ト永苦トノ間ニ尙償罪スベキ所アリト論定ス夫レ天堂ニ在ルノ靈魂ハ我等ノ祈禱ヲ要セズ永苦ニ在ルノ靈魂ハ祈禱ノ功ヲ受ケズ故ニ我等ノ祈禱ノ功ヲ受クベキ所ハ天ニアラズ永苦ニ非ザル中間ニ在リトイハザルヲ得ザルナリ

問 マカベノ書ハ天主ノ聖言ヲ含メル聖書ナリヤ

答 當初ノ聖書ニシテ聖オグスチノ言ニ天主ノ教會ハマカベノ書ヲ聖書トシテ之ヲ受理ストアリ

問 マカベノ後書ヲ著述セシ者文中誤謬アルヲ以テ宥恕セヨトイヒシニアラズヤ

答 然リ蓋シ文意ノ誤謬ニアラズ文章ノ拙劣ナルヲ咎ムル勿レト謙

遜セシノミ

第二項

新約書ニ就テ煉獄ヲ論ズ

問 請フ新約書ニ就テ煉獄ノアルヲ証セラレヨ

答 余聖マテヤ傳十二章三十二節ニ就テ其証ヲ引カン曰ク凡ソ言ヲ以テ人ノ子ヲ攻ムル者ハ之ヲ赦スベキモ惟言ヲ以テ聖神ヲ攻ムル者ハ今世及來世ニ於テモ赦サレズトアリ

問 此聖言ニ對スル聖オグスチノ言ハ如何

答 聖オグスチーハ來世ニ於テ赦サル、ノ罪科アリトイヘリ此ノ如ク解釋セザレバ聖書ノ意ハ其何ニ在ルヤヲ知ルヲ得ズ夫レ來世トハ天國ト永苦トヲ指スノ意ニアラズ何トナレバ罪科ハ天國ニ入ル可ラズ又永苦ハ罪科ノ爲メニ陷ル所ナレバ假令如何ナル苦痛ヲ

ナスモ遂ニ赦サル、ノ期ナケレバナリ故ニ天國ニアラズ永苦ニアラズ必ズヤ中間ノ所アリテ以テ罪科ノ赦ヲ得ルナリトイハザルヲ得ズ

問 聖パウロガコラインチイヤン人ニ達スル前書中如何ナル格言アリヤ

答 其言ニ曰ク火ハ各人ノ工顯ハル、爲メニ之ヲ試ム其工存スルモノハ賞ヲ受ケ其工焚ル、モノハ損ヲ受クト雖モ火ニ由テ赦ヲ得ト(三章十三節十五節)

問 足下此格言ノ真意ヲ如何ニ解釋セラル、ヤ

答 天國ニ於テハ罰モナク苦痛モナク火モアルコトナシ永苦ノ苦痛猛火ハ長ク消滅スルコトナキヲ以テ聖パウロガ火ニ由テ赦ヲ得ルト言ヒシハ則チ煉獄ノ言ナリト解釋スルナリ

問 聖パウロハ其フヒリビイヤン人ニ達スル書中如何ナル格言ヲナセシヤ

答 其言ニ曰ク天ニ在リ地ニアリ及地下ニアル者耶穌ノ名ヲ聞キ膝屈セザルナシト(二章十節)此言ヲ解釋スルニ聖パウロガ地下ニアル者トイヒシハ死人ノ躰ヲ指シタルニアラズ未ダ天國ニ入ラザル死者ノ靈魂ヲ指シタルノ言ニシテ其死者ノ靈魂トハ則チ永苦若クバ煉獄ニアルモノヲ指スノ意ナリ然ルニ永苦ニアル者ハ假令耶穌ノ名ヲ聞クトモ膝ヲ屈スルコトナケレバ永苦ノ靈魂ヲ指シタルモノニアラズ則チ天ニ在ラズ地ニ在ラズ永苦ニアラズ單ニ公教人が煉獄ト名ヅクル所ニアル靈魂ヲ指シタルナリ

問 聖シヨアンハ天國ニ就テ如何ナルコトヲナセシヤ

答 其言ニ不潔ノモノハ天國ニ入ルヲ得ズトイヘリ(黙示錄二十一章

二十七節

問 足下此言ヲ如何ニ解釋スルヤ

答 死後我等ノ靈魂ガ潔白トナル所アリト解釋ス何ントナレバ聖書ニ義人尙且日ニ七敗ストアルニアラズヤ而シテ天國ハ一毫モ潔カラザル者ノ入ルヲ得ザル所ナルヲ以テ義人ト雖モ必ズ其愆ノ償ヲナシタル後ニアラザレバ入ル能ハズ然レモ已ニ義人ナレバ永苦ニ陥ルモノニアラズ乃チ天國ニ入ラシムル爲メ其靈ヲ潔白ニスル所アリトイハザルヲ得ザレバナリ

問 聖書ニ曰ハズヤ樹ハ其斃ル、所ニ死スト

答 然リ此言ハ死シタル人ハ悉ク赦ヲ得或ハ赦ヲ得ザルトイフノ意ニシテ即チ審判ノ後チ我ハ天國ニ於テ常生ヲ得ルカ將タ永苦ニ陥ルカノ命運ヲ指シタルノ意ナリ

問 黙示録十四章十三節ニ主ニ属シテ死スル者ハ福アリ蓋シ其勞ニ息フベシトアル言ノ意ハ如何

答 此言ハ致命者及諸罪科ノ消滅ヲ得潔白トナリテ死スル者等ヲ指シタルノ意ニシテ此ノ如キ者ハ眞ニ主ニ属シテ死スルヲ得ルナリ

第三項

遺傳ニ就テ煉獄ヲ論ズ

問 他ニ煉獄ノアルヲ証明スル格言アリヤ

答 之アリ遺傳若クハ符合シタル教父等ノ格言是ナリ

問 往昔ノ人ハ煉獄アルヲ信ゼシヤ

答 然リ紀元二百五十三年ニ開會シタルカルターシユノ會議ハ死者ノ爲メ祈禱スルヲ批准シ紀元五百七十九年ニ開會ノシヤロンノ

會議及紀元八百二十九年ウオルムノ會議并ニトラエントノ會議ハ
同一ノ批准ヲナセリ

問 此点ニ於テ在昔教父等ノ説ハ符合スルヤ

答 然リ余其一ニテ掲ゲンニ聖エフレームハ死後其靈ノ安息ノ爲メ
祈レト遺命シコンスタンチン帝ハ死後救靈ノ爲メ信徒等ガ其祈禱
ヲ怠ラザルヲ欲シ聖殿ニ其死骸ヲ埋ムベシト遺命セリ聖キリヅス
トイモノ言ニ生キタル者ノ涙ハ死者ノ爲メニ功ナキニアラズ且祈
禱及施財ハ死者ノ靈ニ益スト聖エロモニヤガパンマシイウスニ
贈リタル書中ニ婦人ノ墓ニ花ヲ挿ムハ從來ノ習慣ナルニ足下ガ亡
妻ノ靈ヲ慰ム爲メ墓ニ挿ムニ花ヲ以テセズシテ施財ヲ以テセシハ
實ニ善良ノ所爲ナリト云ヘリ聖オグスチーノ言ニ人我が亡母ノ爲
メ彌撒聖祭ヲ施行セラレタルニ余ハ其執祭中一滴ノ涙ヲモ流サズ

リシト又詩三十七篇ヲ取り祈禱ヲナシテ曰ク主ヤ我ハ此世ニ於テ
潔白ヲ得來世ノ火ニ依テ靈魂ヲ潔白ニナスコトヲ免カレシメヨト
其異教論ト題スル書ニ曰ク死人ノ爲メ祈禱及彌撒祭ヲ執行スルヲ
要セズト教ヘシ者ハ「アリウース」ヲ以テ初メトス然ルニ「アリウース」
ガ此教旨タル五十三回ノ異教ナリト

問 教會ハ往昔ニ在リテモ死者ノ爲メ祈禱セシトアルヲ以テ煉獄亦
之アリト確言スルヲ得ルヤ

答 然リ教會ガ死者ノタメ祈禱セシハ死者ノ靈ノ在ル所ニ益アルコ
トヲ信ゼシヲ以テナリ而シテ其益ノ在ル所トハ煉獄ニアラズシテ他
ニ指ス所アラザルナリ

第二十一章 秘跡及洗禮ノ一

第一項

秘跡ノ總論ズ

問 何ニ依テ秘跡アルコトヲ証スルヤ

答 聖書及斷絶セザル教會ノ遺傳等ニ依テ之ヲ証スルナリ

問 聖書中何レノ條項ニ於テ七秘跡アルヲ掲グルヤ

答 聖書中我等ノ靈ニ聖寵ヲ蒙ラシムルノ道トシテ耶穌基督ハ無形

聖寵ノ有形ノ徴七件ヲ創設セリ其詳細ハ各秘跡ヲ論ズル片ニ於テ

之ヲ示サン譯者曰ク「グライース、アインウイジブル」ニシテ「ニユ、サエンシイブル」

意ナルモ守義妥當雅馴ナラサルヲ以テ
借リニ無形有形ノ語ヲ借テ之ヲ填補ス

問 七秘跡ノアルヲ信ズル者ハ其幾何ナリヤ

答 二億萬ノ公教人ハ勿論之ヲ信ズ其余數百年前ヨリ離教トナリシ

彼ノ希臘教徒モ亦之ヲ信ズ其數ハ六千七百万ナリ

問 足下其秘跡ヲ如何ニ論定セラル、ヤ

答 善良ナル基督教徒ハ一般ニ七秘跡ノアルコトヲ信ズ若シ新設ノ者

トセバ九百年ノ昔日ニ在リテ離教シタル希臘教徒ハ之ヲ信シ之ヲ

施行スルノ理ナシト論定スルナリ

問 「プロテスタン」徒ノ各派ハ秘跡ノ數ニ於テ互ニ一致符合スルヤ

答 否各派其見ヲ異ニシテ甲ハ二件ノ秘跡ヲ執行シ乙ハ四乃至五件

ノ秘跡ヲ執行シ又丙ハ三件ノ秘跡ヲ信ズ乃チオグスブル「プロテ

スタン」徒ノ教旨ニ悔改ハ其字義ニ適シタルノ秘跡ナリトイヘリ

問 此ノ如ク「プロテスタン」徒ノ各派ガ其說ヲ異ニスルノ點ニ就テ善

良ナル人ハ如何ナル論定ヲ下スベキヤ

答 「プロテスタン」徒ハ聖書ニ基ツカズ其徒ノ頽敗セル自說ヲ以テ其

宗派ヲ組織シタル者ナリト論定スベキナリ「プロテスタン」宗ノ創立

者ハ基督教ノ主旨ハ何等ノ要點ニ在ルヤチ毫モ心ニ問ハズ其徒ノ欲

スル所ノ主旨ハ如何ト心ニ問ヒ徒ラニ其意ニ適スル教ヲ組織スル
ヲ以テ朝ノ教ハ夕ノ教ト其要點ヲ異ニシ甲國ニ説ク所ハ乙國ニ説
ク所ト符合セズ然ル所以ノモノハ耶穌基督ノ教旨ニ依ラズシテ單
ニ時ト國ト人ノ恣慾トニ適應スルノ宗教ヲ組織スルガユヘナリ

第二項

洗禮ノ一

問 洗禮ヲ創設セシ主旨ハ如何

答 我等ヲシテ基督教信者トナリ此世ニ在テ魔王ノ奴トナルコト免
レ耶穌基督ニ一躰トナラシメ他ノ秘跡ヲ受ケシムルノ門ニシテ常
生ヲ得天國ニ嗣グコトヲ得セシムルガ爲メニ創設サレタルモノナリ

問 洗禮ハ眞誠ニ秘跡ノ一ナルヤ
答 然リ眞誠ナル秘跡ノ性質ヲ具有スルヲ以テナリ

問 洗禮ニ於テ有形ノ徴ハ如何

答 洗禮ヲ受クル者ノ頭ニ水ヲ注グト祭司ガ我レ聖父ト聖子ト聖神
トノ聖名ニ依リテ爾ヲ流フトノ語ハ即チ有形ノ徴ナリ

問 洗禮ニ於テ得ル所ノ無形ノ聖寵ハ如何

答 人ノ靈魂ヲ改良シ諸ノ罪科ヲ除去シ潔白ニシテ天主ノ子トナシ
教會ニ屬セシメ天國ノ嗣子トナラシムルノ聖寵ナリ

問 聖書中耶穌基督ガ創設シ給ヒシ洗禮ノ事跡ヲ明記シタル文ハ何
レニアリヤ

答 聖書中之ヲ掲載スル文尤多シ就中宗徒等ニ使命ヲ帶ハシメ給ヒ
シハマテヤ傳二十八章十九節ニアリ其言ニ(往テ萬民ニ教ヘ聖父聖
子聖神トノ名ニ依テ洗ヲ施セヨトアリ

問 聖書中洗禮ハ罪科ヲ赦ストノ明文アリヤ

答 之アリ宗徒行傳中聖ペトロノ言ニ爾各宜シク悔改シテ罪ノ赦ヲ得ルヲメ耶穌基督ノ名ヲ奉シテ洗禮ヲ受クベシトアリ(宗徒行傳二章三十八節)

問 洗禮ハ救靈ニ必要ナルヤ

答 然リ我主ノ言ニ我誠實ニ爾等ニ告ク人ハ水及聖神ニ由リテ再生スルニアラザレバ天主ノ國ニ上ル能ハズト(聖シヨアン傳三章五節)又信シテ洗ヲ受クル者ハ救ヲ得ルト(マルカ傳十六章十六節)アルヲ以テ救靈ニ必要ナルヲ知ルベシ

問 教會當初ノ教父等ハ嬰兒ニ洗禮ヲ授クベキヲ教ヘシヤ

答 尤モ明瞭ニ之レヲ教ヘリアテイス府司法官ノ一人ナル聖デニールハ紀元二百年代ニ於テ言ヘルヲアリ嬰兒ニ洗禮ヲ授クベキヲハ是乃チ宗徒ヨリ繼續セル遺傳ナリト聖イレネチモ同時代ノ人ナルガ其

言ニ曰ク(少者壯者老者ノ別ナク凡ソ耶穌基督ニ依テ再生スル者ハ悉ク救ヲ得ル)ト

オリゼーヌノ言ニ(嬰兒ニ洗禮ヲ授ルヲハ是レ宗徒ヨリ教會ニ傳來スル所ノ遺傳ナリ)ト紀元六百年代ニ生存セシ聖シイプリヤンハ言ニ(生レテ八日ヲ經ザル嬰兒ナルモ洗禮ヲ授クルコトハ獨リ我ノミニ止マラズ總會議ノ可トスル所ナリ)ト

問 「プロテスタン」徒ハ其宗旨ニ基クキハ嬰兒ニ洗禮ヲ授クベキ理ナキニアラズヤ

答 然リ余ハ其主旨ニ因ルトキハ嬰兒ノ洗禮ハ無益ナリト斷言ス

問 何故之ヲ無益ナリトイフヤ

答 然ル所以ノモノハ「プロテスタン」徒ノ主旨ハ誰人モ耶穌基督ニ信ナケレバ義者トナルヲ得ズトイフニアリ故ニ余ハ嬰兒ノ如キハ

固ヨリ信ヲ有スル能力ナキヲ以テ嬰兒ニ洗禮ヲ授クルハ其主旨ニ背反シテ無益ナルモノト斷言ス

問 尙他ニ其洗禮ノ妨トナルベキ事項アリヤ

答 之アリ彼徒ハ聖書中ニ掲ゲザルノ例ハ決シテ之ヲ採用セザルノ主旨ヲ守ルガユヘニ聖書中嬰兒ニ洗禮ヲ授ケタルノ明文ナキヲ以テ其洗禮ハ彼徒ノ主旨ニ反背スル妨ナリ元來聖書ハ遺傳ニ依ラズシテ解釋ヲ下セバ寧ロ嬰兒ニ洗禮ヲ授クルヲ排斥スルモノ、如シ何ントナレバ耶穌基督ハ其宗徒ヲ遣スル往テ萬民ニ教ヘヨト曰マヒ信ヲテ洗ヲ受クル者ハ救ヲ得ルトアルノ文意ヲ見レハ先教ヘテ然ル後洗禮ヲ授ケヨト主旨ト同一ニ解釋スルヲ以テナリ

問 公教人ハ何ニ由リテ嬰兒ニ洗禮ヲ授クベキヲ證スルヤ

答 公教人ハ之ヲ証スルニ單ニ自解ノ聖書ニ由ラズ則チ教會ニ繼續

セル遺傳ニ依テ解釋シタル聖書ニ據リ之ヲ証ス視ヨ教會ハ之ヲ宗徒ヨリ傳授シタルヲ以テ常ニ嬰兒ニ洗禮ヲ授クルヲ

第二十二章

堅振ノ一

問 何ヲ以テ堅振ヲ秘跡ノ一トスルヤ

答 無形聖寵ノ有形ノ徴ナルヲ以テナリ

問 堅振ノ秘跡ニ於テ有形ノ徴ハ如何

答 膏スルヲ司教ガ堅振ヲ受クル者ニ手ヲ接ズルヲ是ナリ

問 堅振ノ秘跡ニ於テ受クル所ノ無形ノ聖寵ハ如何

答 基督信徒タルノ信ヲ鞏固ナラシメ且確然ナラシムル聖神ノ聖寵是ナリ

問 聖書中何ノ章ニ於テ堅振アルヲ掲グルヤ

答 宗徒行傳ニ(八章十四節ヨリ十七節ニ至ル)サマリ人が天主ノ道ヲ

受クルノ後聖フイリイプヨリ洗禮ヲ受ケシキ宗徒等ハベトロトヲ
ヨアントヲ遣シテ之ニ就カシメ既ニ至リ彼ノ衆ノ爲メニ祈禱シタ
ルハ其聖神ヲ受ケシムルガ爲メナリ蓋シ聖神向ニ未ダ其上ニ臨マ
ズ唯主耶穌基督ノ名ヲ以テ洗禮ヲ受ケシメタルノミ故ニ二宗徒手
ヲ以テ衆ヲ按ヨタルニ衆途ニ聖神ヲ受ケタリトアリ是ニ由テ之ヲ
觀レバベトロヨアンノニ宗徒ガ手ヲ以テ衆ヲ按ゼシハ洗禮ヲ授
ケシニアラズ乃チ堅振ヲ授ケタルナリ何ントナレバサマリ人ハ向
ニ已ニ聖フヒリイプヨリ洗禮ヲ受ケタリトノ明言アレバナリ且教
會ノ証明ニ據ルキハ堅振ハ耶穌基督ノ創設ニ係ルヲ以テ宗徒等ガ
此時ニ於テ之ヲ授ケタルヲ知ルニ足ル

問 聖書中堅振ノ秘跡ト洗禮ト異ナル理由ヲ証スルノ明文アリヤ
答 之アリ聖パウロハ初ニエフエジヤン人ニ洗禮ヲ授ケ然シテ後

堅振ヲ授ケタリ宗徒行傳十九章五節六節ニ(彼衆之ヲ聞キ則チ主耶
穌ノ名ヲ以テ洗禮ヲ受ク而シテパウロ手ヲ其上ニ按ゼシキ聖神之
ニ臨メリト)アリ

問 宗徒等ガ此時手ヲ按ゼシハ時ニ有形ナル聖神ノ賜モノヲ授クル
ガ爲メニ行ヒタルモノニシテ當今ノ司教等ハ此權利ヲ有セズトイ
フヲ得ルヤ

答 否得ベカラズ蓋有形ナル聖神ノ賜モノ即チ學バザル語ヲ發シ若
クバ知ラザルヲ預言スル等ノ事跡ハ當初ノ宗徒ノ代ニ於テハ人
ヲ基督教徒ニ歸依ヒシムルニ必用ナリシ蓋此等ノ賜モノハ天主ガ
宗教ノ造主ナルヲ明証スレバナリ當今ニ至リ此等眞理ノ証跡ハ
已ニ數多アルヲ以テ特ニ奇徳ヲ要セズトイヘ已ニ當初ニ於テ奇
徳ト同時ニ信徒等ガ受ケシ所ノ聖寵ハ世ノ司權者ヨリ受クル所ノ

虐待ヲ免レントシテ教ヲ棄ツルヨリ寧ロ教ノ爲メ其身ヲ犠牲トナ
スヲ以テ榮トナサシメシ聖寵ニシテ是ハ則チ今モ猶往昔ニ異ラ
ズ未來モ猶現在ニ異ラズ何レノ時ヲ論ゼズ基督教徒ニ欠クベカラ
ザルノ聖寵ニシテ即チ堅振ノ秘跡ニ於テ受クル所ノモノナリ

問 此秘跡ニ就キプロテスタン^テ徒ニ忠告スベキ事項アリヤ

答 余ハ彼徒ニ忠告スルニ汝等始終聖書ニ頼ル^ヲヲ誇稱スルモ汝ガ
教徒中一二派ヲ除クノ外堅振ノ秘跡ヲ執行スル^ヲナシ何故ニ宗徒
ノ例ニ倣ヒ洗禮ヲ受ケタルモノ、上ニ手ヲ按セザルヤ^ノヲ以テ
センノミ

問 教會ガ當初施行シタル規程ニ堅振ノ秘跡アル^ヲヲ証スルノ事項
アリヤ

答 之アリ聖シイプリヤン^ノ言ニ(肉體ニ有形ノ聖膏ヲ膏スルハ靈魂

ハ已ニ聖神ノ無形ノ所爲ニ由テ潔トナサル、ナリ)トアリ

聖オグスチー^ノ言ニ(聖膏ノ秘跡ハ潔ナルノ点ニ於テハ洗禮ニモ歩
ヲ讓ラズ)トイヘリ

紀元二百年代ニ生存セシ聖クレメント^ハ(誰人モ宜ク速カニ堅振ニ
依テ聖神ノ七賜ヲ受ケザルベカラズ)トイヘリ

聖デニ^ノ言ニ(肉體ニ施ス所ノ膏徴ハ之ヲ膏スト同時ニ聖神ヲ降
臨セシム)トアルチユリヤン^ノ言ニ(肉體ニ膏徴スルハ靈魂ヲ潔白ト
ナスガ爲メナリ)手ヲ肉體ニ按ズルハ其靈魂ガ天主ノ聖神ニ照輝セ
ラル、ガ爲メナリ)トアリ

問 然レバプロテスタン^テ徒ガ堅振ノ秘跡ヲ放棄スルハ是レ其我慢ニ
出ルニアラズヤ

答 然リ單ニ我慢ノミニ止マラズ彼徒ガ聖書ヲ誦讀スルハ書中ノ真

理ニ心服シテ之ヲ守ルガ爲メニアラズ其意ニ適スルノ條項ハ之ヲ
取リ適セザルノ條項ハ之ヲ棄ツルニアリ故ニ堅振ノ秘跡ヲ放棄セ
シハ是レ堅振ヲ授クルノ司教ヲ有セザルニ起因スルナリ

問 然ルニ亦堅振ノ禮式ヲ保有スル「プロテスタン」徒アルニアラズヤ
答 之アリト雖モ其數ハ實ニ僅少ナリ現ニ彼ノ「アングリカン」派ノ如
キ之ヲ保有スルモ其禮ニ至テハ悉ク之ヲ放棄スルヲ以テ畢竟數
ルニ足ラザルモノナリ

第二十三章 聖體秘跡ノ一

第一項

聖體現在ノ一ヲ論ズ

問 聖體ノ秘跡ハ之ヲ秘跡トナスヲ得ルヤ

答 固ヨリ一ノ秘跡ニシテ基督ニ奉事スルモノ之ヲ信認セザルナシ

問 此秘跡ニ於テ有形ノ徴ハ如何

答 降臨後ノ餅及葡萄酒ノ外相ハ是レ有形ノ徴ニシテ則チ其外相ニ

於テ我等ハ救世主ヲ我靈ニ受領スルナリ

問 此秘跡ニ於ケル無形ノ聖寵ハ如何

答 此秘跡ニ於ケル無形ノ聖寵ハ則チ諸聖寵ノ源ナル我主耶穌基督

ノ血肉ナリ

問 耶穌基督ガ此秘跡ヲ創設シ給ヒシトノ証跡ハ何レニアルヤ

答 「聖リユカ傳福音書中ニアリ其言ニ曰ク(餅ヲ取り祝謝シ之ヲ擘キ
之ヲ其門弟ニ與テ曰ク此ハ乃チ我が身ナリ爾宜シク之ヲ行フテ以
テ我ヲ記セヨト餐後亦爵ヲ取リ之ニ言テ曰ク是ハ則チ新約ノ爵ナ
リ我が血ハ爾ニ代リテ流サル、ナリト)「リユカ傳二十二章十九節」

問 此秘跡ニ就テ公教會ノ信ズル所ハ如何

答 眞誠ナル天主眞誠ノ人ナル吾主耶穌基督ハ祭司ガ降臨ノ言ヲ唱ヘタル後ニ於テ眞誠誠實ニ餅ト葡萄酒ノ外相ニアリ而シテ餅ト葡萄酒ハ其質ヲ變シテ耶穌基督ノ血肉トナルナリ蓋其血肉ハ基督ガ地ニ在セシ如キノ血肉ニアラズ則チ天ニ在シマス如キノ光榮且死セザルノ血肉ナリト信ズルナリ

問 何ヲ以テ光榮且死セザルノ血肉トナスヤ

答 光榮且死セザルノ血肉トハ則チ聖パウロガ血氣ニ屬スルノ躰ヲ播種シ靈ニ屬スルノ躰ヲ生ゼシム蓋シ血氣ニ屬スルノ躰アレバ乃チ靈ニ屬スルノ躰アレバナリトイヒシ躰ヲ指スナリ(コラインチイヤン人ニ達スル前書十五章四十四節)

問 希臘教徒ハ此點ニ於テ公教人ト其信ヲ同フスルヤ

答 然リ該教中七人ノ司教ガ手記シタル教旨ニ曰ク第一十字架ニ磔

セラレ天ニ昇リ父ノ右ニ座セル耶穌基督ハ毫モ其相ヲ變セズ聖躰ノ中ニ在シマスナリト第二ニ餅及葡萄酒ハ一タビ祭司ノ祈禱及降臨ノ唱ヲ經ルノ後ハ直チニ耶穌基督ノ眞誠ナル血眞誠ナル躰ニ變シ假令其形狀ハ餅酒ニ異ナラザルモ是ハ則チ外相ノミナリト第三ニ聖躰ノ秘跡ハ耶穌基督ノ創設ニ係リ生者死者ノ爲メニ有益ニシテ宗徒ヨリ傳來スト第四ニ耶穌基督ノ躰ハ之ヲ凡人ノ血肉トセズシテ受クベキノ功アル者受クベキノ功ナキ者モ等シク之ヲ食スルコトヲ得ルト雖モ只受クベキ功アル者ハ之ヲ救靈ノ爲メニシ功ナクシテ受クル者ハ永苦ニ陷ルノ基ヲナス蓋耶穌基督ハ聖躰ノ秘跡ニ於テ血ヲ流サズシテ犧牲トナリ又天主トシテ拜セラレ給フナリトアリ

問 カルワイン徒中クロードハ此教旨ヲ見テ大ニ其心ヲ惱マセシコ

アラザリシヤ

答 之アリ大ニ其心ヲ惱シ爲メニ希臘教會ニ書ヲ贈リ疑團ノ件ヲ質議セシニ希臘教會ハ千六百七十二年五月二十四日ヲ以テ其答辨書ヲ贈リタリ其書ハ余ガ前ニ記セシ聖體ニ對スル希臘教會ノ信ズル所ヲ益ス鞏固ナラシムルモノナリ

問 聖體ニ就テリユテールハ如何ナル言ヲナセシヤ

答 リユテールノ言ニ(耶穌基督ガ聖體ノ秘跡ニ現在スルノ項ニ對シ余ガ其排斥ヲ試ミシハ數回ナルモ遂ニ其功ヲ奏セズ蓋此項ニ對シ聖書ニ載スル所ノ言ハ實ニ明瞭ニシテ敢テ一毫モ其意ヲ附會スルコト能ハザルヲ以テ余ガ企圖モ水泡ニ屬セリ到底余ハ此排斥論ニ余ガ精神ヲ折服セシムルコト得ザリシト又曰ク(聖體ノ秘跡ニ現在スルノ項ヲ排斥スルハ天主ヲ眞誠ナラザルモノトイフガ如ク實ニ言

フニ忍ビザル罵詈蔑聖ナリト又之ヲ排斥スル者ヲ指シテ一塊ノ無賴惡漢ナリト評セリ

問 此秘跡ニ就テアングリガン教會ガ教ユル所ハ如何

答 其教ユル所明瞭ナラザルヲ以テ之ヲ論ズルニ甚ダ難シト雖モ該教會ノ訓蒙者等ガ教ユル所ヲ論ズルニ其教旨ハ公教會ニ於テ教ユル所ヲ保有スルヲ知ル則チ其教理問答ニ信徒ガ受領スル所ノモノハ眞誠ナル耶穌基督ノ身及血ナリトノ文アリ

問 然ルニプロテスタン徒ノ訓蒙者等ハ皆聖體中ニ耶穌基督ガ現在スルノ教ヲ排斥スルモノニアラズヤ

答 必ズシモ皆ヲ排斥スルモノニアラズ彼徒中尤モ有名ナル者等ハ此教旨ヲ保守ス世ニ其名ヲ轟シタル彼ノレイブニ如キハ其言ニ潔白ナル往昔ヲ考フルトハ餅ガ耶穌基督ノ身ニ化シ酒ガ其血ニ變

スルノ明カナルヲ知ル而シテローマ教徒ハ此變化ヲトランス
スタンシイヤイヨン餅酒ガ耶穌基督ノ肉血ニ變化ノ意ト名ツケシハ實ニ其當ヲ得タ
ルモノナリト又曰ク此點ニ就テ聖書ノ解釋ハ則チ遺傳ノ守護者ナ
ル教會ガ傳授スル所ノ遺傳ニ因ラザルベカラズト

千七百年代ニ生存セシグロチウスノ言ニギリシヤローマアラビイ
ヤシイリヤ等ノ教ノ禮式ヲ見ルキハ何レモ天主ガ其聖神ニ依リテ
人ノ祭品ヲ聖トナシ耶穌基督ノ軀トナシ給ハンコト願フノ祈禱ア
リ此教旨ハ基督教草創ノ時ヨリ傳來シタルモノニシテ決シテ中古
ニ於テ此教旨ノ變セシコトナキハ余ガ確心ヲ以テ信ズル所ナリトイ
ヘリ

オクスフォールドノプロテスタント宗ノ司教バルケモグロチウスニ
等シキ言ヲナセリ曰ク凡ソ宗教學ニ志ス者ハ往昔ヨリ數多ノ教父

等ガ耶穌基督ノ聖體秘跡ニ現在シ給フコト確實明瞭ニ論述セン事
項ヲ知ラザルベカラズト余ハ此言ニ對シ更ニ說ヲ加ヘテイフ英國
派プロテスタント宗ノ司教中尤モ博識ナル者等ハ此點ニ於テ孰レモ
其意ヲ同フスト又今ノ英國プロテスタント教會ノ過半ハ此點ニ於テ
公教人ト同一ナル教旨ヲ信ズルナリ

問 耶穌基督ガ聖軀ノ秘跡ニ現在シ給フトノ教旨ニ對スル足下ノ論
定ハ如何

答 公教會ガ教ユル所ノ教旨ノ一分タル此項ハ基督教徒ノ名ニ背カ
ザル者等ガ悉ク信ズル所ナリ而シテ之ヲ排斥スル者ハ何レモ自說
ニ甘ズル不學ノ徒ニシテ其數甚ダ僅少ニシテ公教會ノ教旨ハ確實
高尙ナルコトヲ信ズル者其數甚ダ多キヲ見レバ此項ハ實ニ遺傳ニ依
ルノミナラズ直チニ聖書中明記セル聖書ニ依ルコトヲ証スルニ足ル

ナリト論決ス

第二項

聖跡ノ秘跡ニ對スル聖約

問 耶穌基督ハ聖體ノ秘跡ヲ創設スル前ニ於テ之ニ對シテ約シ給ヒシコアリヤ

答 之アリ眞ニ明瞭ナル約束ナシ給ヘリ其言ハ聖シヨアン傳福音書ノ第六章ニアリ

問 聖シヨアン傳福音書第六章ハ聖跡ノ秘跡ニ關係アルモノナルヤ
答 然リ其關係ハ實ニ明瞭ニシテ執拗ナル數多ノ「プロテスタン」徒モ遂ニ一言ノ説ヲ附會スル能ハザルナリ

問 此章ノ初ニ於テ眼ヲ注クベキノ點ハ如何

答 耶穌基督ガ僅々五個ノ麥餅二尾ノ魚ヲ以テ五千人ニ食ハシメ給

ヒシ奇跡是ナリ是ハ乃チ耶穌基督ガ後來其肉其血ヲ以テ信徒ニ食セシメ給フベキ聖體秘跡ノ前徴ナリ

問 シユデヤ人ハ耶穌基督ノ教旨ヲ聽ク前ニ在テ已ニ救世主ガモイゼスノ如ク天ヨリ降レル餅ヲ食セシムルヲ知リシコアラズヤ

答 然リ耶穌基督ノ降世ヨリ僅カニ後レシユデヤ人ガ著シタル一書中ニモイゼスノ功德ニヨリ天ヨリ「マン」ナチ降ラシメタルガ如ク後來降臨スヘキ救世主タル徴ノ一トシテ天ヨリ餅ヲ携帯スベシトアリダウイドキムシナル者ノ説ニ依レバ基督教草創ノ時ニ生存セシ數多ノシユデヤ國訓蒙者ハ先知者オゼーノ言ニ基キ(十四章八節)聖體ニ等シキ奇跡ヲ待ガ如クナリシ即チダウイドキムシノ言ニシユデヤノ訓蒙者等ハ救世主ナル基督ガ降臨ノ日ニ於テハ小麥中ニ於テ變化アルベシトアリ

問 耶穌基督亦自カラジコテヤ人ノ此信ニ符合スルノ言ヲナシ給ヒシヤ

答 然リ其言ニ我誠實ニ爾等ニ告グモイゼスハ天ヨリ來ルノ餅ヲ以テ爾等ニ與ヘズ我父ハ天ヨリ來ルノ眞ノ餅ヲ以テ爾等ニ賜フト(聖ヨヨアン傳第六章三十二節)アリ

問 耶穌基督ガイヒ給ヒシ天ヨリ來ルノ餅トハ何ヲ指シタルノ意カ
答 其身ヲ指シタルノ意ニシテ我ハ乃チ生命ノ餅ナリトアルヲ以テ知ルベシ(聖ヨヨアン傳第六章三十五節)

問 耶穌基督ハ(我誠實ニ爾ニ告グ我ヲ信ズル者ハ永生アリ)トノ言ヲナシ給ヒシ後尙何ヲカイヒ給ヒシヤ

答 其後又我ハ乃チ生命ノ餅ナリトイヒ給ヘリ(同章四十八節)
問 耶穌基督ハ其賜フ所ノ餅ハ「マ」トナニ優ル即チ「プロテスタン」宗ノ

聖體ト稱スル餅酒ニ優ルヲ示シ給ヒシヤ

答 然リ其言ニ爾等ノ祖ハ野ニ在リテ「マ」トナチ食スルモ亦死セリ此ニアルハ是レ乃チ天ヨリ降ルノ餅ナリ之ヲ食フ者ハ死セズト曰ヘリ(聖ヨヨアン傳第六章四十九節五十節)

問 耶穌基督ハ僅々五餅ヲ以テ五千ノ聽衆ニ食セシメ又其身ハ乃チ天ヨリ降ルノ餅ナルヲチイヒタル後チ聽衆ニ確固タル信ヲ有スベキヲ教ヘ尙如何ナル格言ヲ以テ聖身ハ其餅ナルヲチ明カニ示シ給ヒシヤ

答 耶穌基督ハ其身ノ餅ナルヲチ明示シ我が賜ハントスル所ノ餅ハ即チ我ノ肉我ノ世ノ生命ノ爲メ將ニ捐ントスルモノナリト曰マヘリ(同章五十二節)

問 シユデヤ人ハ此聖言ニ就テ如何ナル言ヲナセシヤ

答 彼等ハ此聖言ニ縁テ互ニ相争フテイヘラク(此人豈能ク其肉ヲ以テ我等ニ賜フテ食ハシメンヤ)ト(同五十三節)現今ノ信ナキ「プロテスタント」徒モ亦「ユデア」人ニ等シキ疑問ヲ抱キ如何ニシテモ此等ノコトヲ作シ得ベケンヤトイフナリ斯ノ如キハ世ヲ造リモイセスノ杖ヲ蛇ニ化シ水ヲ血ニ變シカナ「ノ」婚宴ニ於テ水ヲ葡萄酒ニ化シ五餅ヲ以テ五千人ニ食セシメタル全能ノ天主ニ對シ至大ノ罵詈蔑視トイハズシテ何ゾヤ

問 耶穌基督ガ曰マフトコロノ餅ト葡萄酒トヲシテ通常ノ酵餅通常ノ葡萄酒ヲラシメシメニハ耶穌基督ハ「ユデア」人等ガ其聖言ヲ信セザリシヲ以テ必ラズ之ガ解釋ヲナシ給ヒシナラン如何

答 果シテ其肉血ヲ指スニアラザレバ吾主ハ他ノ場合ニ於テ解釋シタマヒシ如ク必ラズ之ヲ解釋シテ其賜ハントスル餅ト葡萄酒ハ其

肉血ノ譬喩ナリトノタマイシヤ明カナリ

問 然ラバ耶穌基督ハ此言ヲナシ給ヒシヤ

答 否譬喩ニアラザルヲ以テ此言ヲナシ給ハズ反テ明言シテ曰ハク我誠實ニ爾ニ告グ爾チ人ノ子ノ肉ヲ食セズ其血ヲ飲マザレバ永生ヲ得ズト(「ヨアン」傳五章五十四節)其餘此點ニ於テハ益ス聽衆ノ疑念ヲ去ラシムルタメ同一ノ格言ヲナシテ毫モ變ジ給ハズ

答 耶穌基督ハ他ノ場合ニ於テ譬喩ヲナシ給ヒシキハ聽衆ヲシテ其言ノ眞意ヲ了解セシムル爲メ更ニ通常ノ語ヲ以テ之ヲ講義シ給ヒシ「ヨアン」

答 之アリ聖「ヨアン」傳ノ三章ヲ視ヨニ「ユデア」ムガ耶穌基督ノ譬喩ヲ正言ト誤解セシキ耶穌ハ爲メニ其主旨ヲ曉諭シ給ヒ又宗徒等ニ(「聖マテヤ」傳十六章六節)「ソ」アリセ「ソ」ノ酵ト曰ヒシキ宗徒等ハ之ヲ了